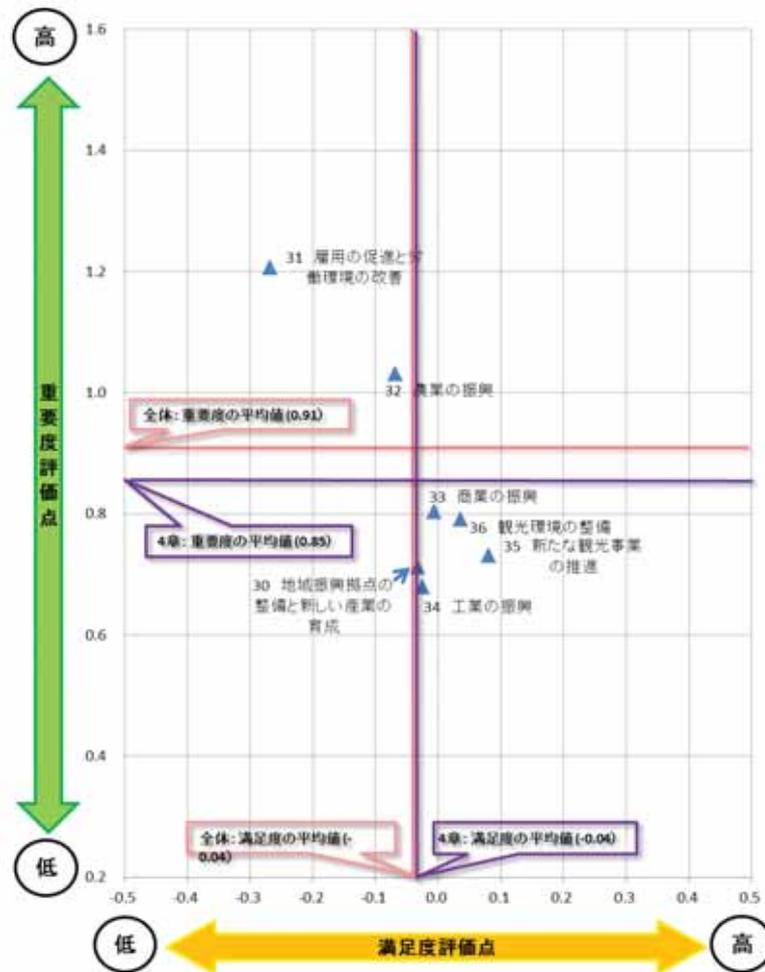


4章 にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち ～産業・観光～

産業・観光の分野については、重要度が全体の平均値(0.91)を下回り、かつ満足度が全体の平均値(-0.04)を上回っている施策が多くなっている。ただし、「31 雇用の促進と労働環境の改善」「32 農業の振興」については、重要度が高く満足度は低い施策となっている。



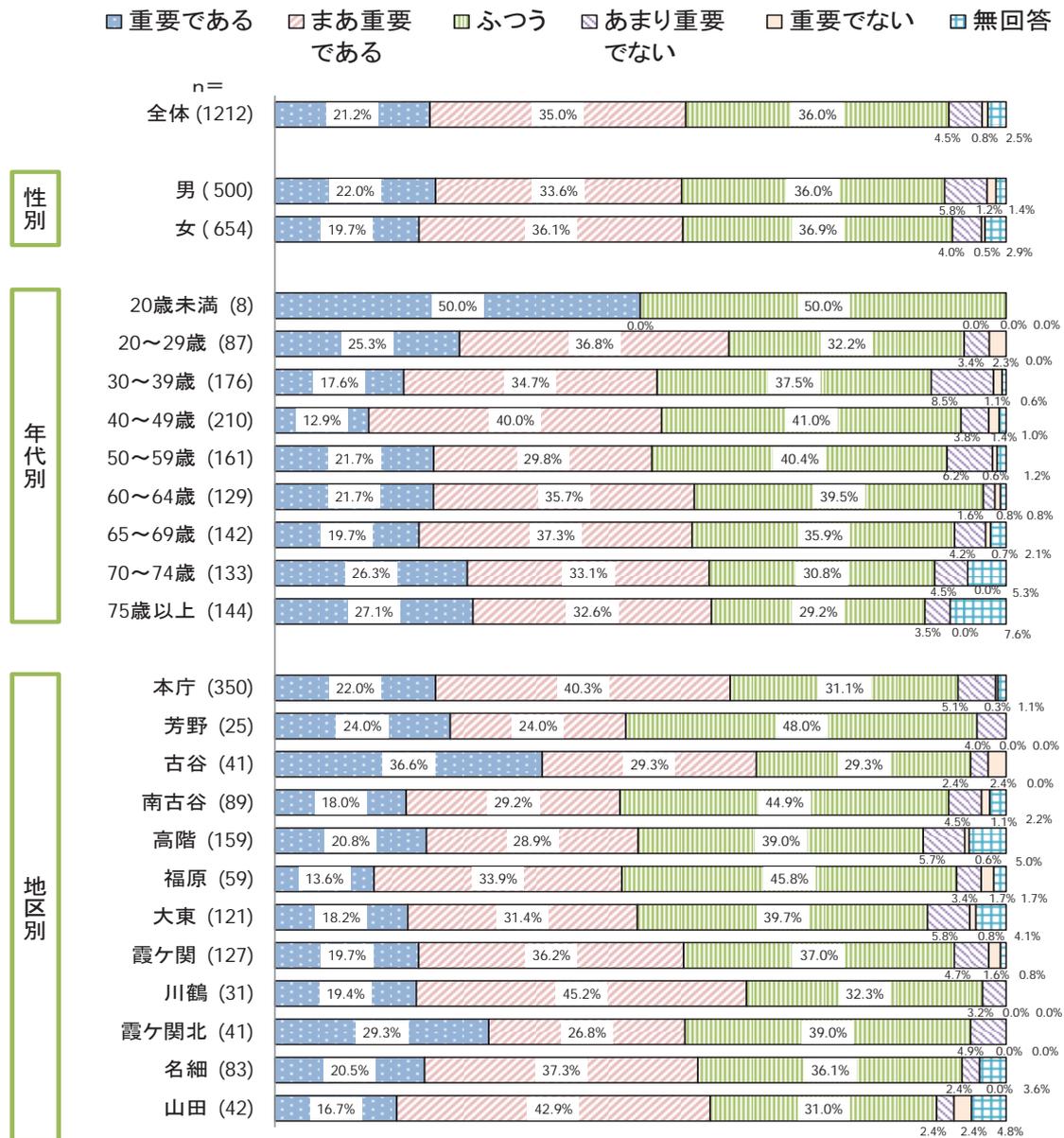
施策	重要度 評価点	満足度 評価点
30 地域振興拠点の整備と新しい産業の育成	0.71	-0.03
31 雇用の促進と労働環境の改善	1.21	-0.27
32 農業の振興	1.03	-0.07
33 商業の振興	0.80	-0.01
34 工業の振興	0.68	-0.02
35 新たな観光事業の推進	0.73	0.08
36 観光環境の整備	0.79	0.04
4章 平均	0.85	-0.04

30. 地域振興拠点の整備と新しい産業の育成

【施策の内容】

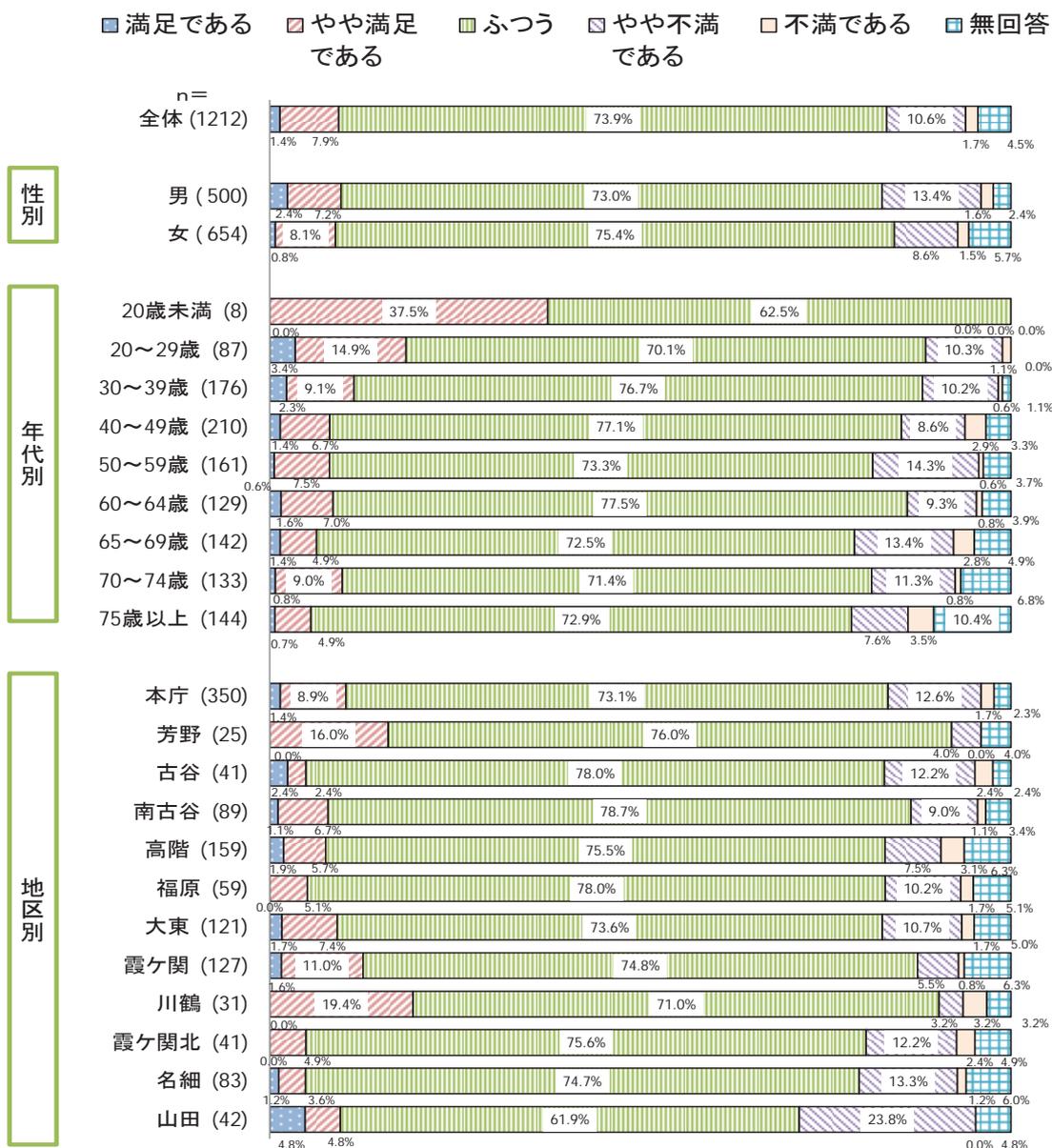
地域の特色を生かした産業の振興を図るため、地域振興拠点施設の整備及び新しい産業の育成、人材活用や技術開発の支援に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、56.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は55.6%、女性は55.8%と、ほぼ同じとなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、9.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.6%、女性は8.9%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

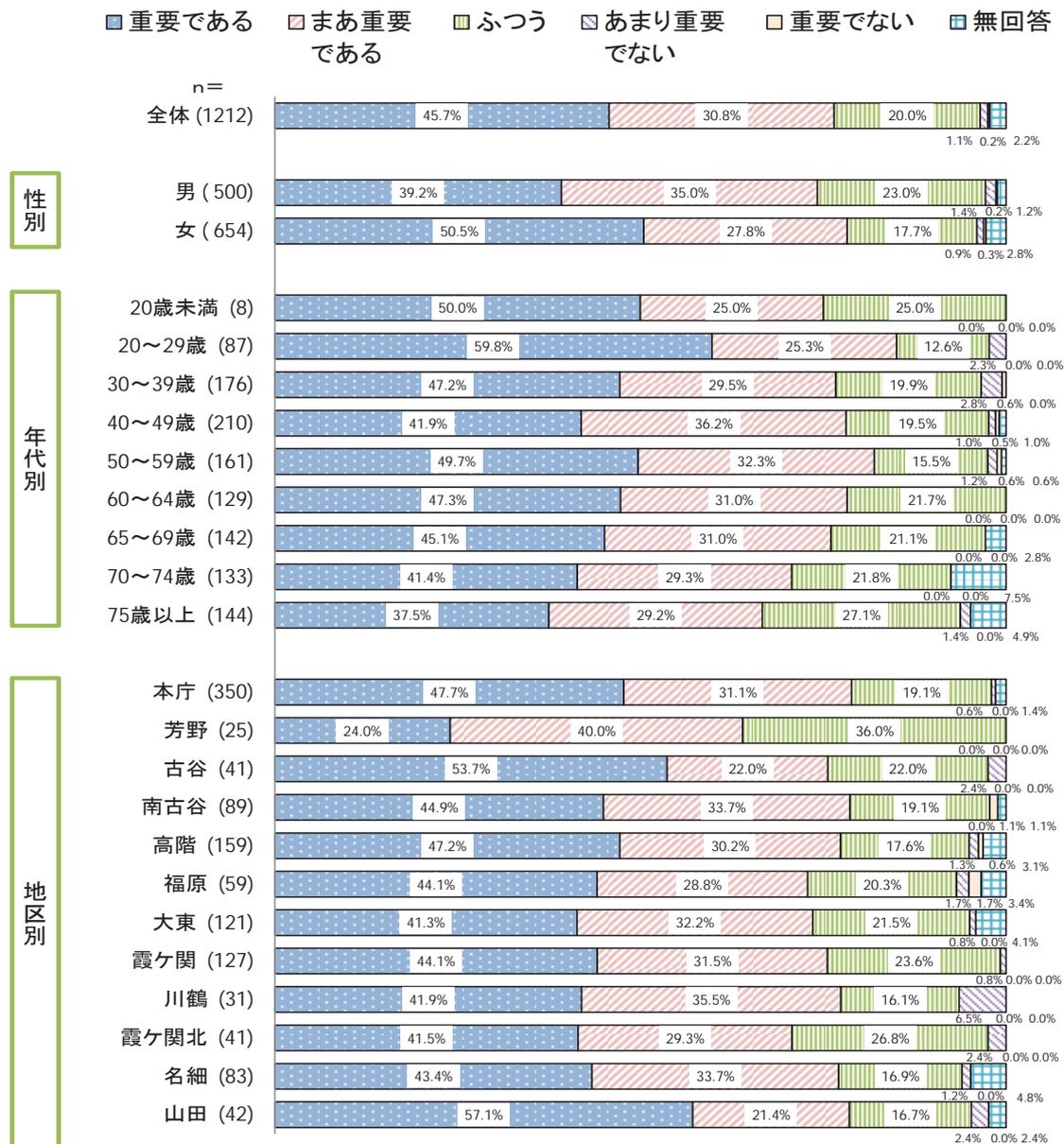
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	45.2%	56.2%	11.0%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	8.1%	9.3%	1.2%

3 1. 雇用の促進と労働環境の改善

【施策の内容】

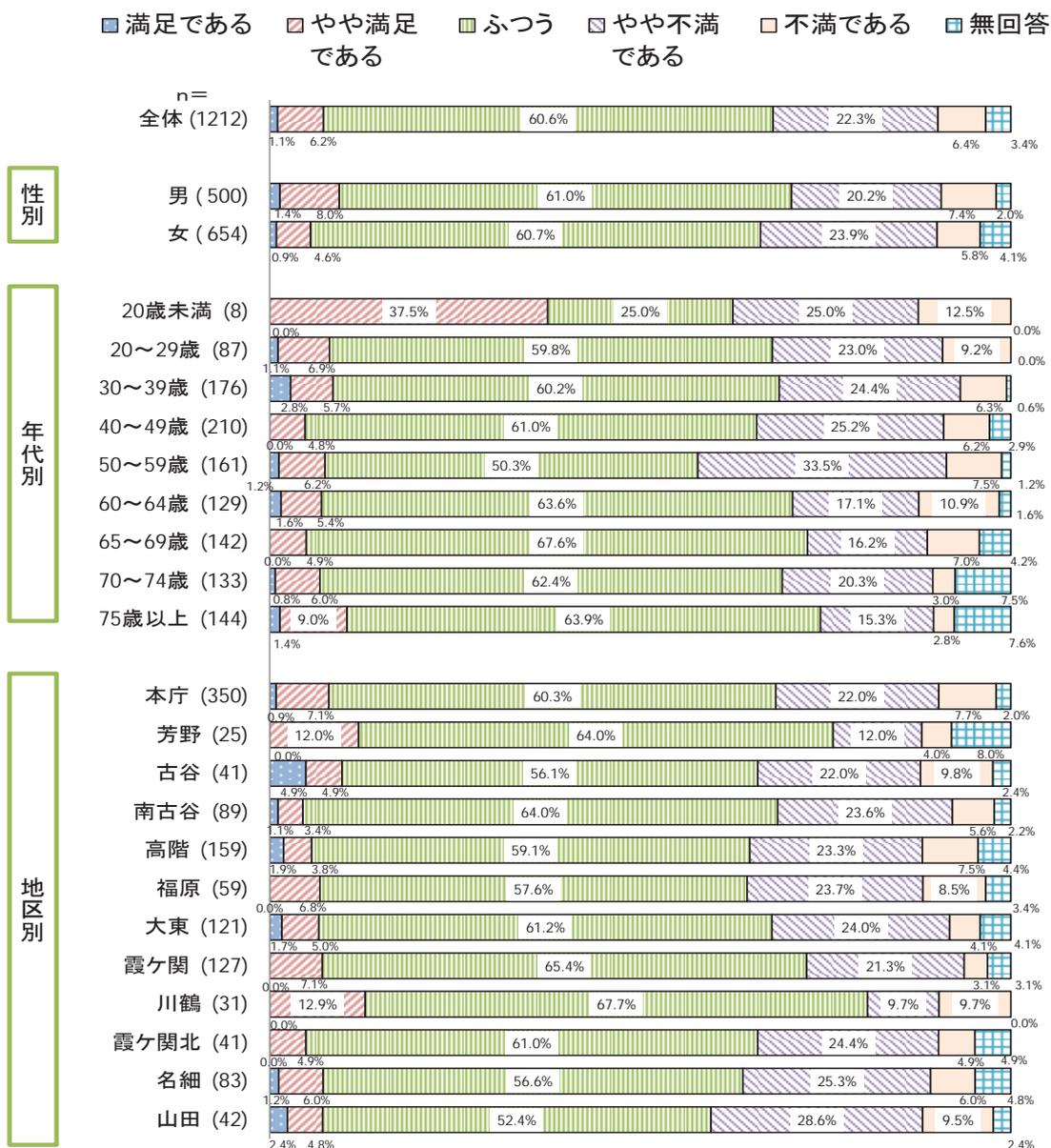
働く意欲のある人が、いきいきと働き、豊かに暮らせるよう、雇用の促進と労働環境の改善に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、76.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は74.2%、女性は78.3%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- 全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、7.3%となっている。
- 性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.4%、女性は5.5%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

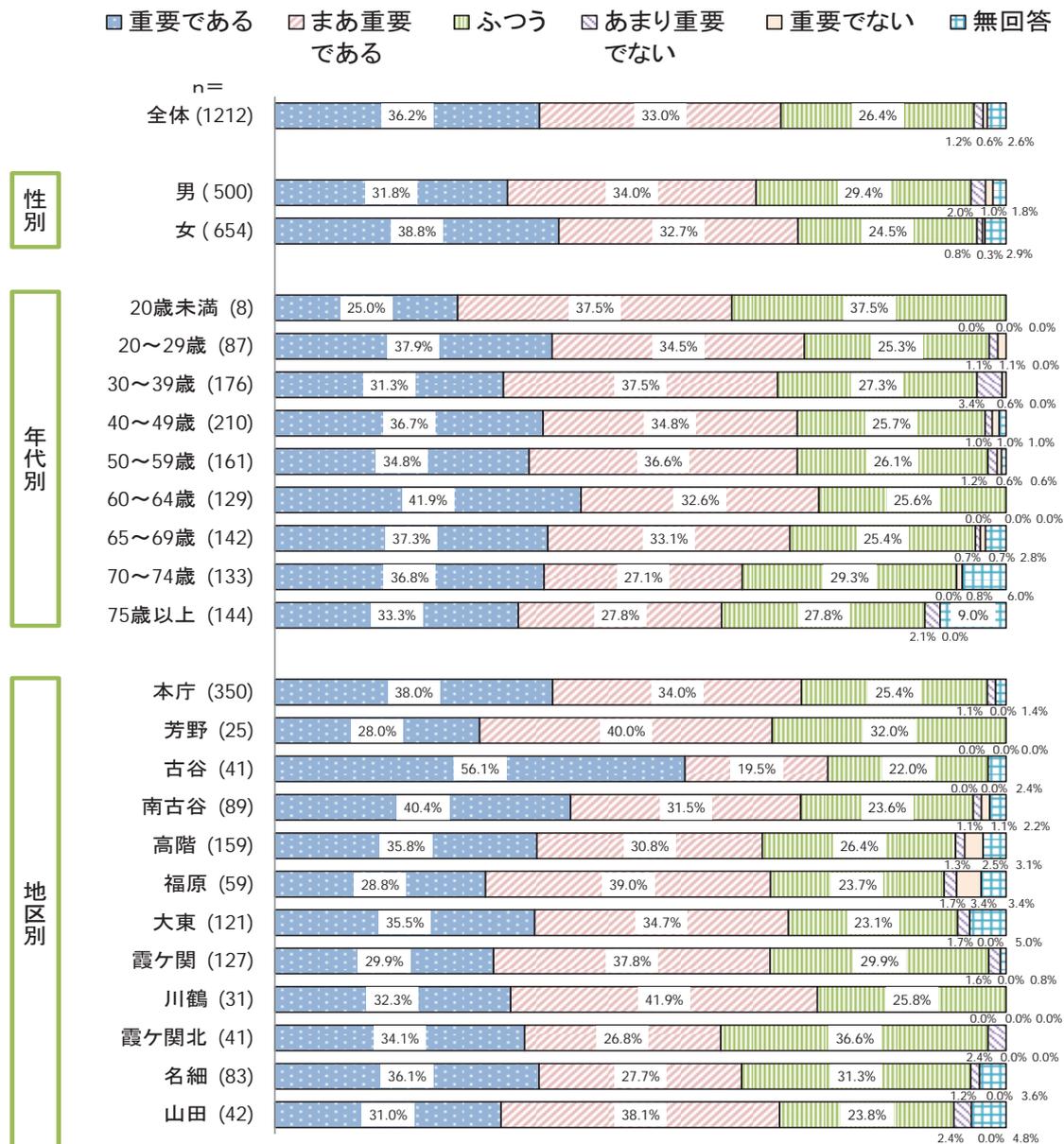
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	69.9%	76.5%	6.6%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	6.7%	7.3%	0.6%

3.2. 農業の振興

【施策の内容】

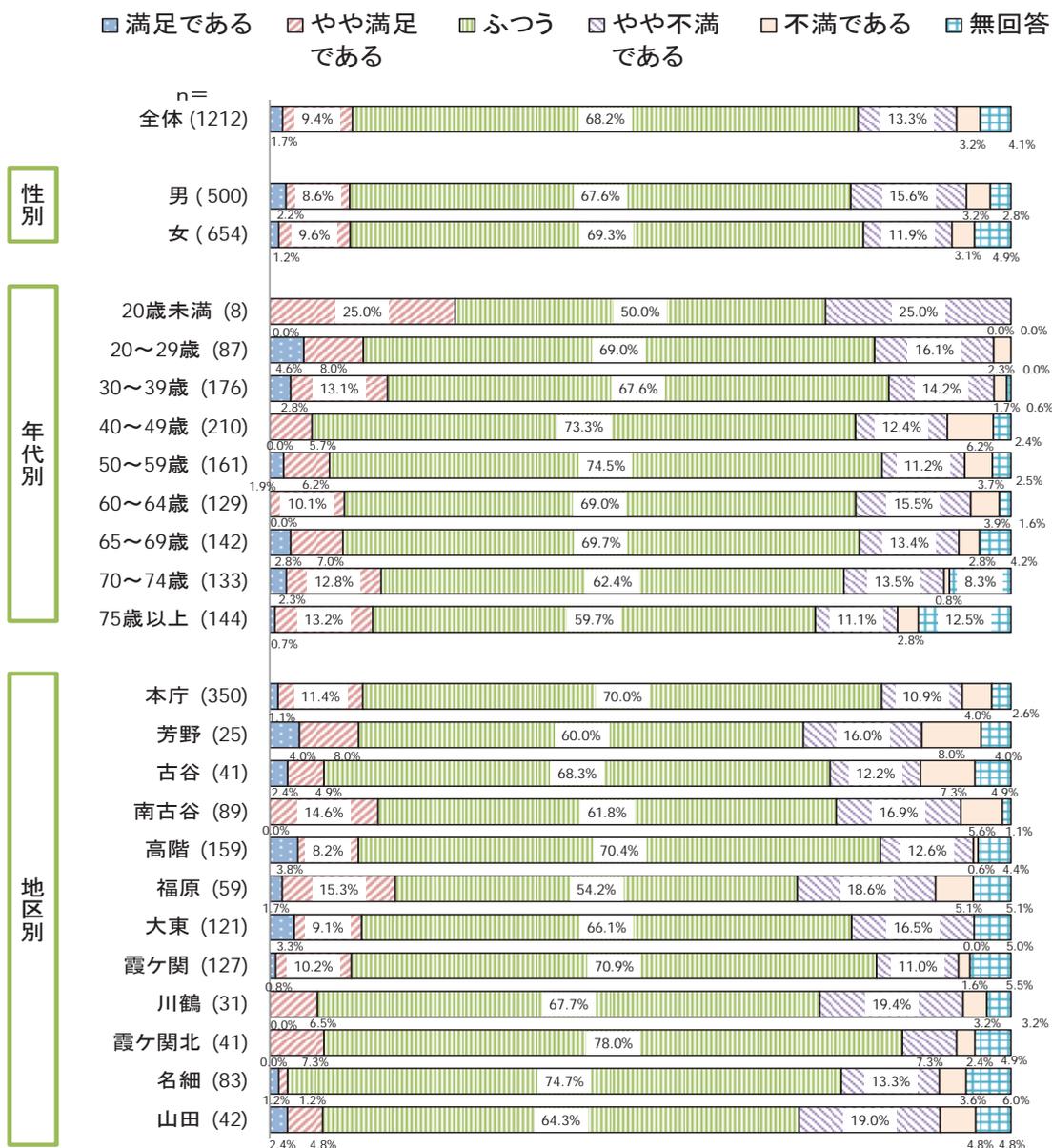
環境との調和や優良農地等の保全を図るとともに、消費者のニーズに応えた安心できる農産物の提供等を通して、安定した農業経営の実現に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、69.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は65.8%、女性は71.5%と、女性の方が高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.8%、女性は10.8%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

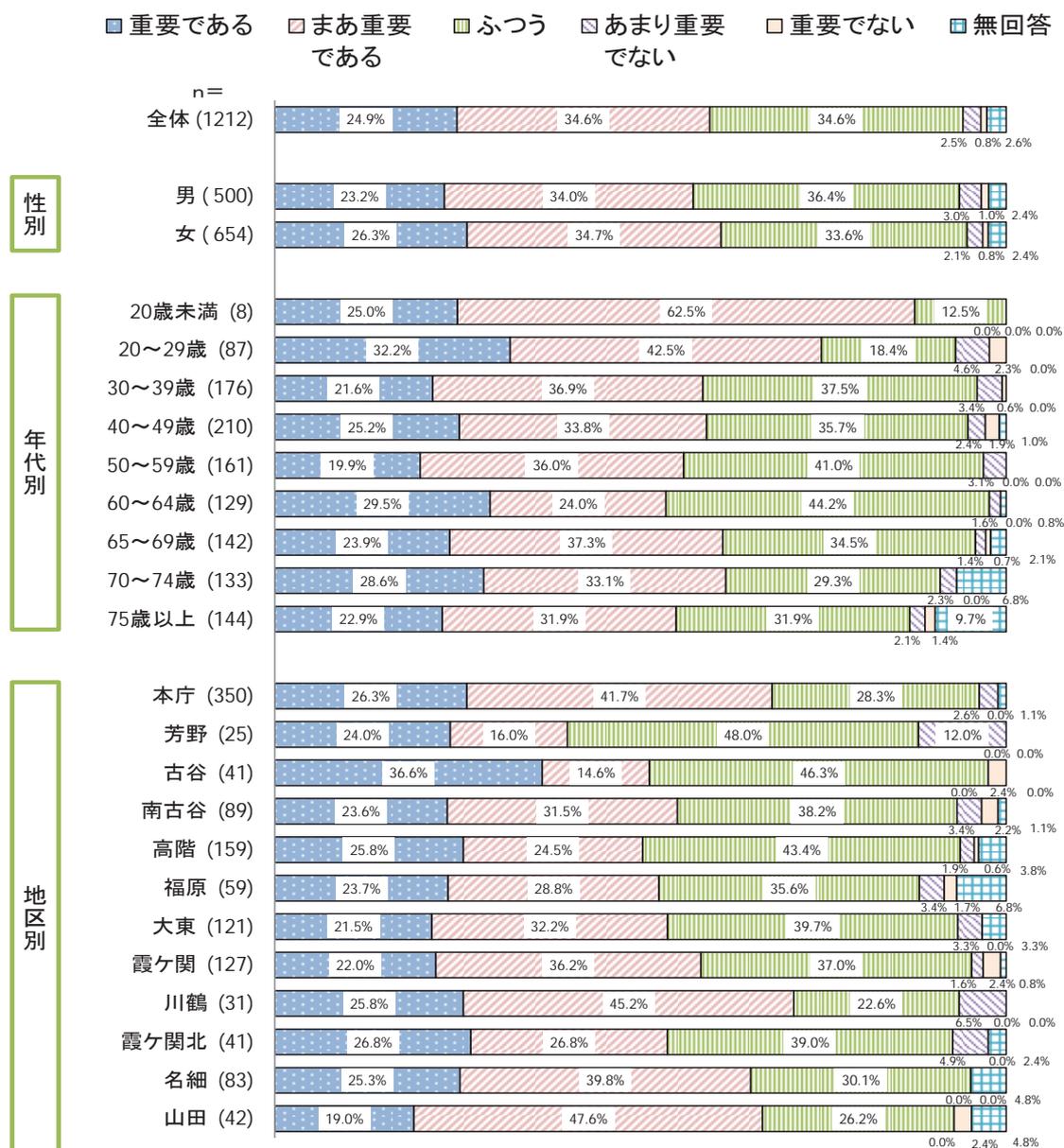
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	66.2%	69.2%	3.0%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	9.6%	11.1%	1.5%

3.3. 商業の振興

【施策の内容】

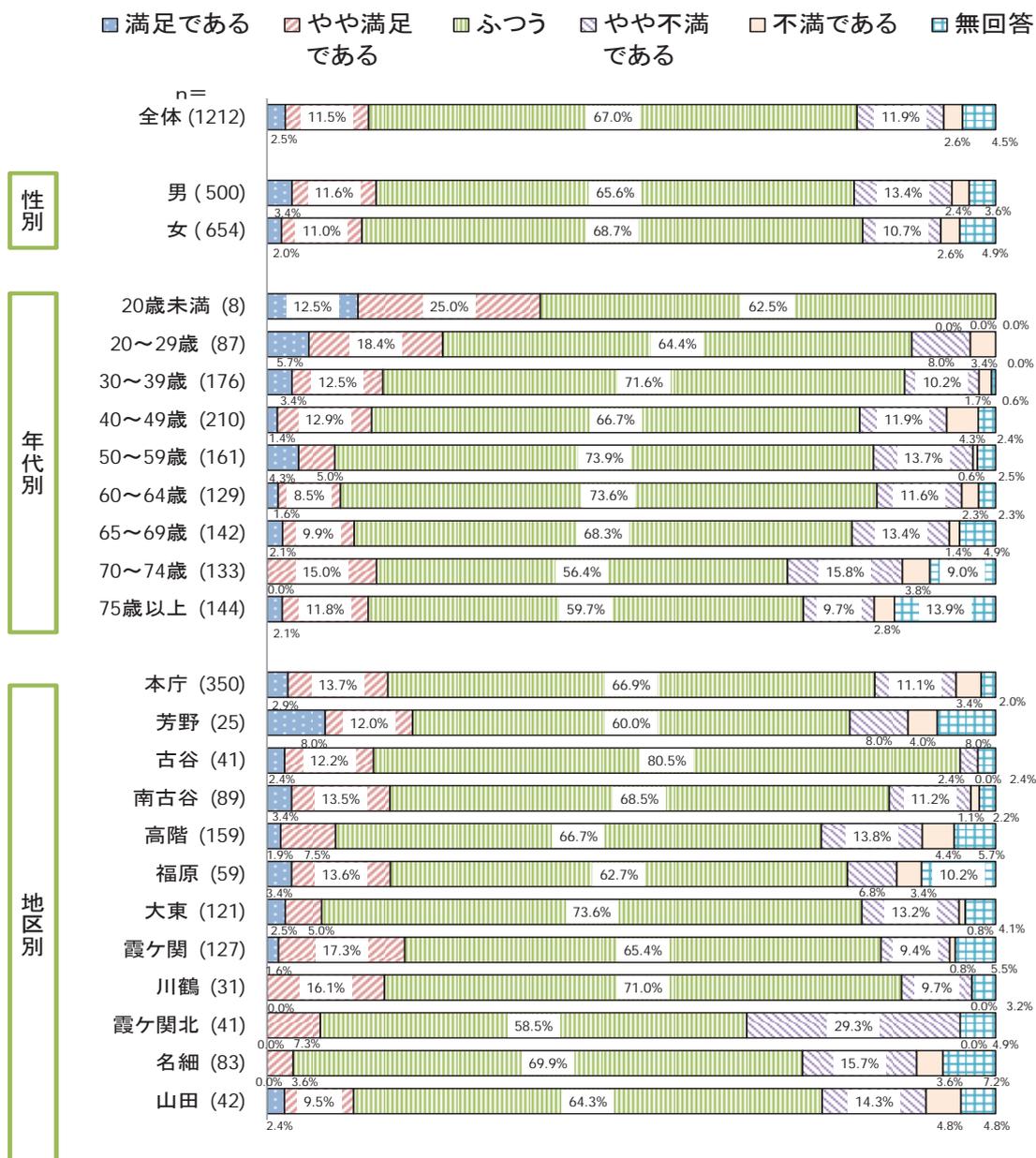
中心市街地及び周辺商業地の活性化、商店街と大型店の共存共栄を図り、にぎわいに満ちたまちづくりの推進に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、59.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は57.2%、女性は61.0%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、14.0%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は15.0%、女性は13.0%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

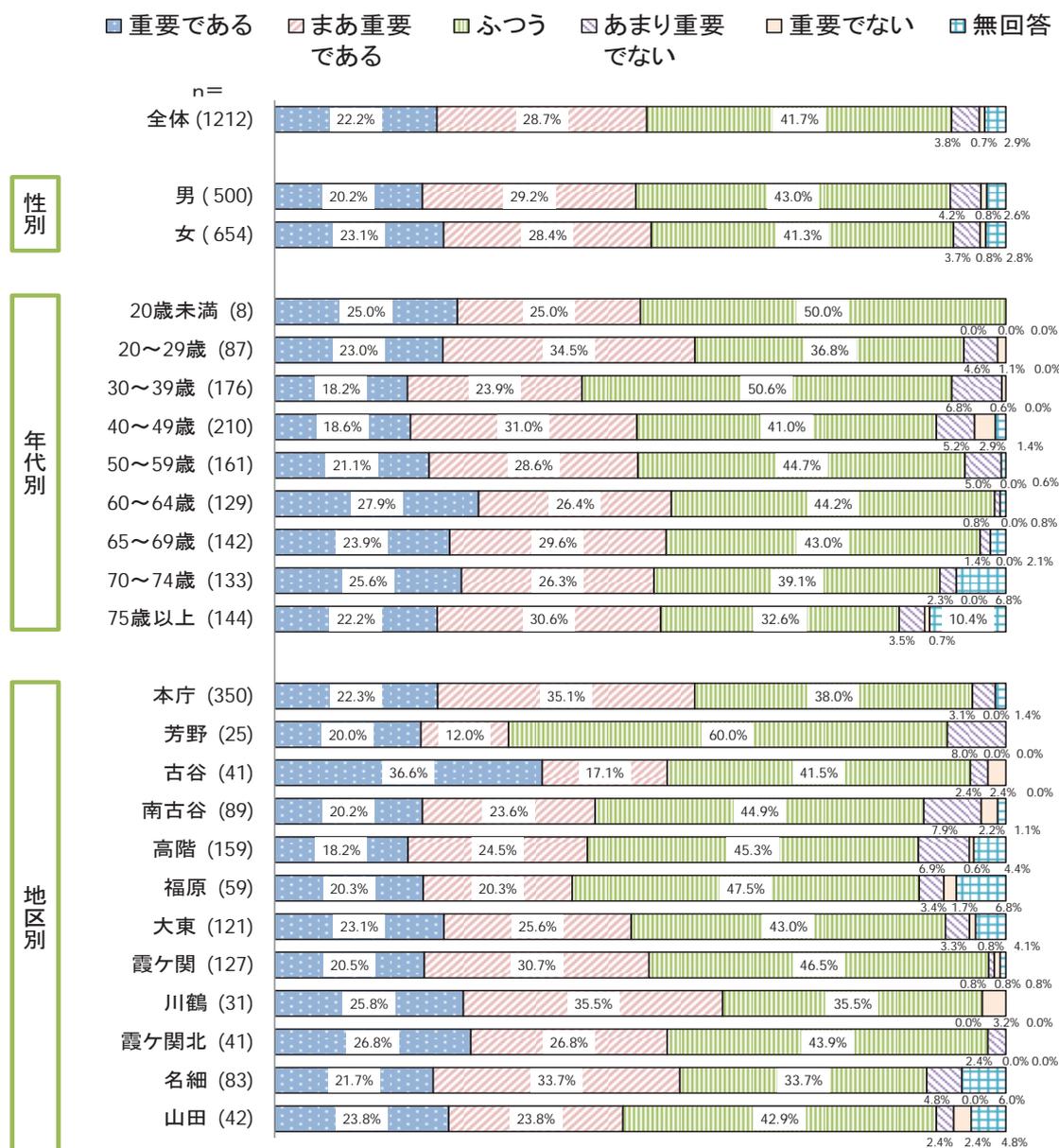
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	53.3%	59.5%	6.2%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	13.0%	14.0%	1.0%

3 4. 工業の振興

【施策の内容】

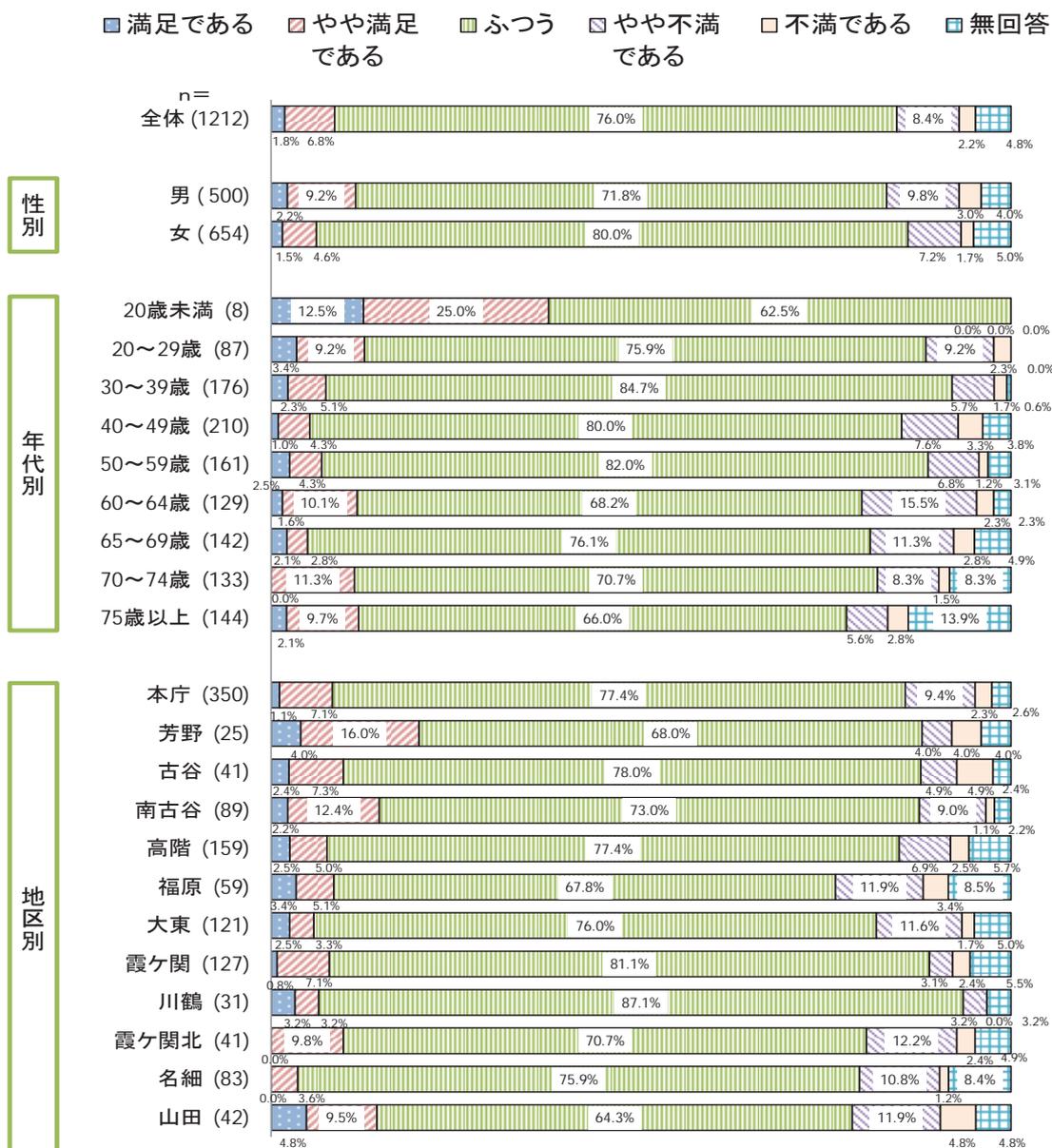
工業団地の拡張・整備や企業及び工業団体等への支援強化により、新しい企業の誘致及び既存工業の強化に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、50.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は49.4%、女性は51.5%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.4%、女性は6.1%と、男性の方が高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

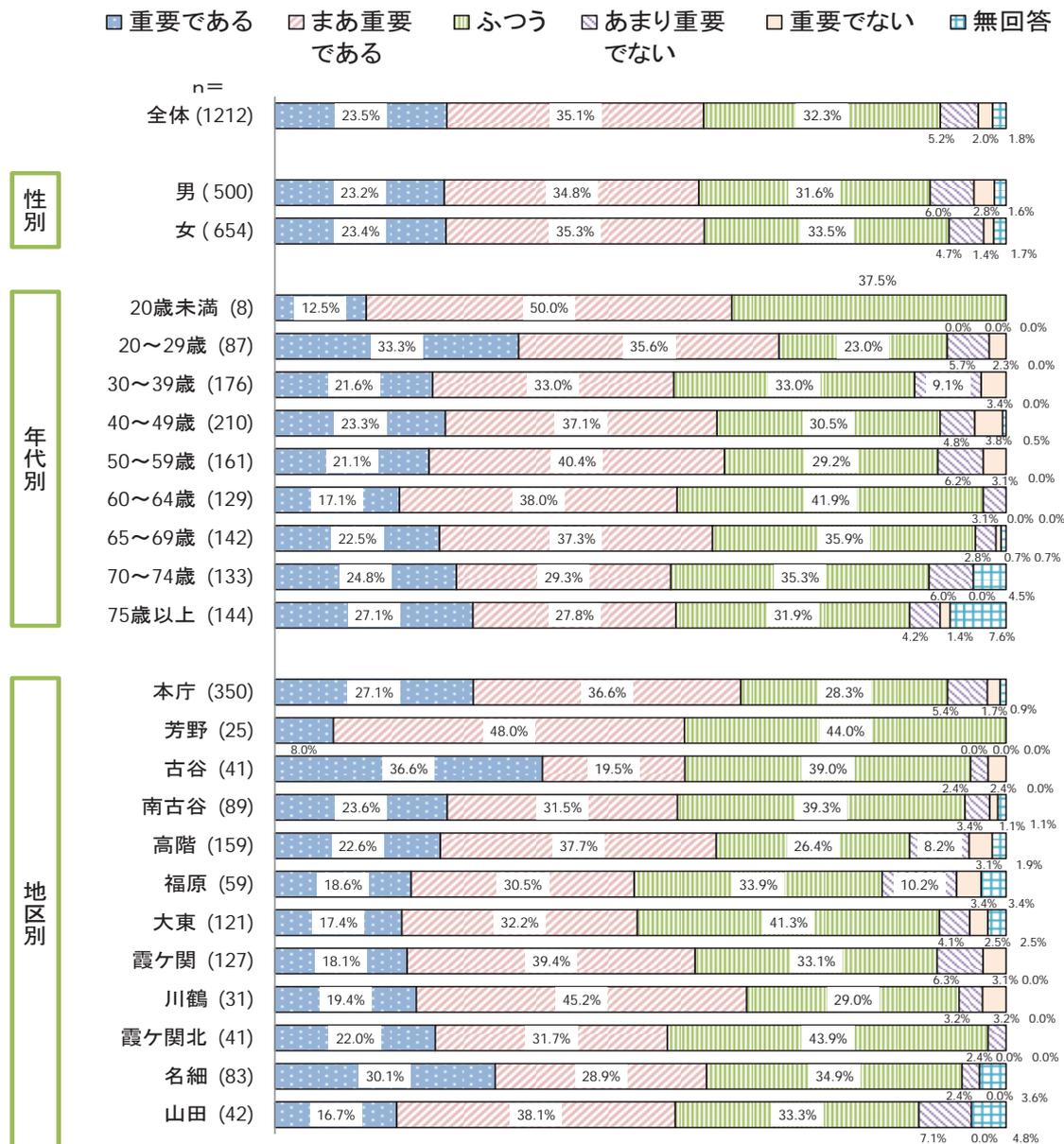
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	42.4%	50.9%	8.5%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	7.9%	8.6%	0.7%

3.5. 新たな観光事業の推進

【施策の内容】

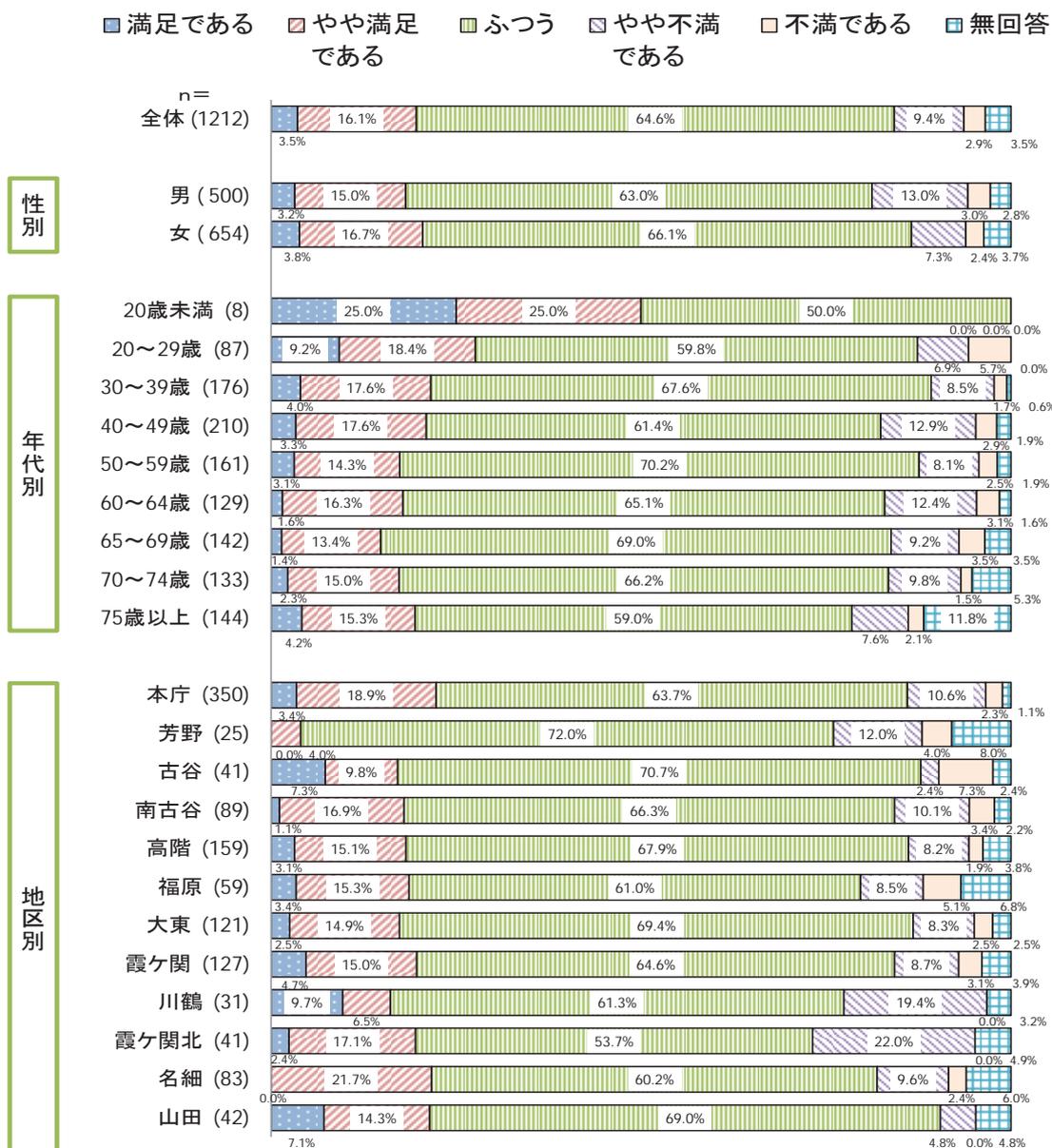
新たな観光客やリピーターを確保するため、新たな観光資源の発掘や観光情報の発信、外国人観光客の誘致等に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、58.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は58.0%、女性は58.7%と、ほぼ同じとなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、19.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は18.2%、女性は20.5%と、女性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

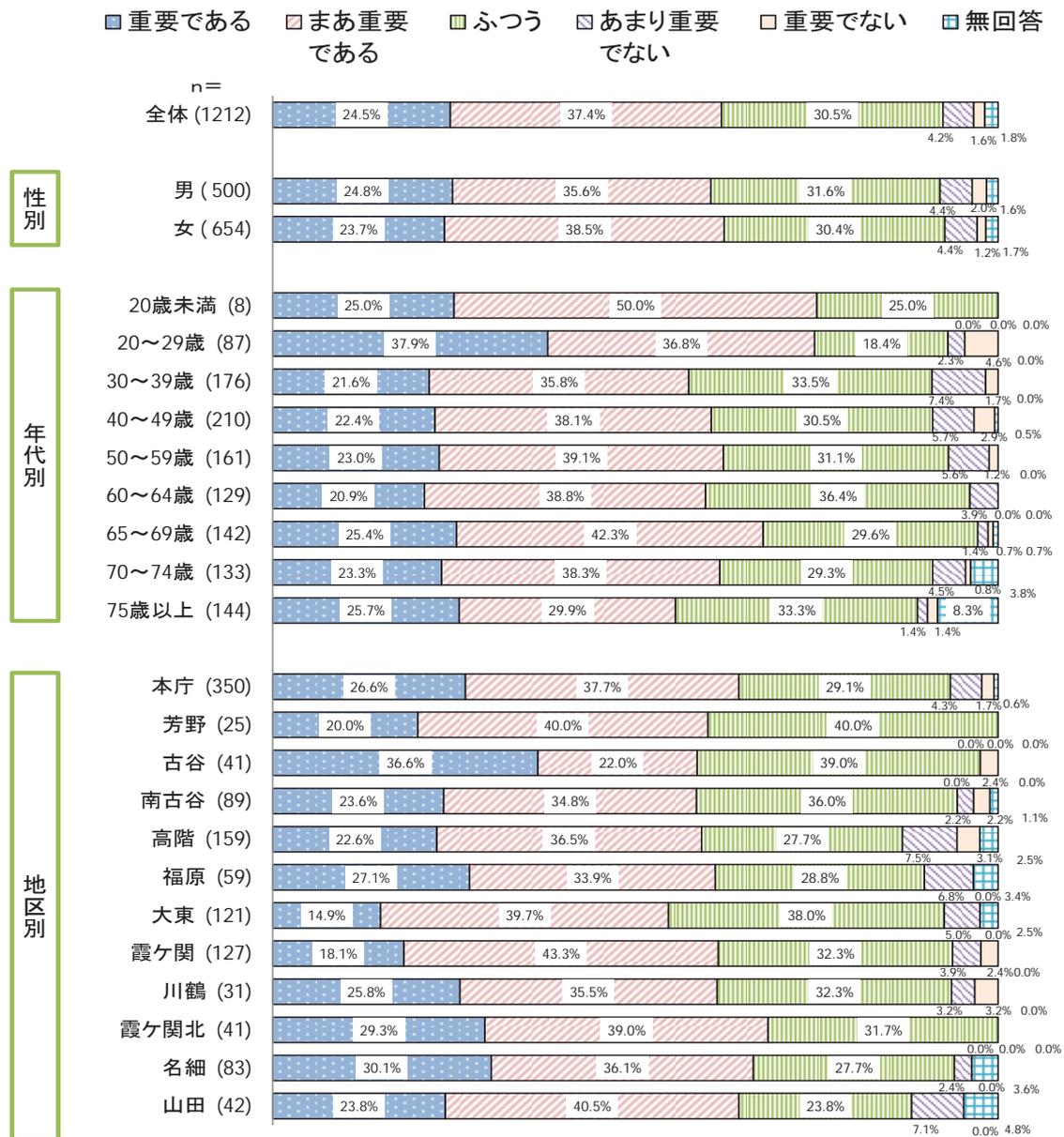
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	45.2%	58.6%	13.4%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	18.1%	19.6%	1.5%

36. 観光環境の整備

【施策の内容】

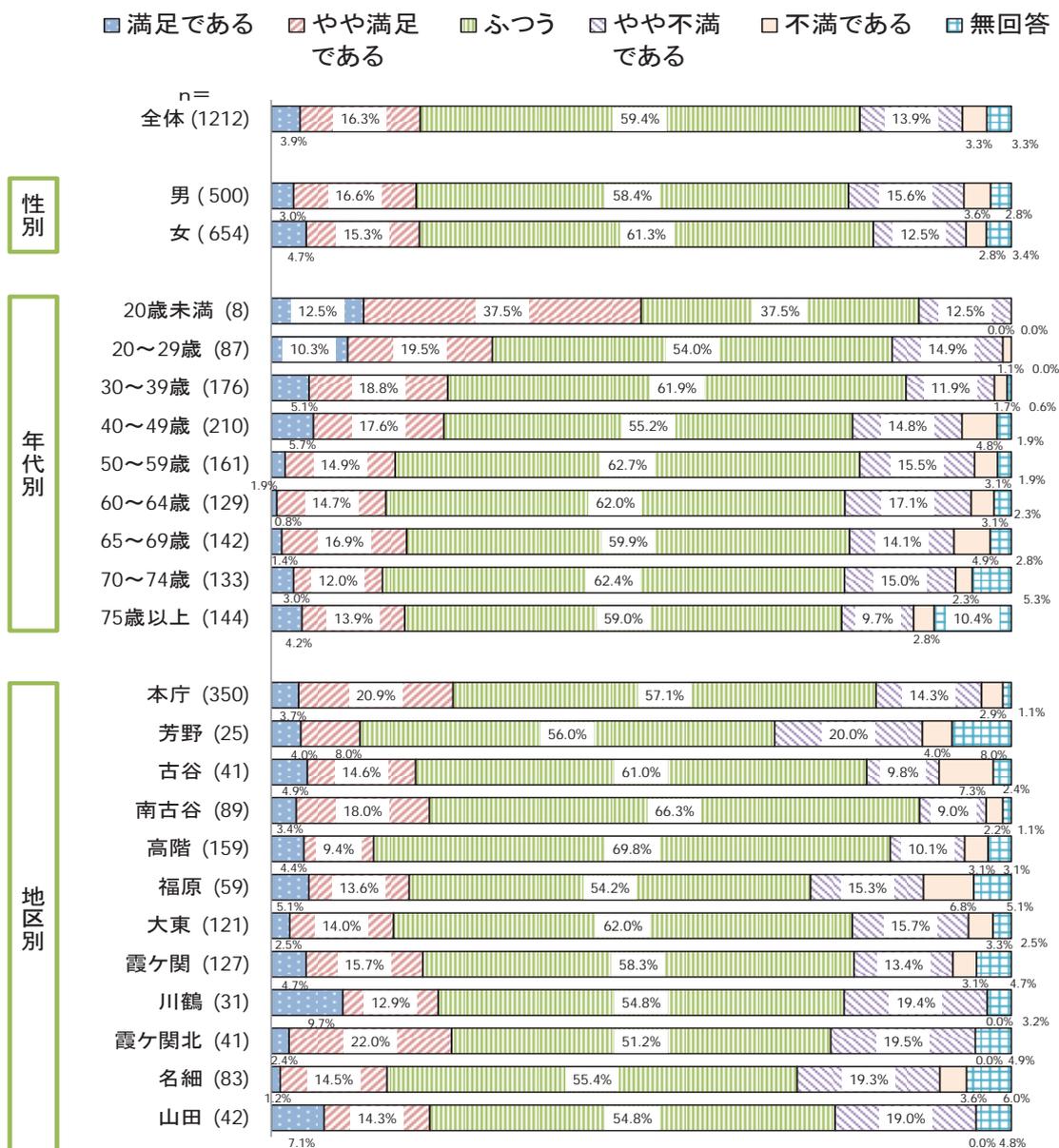
より多くの観光客を受け入れるため、観光客の利便に資する観光施設等の整備に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、61.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は60.4%、女性は62.2%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、20.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は19.6%、女性は20.0%と、ほぼ同じとなっている。

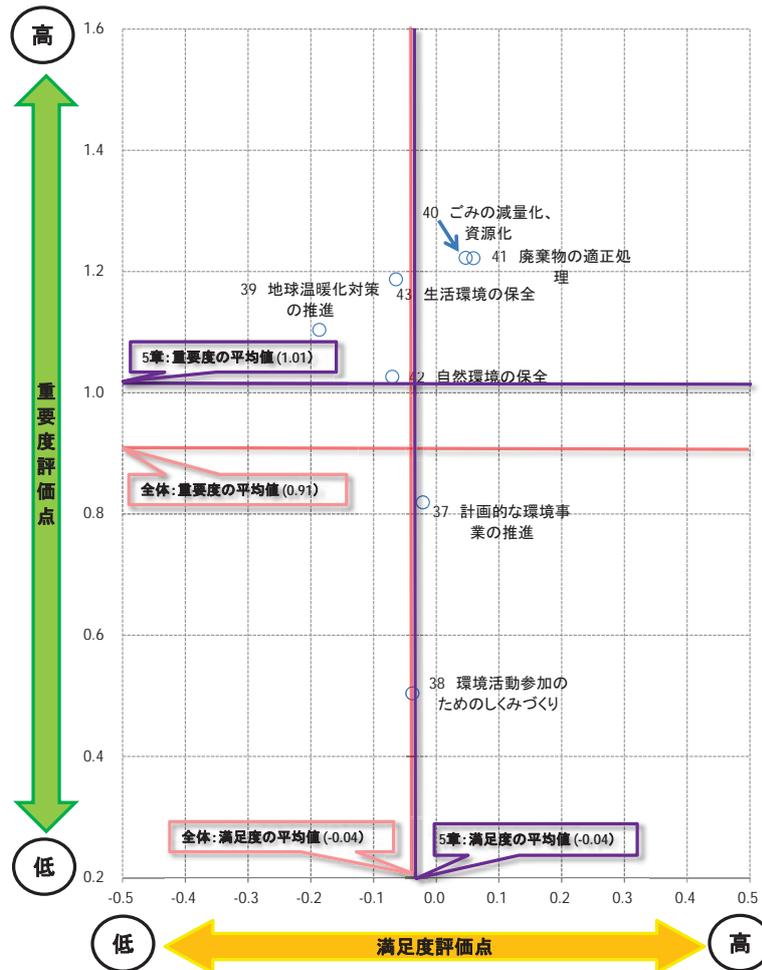
<前回調査結果との比較 (全体) >

	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	47.0%	61.9%	14.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	16.6%	20.2%	3.6%

5章 人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち ～環境～

環境の分野については、多くの施策において、重要度が全体の平均値(0.91)を上回っており、比較的関心の高い分野であるといえる。

また、ごみ・廃棄物処理関連の施策については、比較的満足度が高くなっている。「39 地球温暖化対策の推進」については、市民が重要と考えつつも満足度の低い施策となっている。



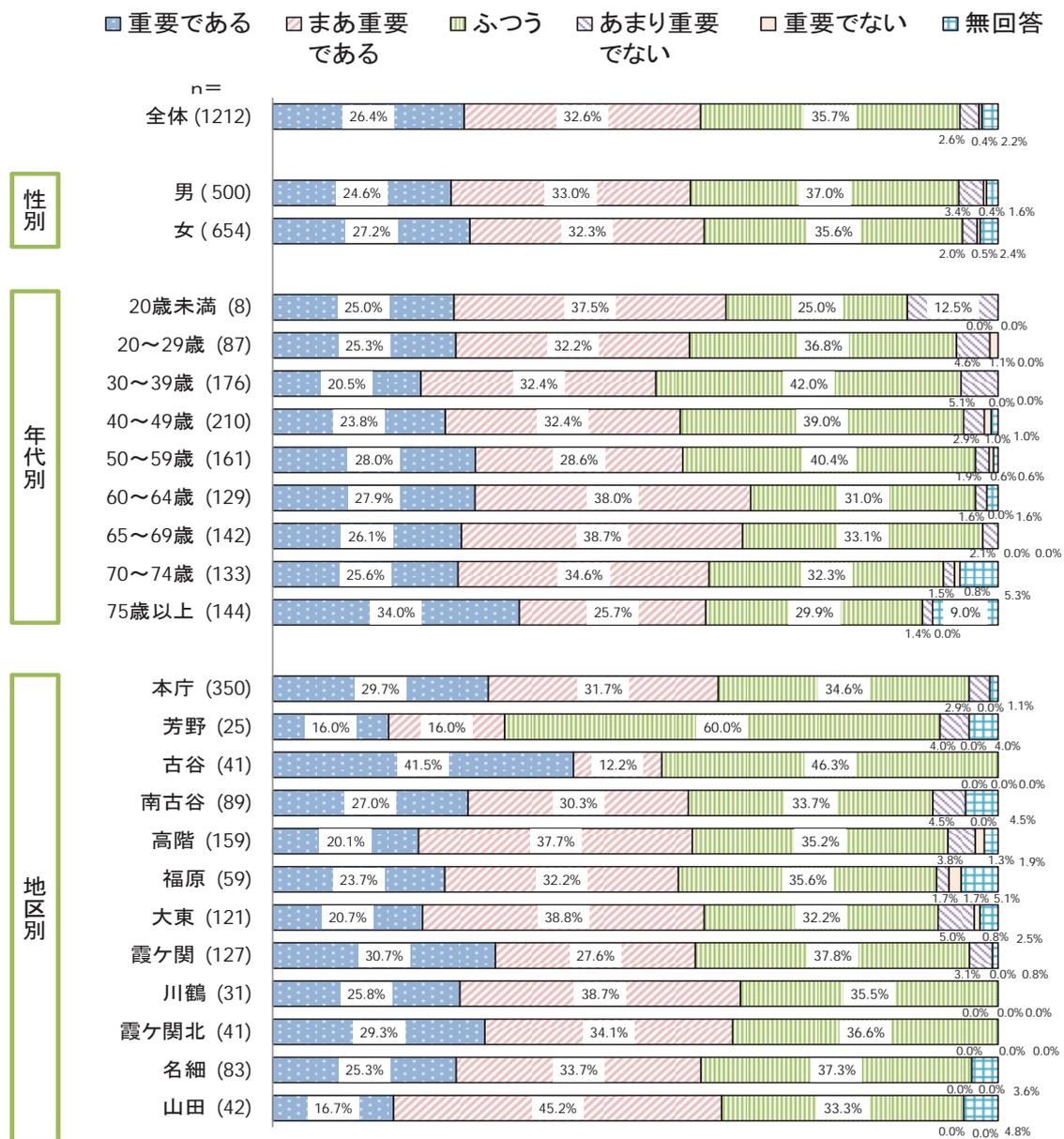
施策	重要度評価点	満足度評価点
37 計画的な環境事業の推進	0.82	-0.02
38 環境活動参加のためのしくみづくり	0.50	-0.04
39 地球温暖化対策の推進	1.10	-0.19
40 ごみの減量化、資源化	1.22	0.05
41 廃棄物の適正処理	1.22	0.06
42 自然環境の保全	1.03	-0.07
43 生活環境の保全	1.19	-0.06
5章 平均	1.01	-0.04

3.7. 計画的な環境事業の推進

【施策の内容】

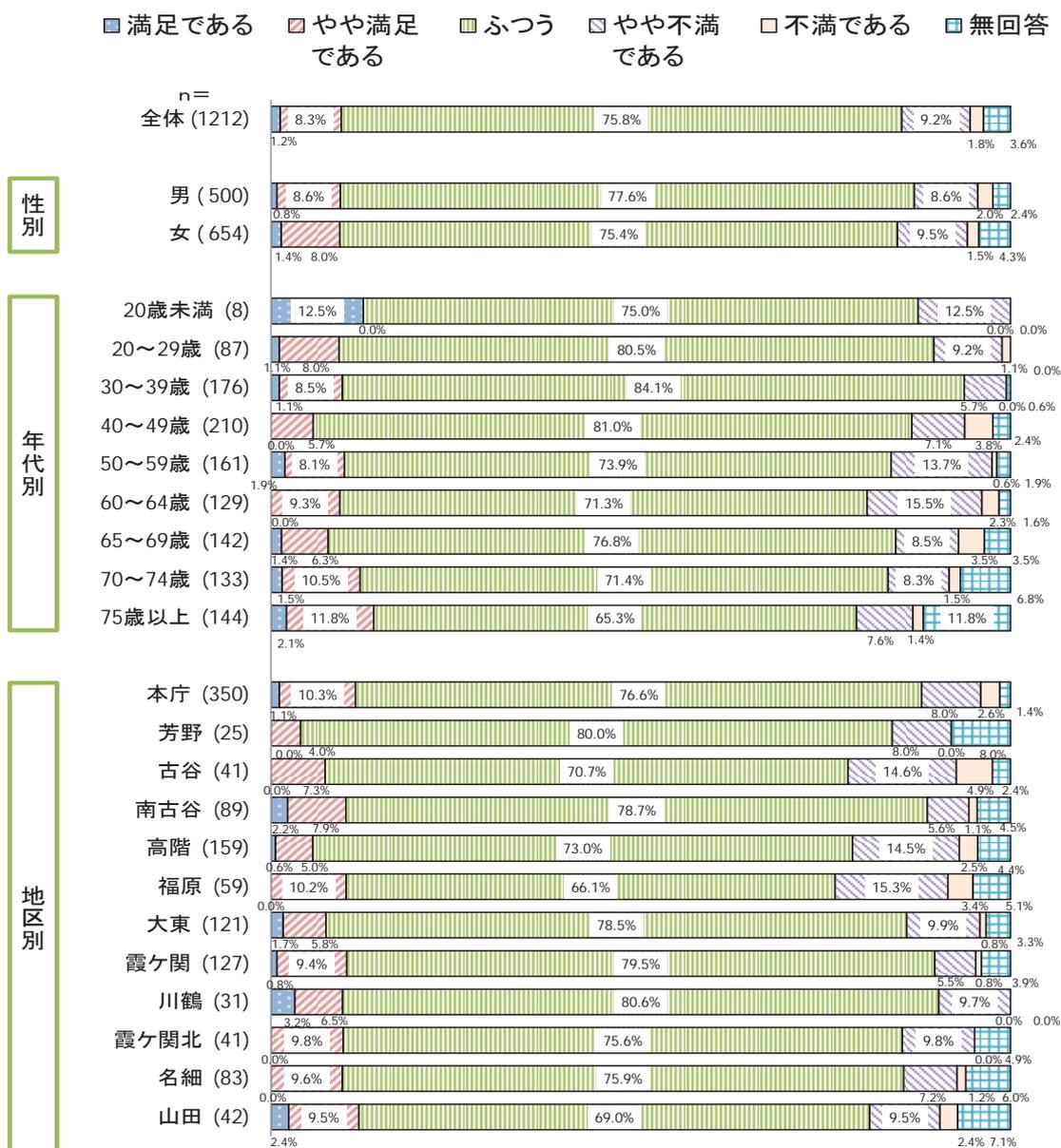
環境行政におけるさまざまな課題に対して、総合的かつ計画的に対応するため、環境基本計画、環境マネジメントシステム等の推進に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、59.0%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は57.6%、女性は59.5%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、9.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.4%、女性は9.4%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

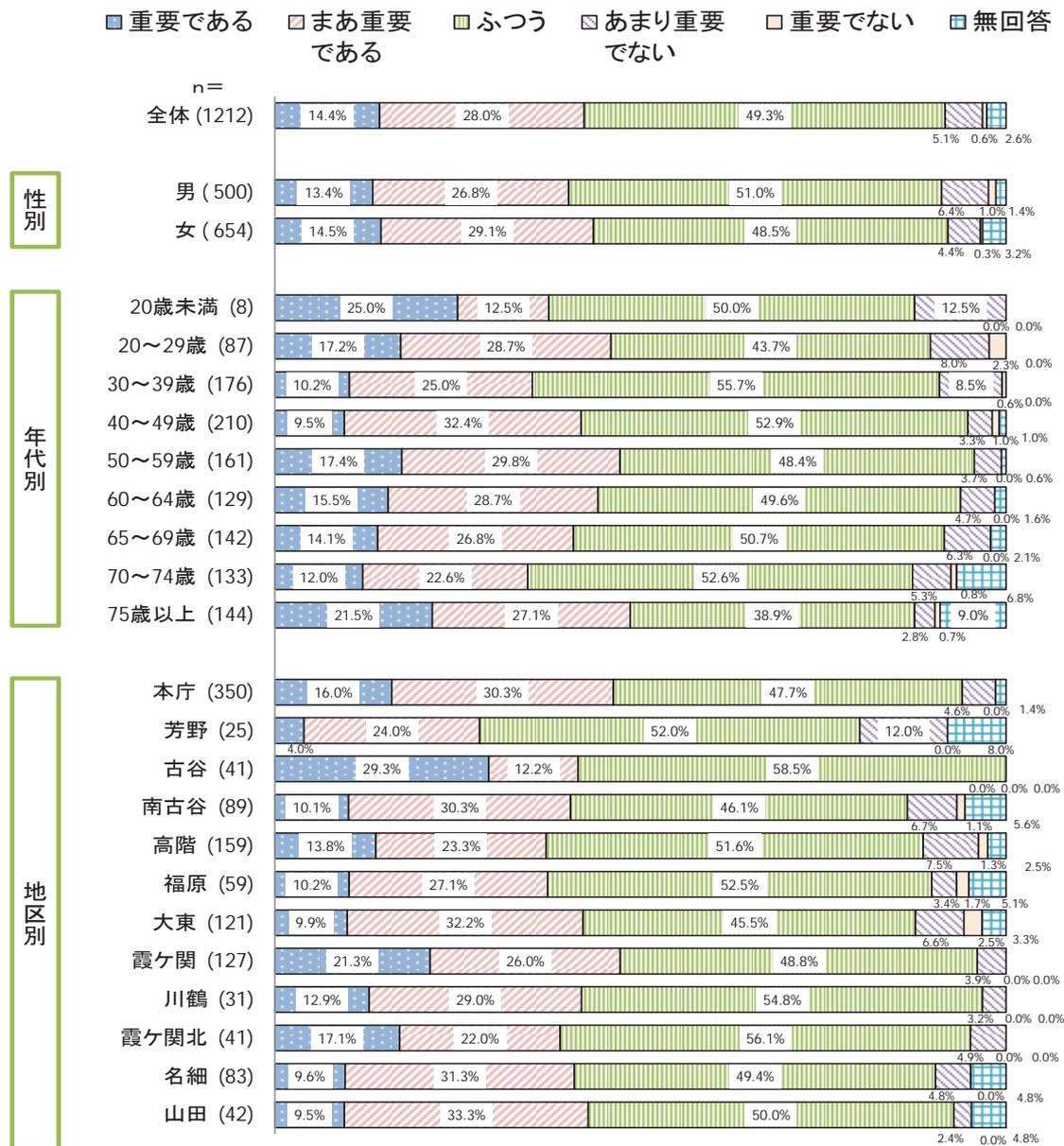
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	53.1%	59.0%	5.9%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	9.0%	9.5%	0.5%

38. 環境活動参加のためのしくみづくり

【施策の内容】

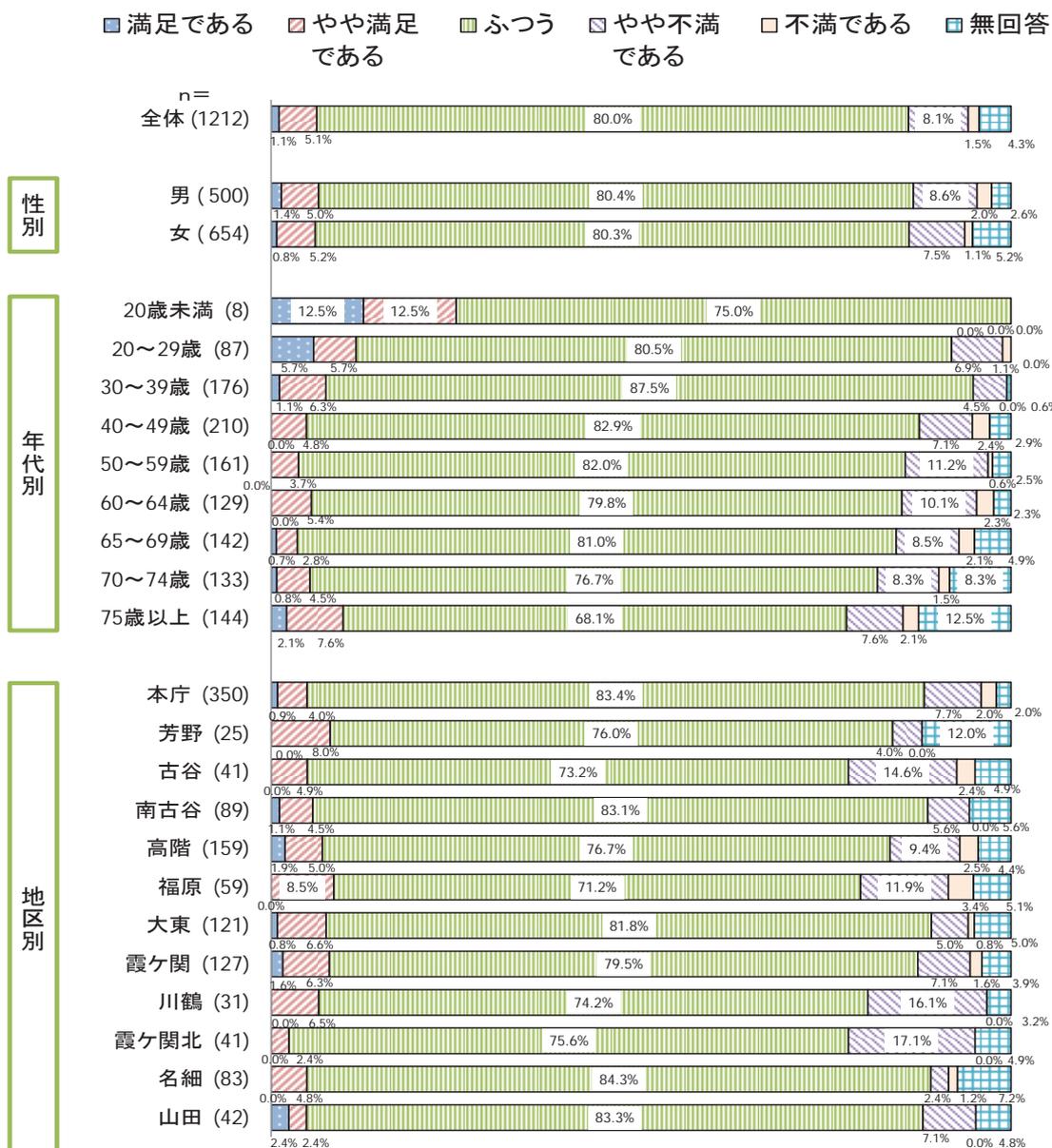
環境に対する計画等を有効に機能させるため、市民、事業者、民間団体、行政の各主体が協働できるしくみづくりに取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、42.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は40.2%、女性は43.6%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、6.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は6.4%、女性は6.0%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

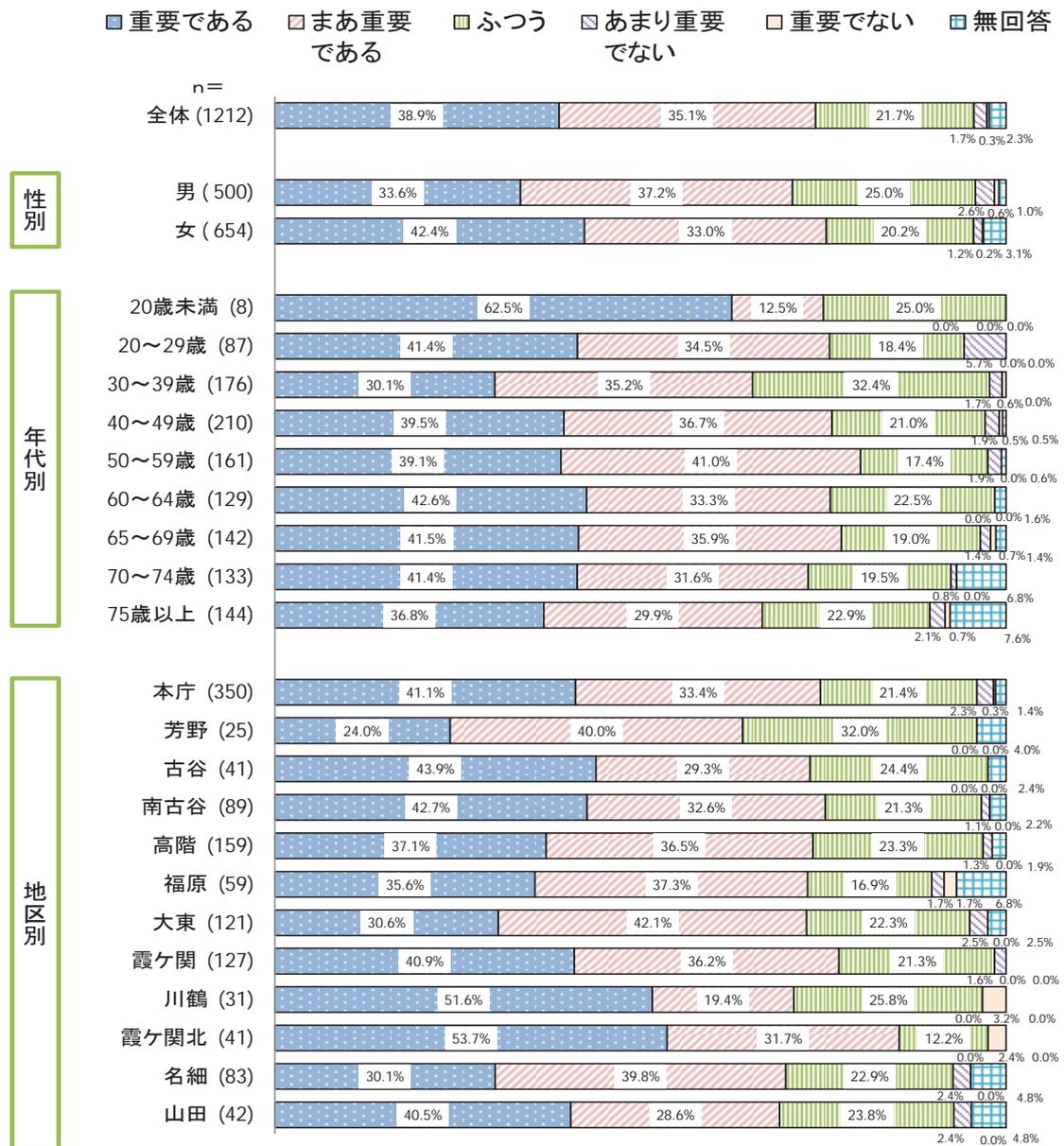
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	37.5%	42.4%	4.9%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	5.7%	6.2%	0.5%

39. 地球温暖化対策の推進

【施策の内容】

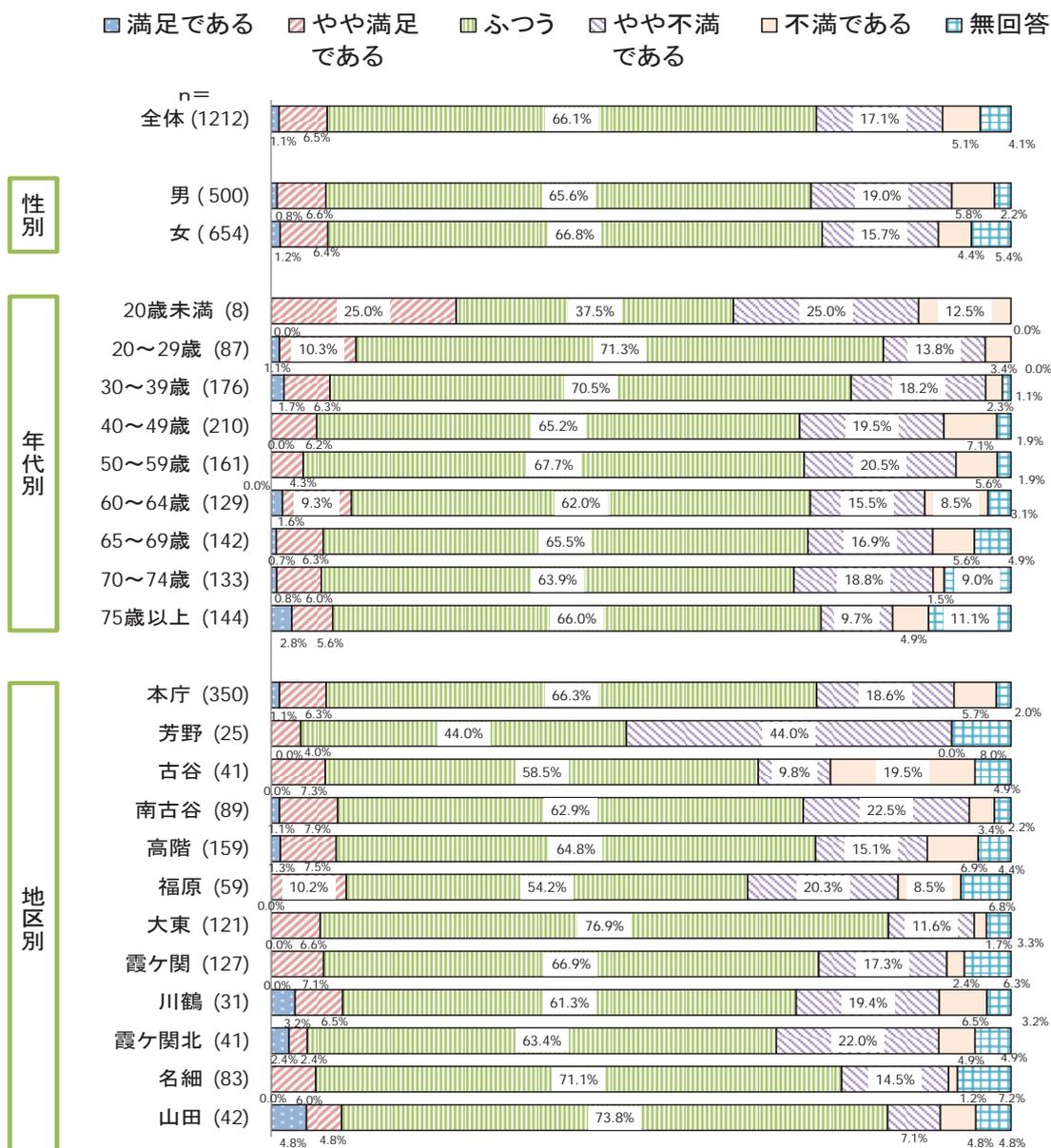
市域からの温室効果ガスの排出を抑制するため、省エネルギー施策の推進、新エネルギー導入の促進などの地球温暖化対策に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、74.0%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は70.8%、女性は75.4%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、7.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は7.4%、女性は7.6%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

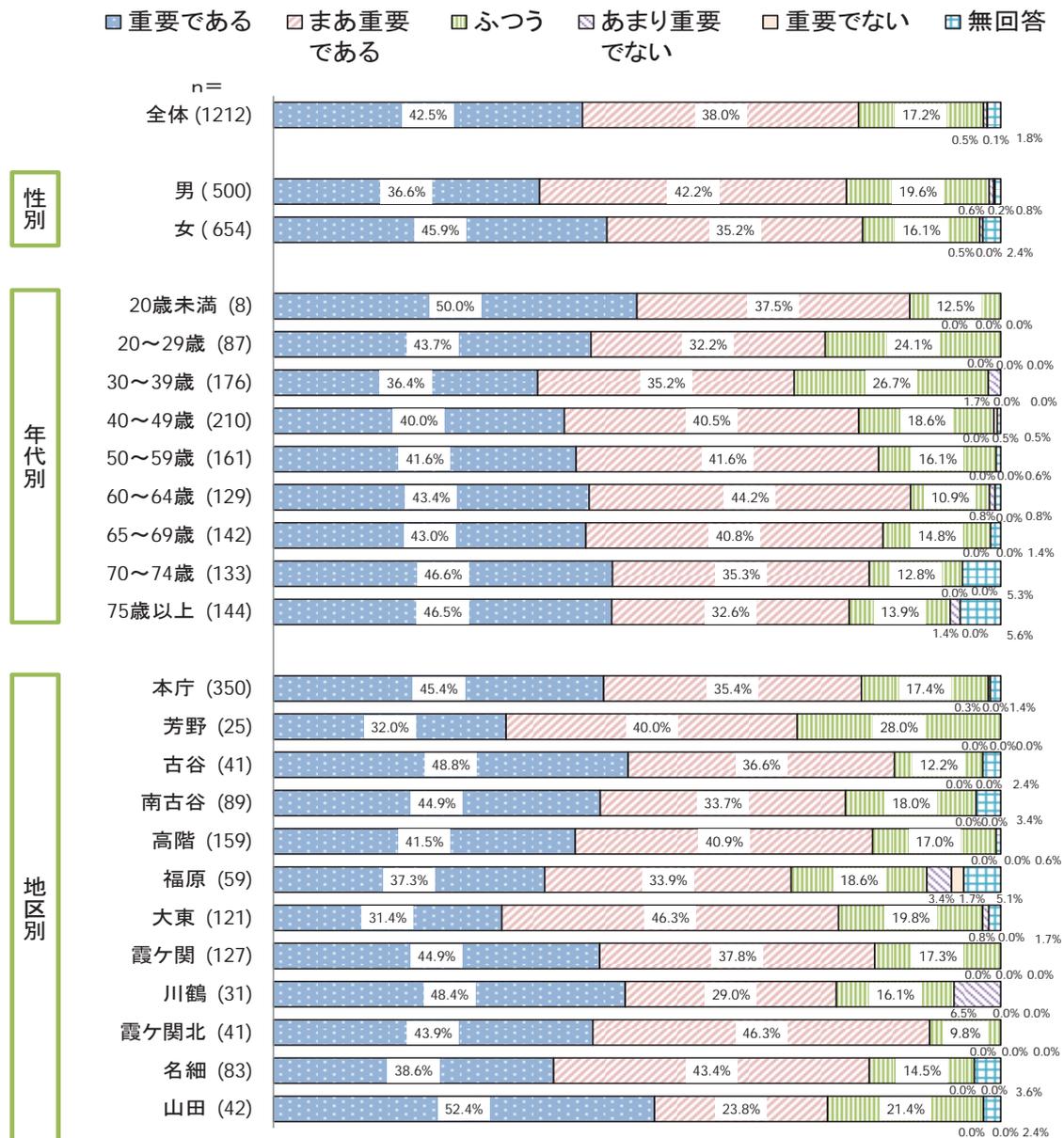
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	74.0%	74.0%	0.0%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.2%	7.6%	-2.6%

40. ごみの減量化、資源化

【施策の内容】

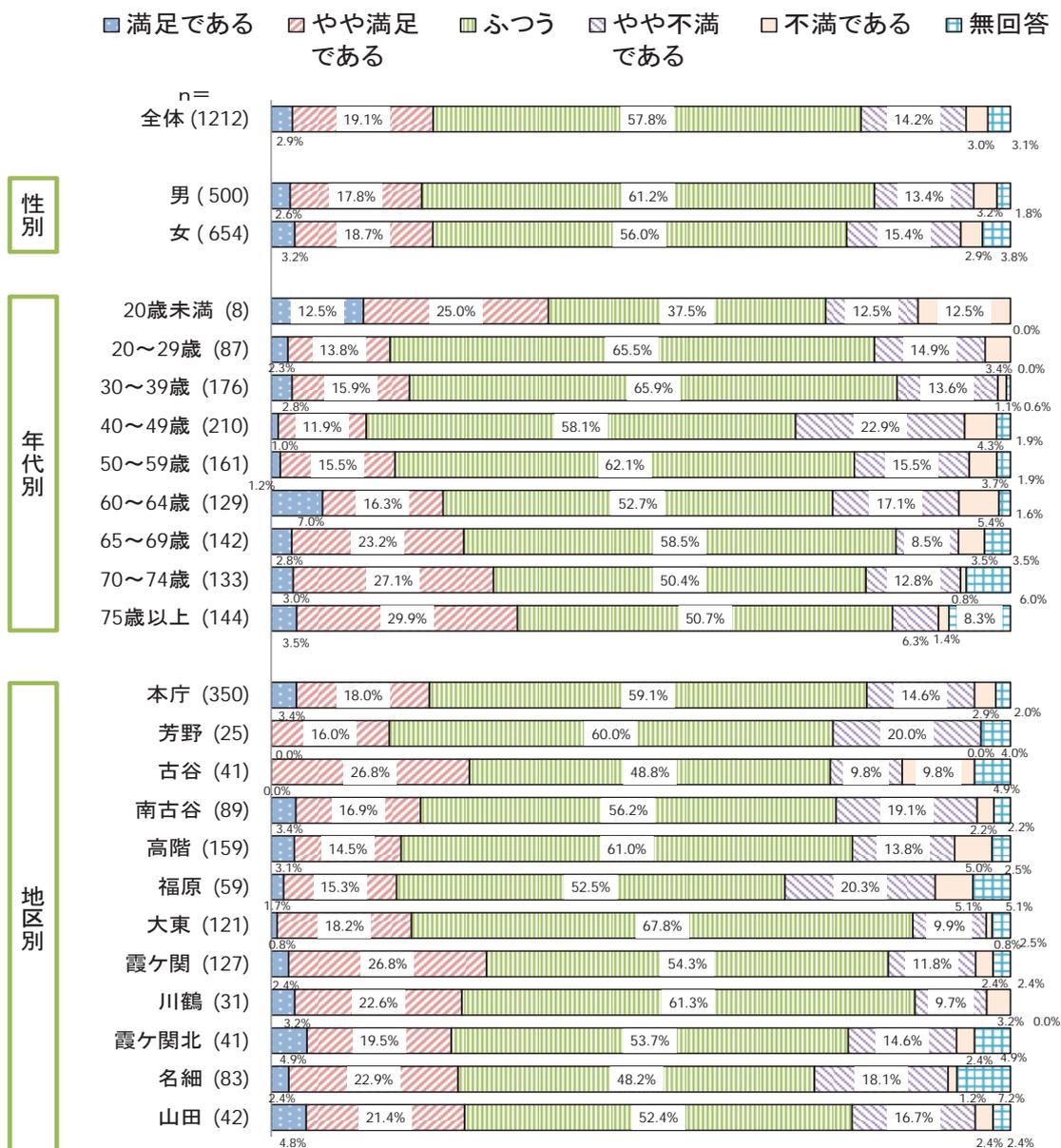
環境に負担をかけない循環型社会の実現に向けて、ごみの排出抑制と資源リサイクルを基本とした地域社会づくりに取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、80.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は78.8%、女性は81.1%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、22.0%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は20.4%、女性は21.9%と、女性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

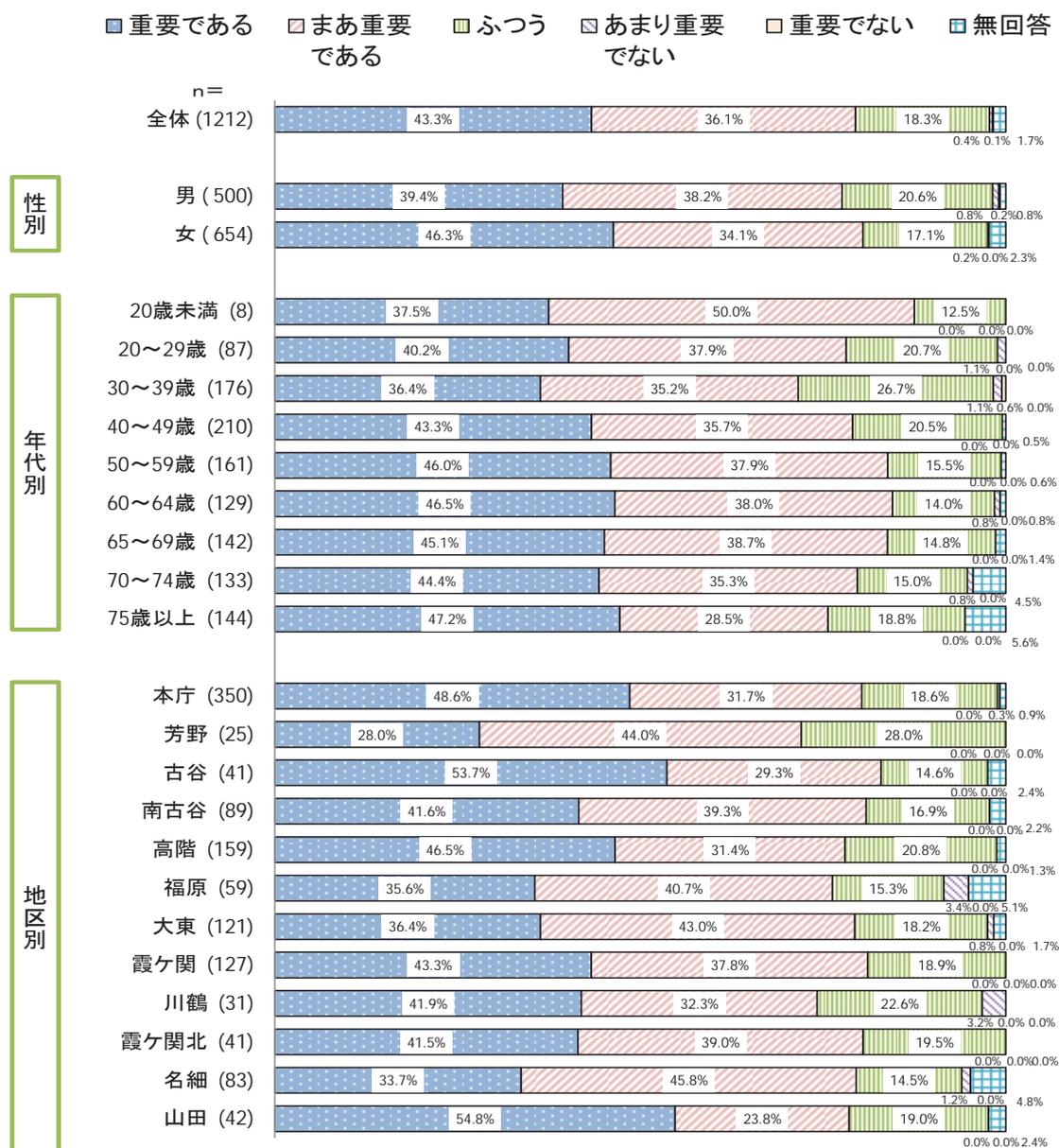
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	77.2%	80.5%	3.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	19.6%	22.0%	2.4%

4 1. 廃棄物の適正処理

【施策の内容】

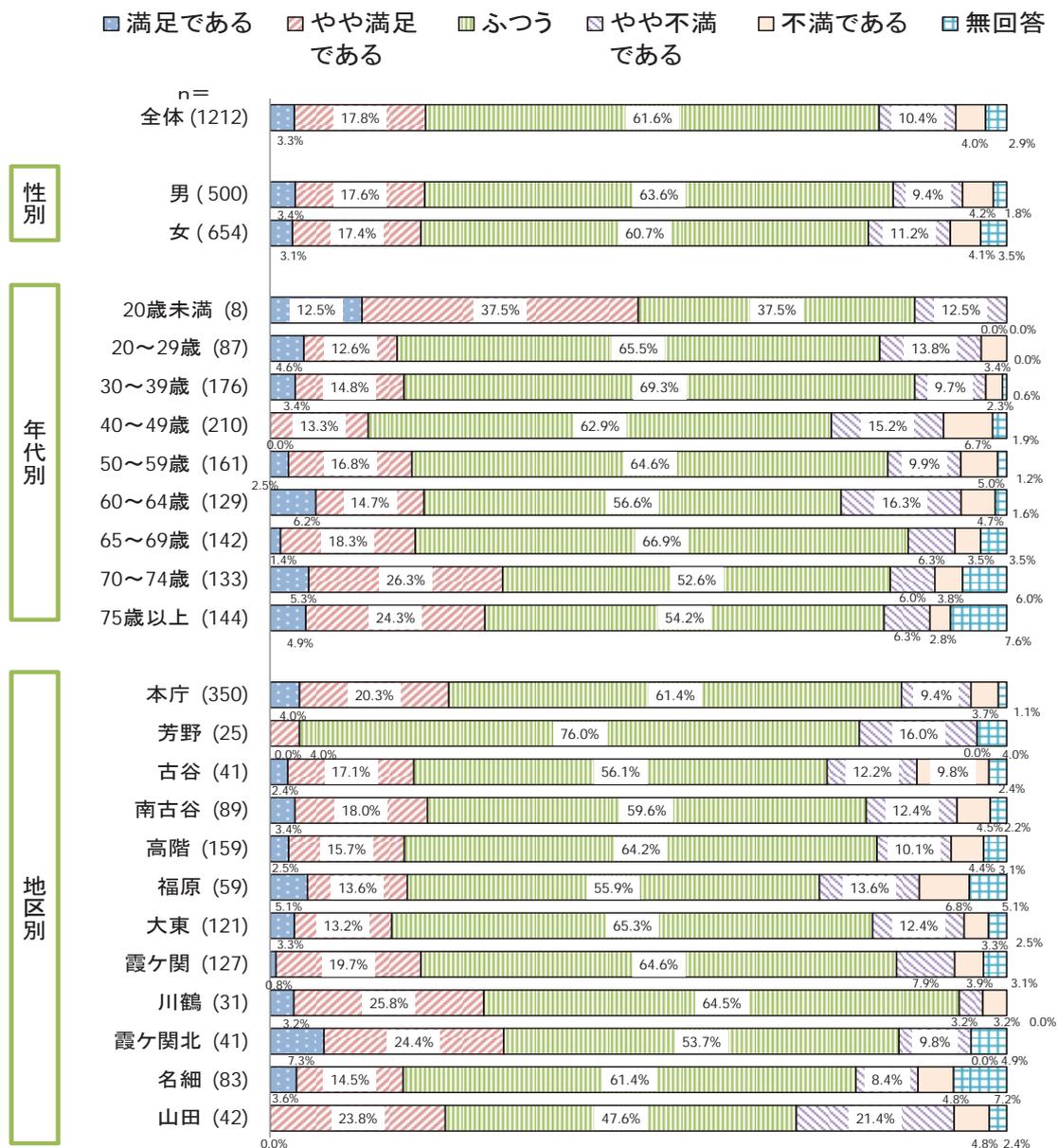
廃棄物の適正・安定的な処理を行うため、処理施設の建設・整備を進めるとともに、廃棄物の排出についての指導・監督に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、79.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は77.6%、女性は80.4%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、21.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は21.0%、女性は20.5%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

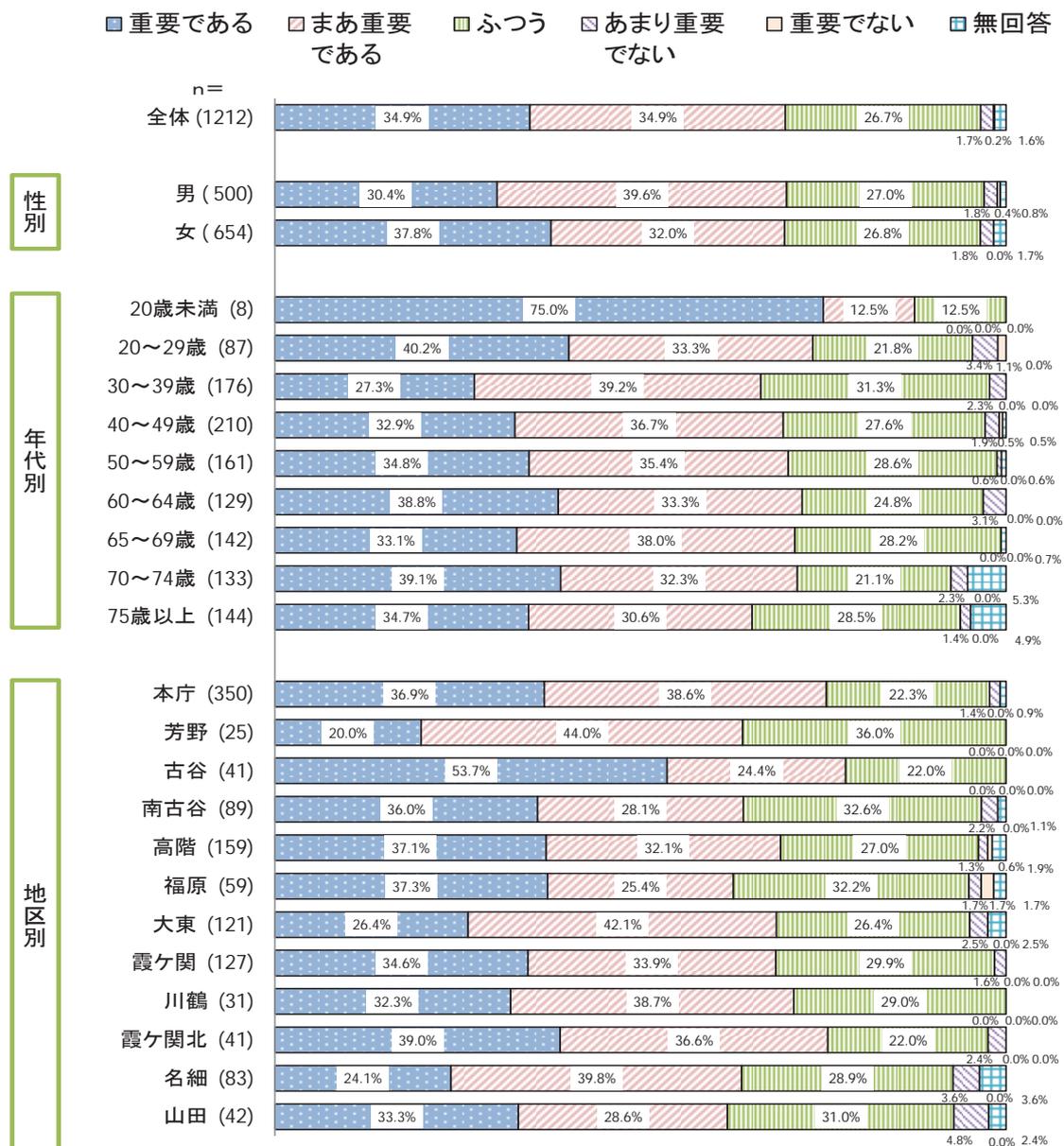
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	76.5%	79.4%	2.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	22.0%	21.1%	-0.9%

4.2. 自然環境の保全

【施策の内容】

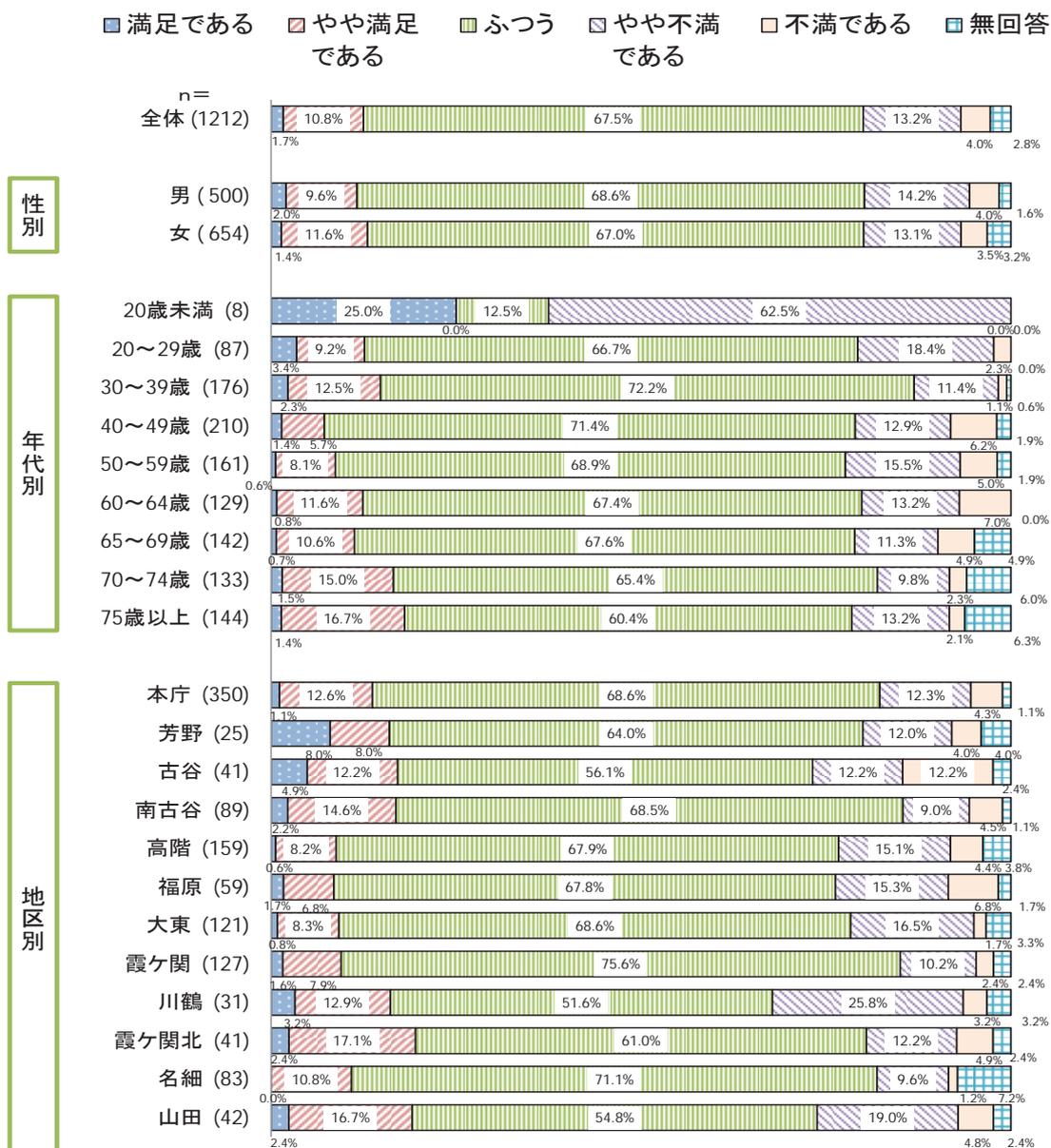
雑木林や身近にある緑を保全するとともに、都市に潤いを与える緑を創出し、水辺環境の保全・活用を図ることにより、自然と人が共生できるまちづくりに取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、69.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は70.0%、女性は69.8%と、ほぼ同じとなっている。

<満足度>



- 全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、12.5%となっている。
- 性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.6%、女性は13.0%と、女性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

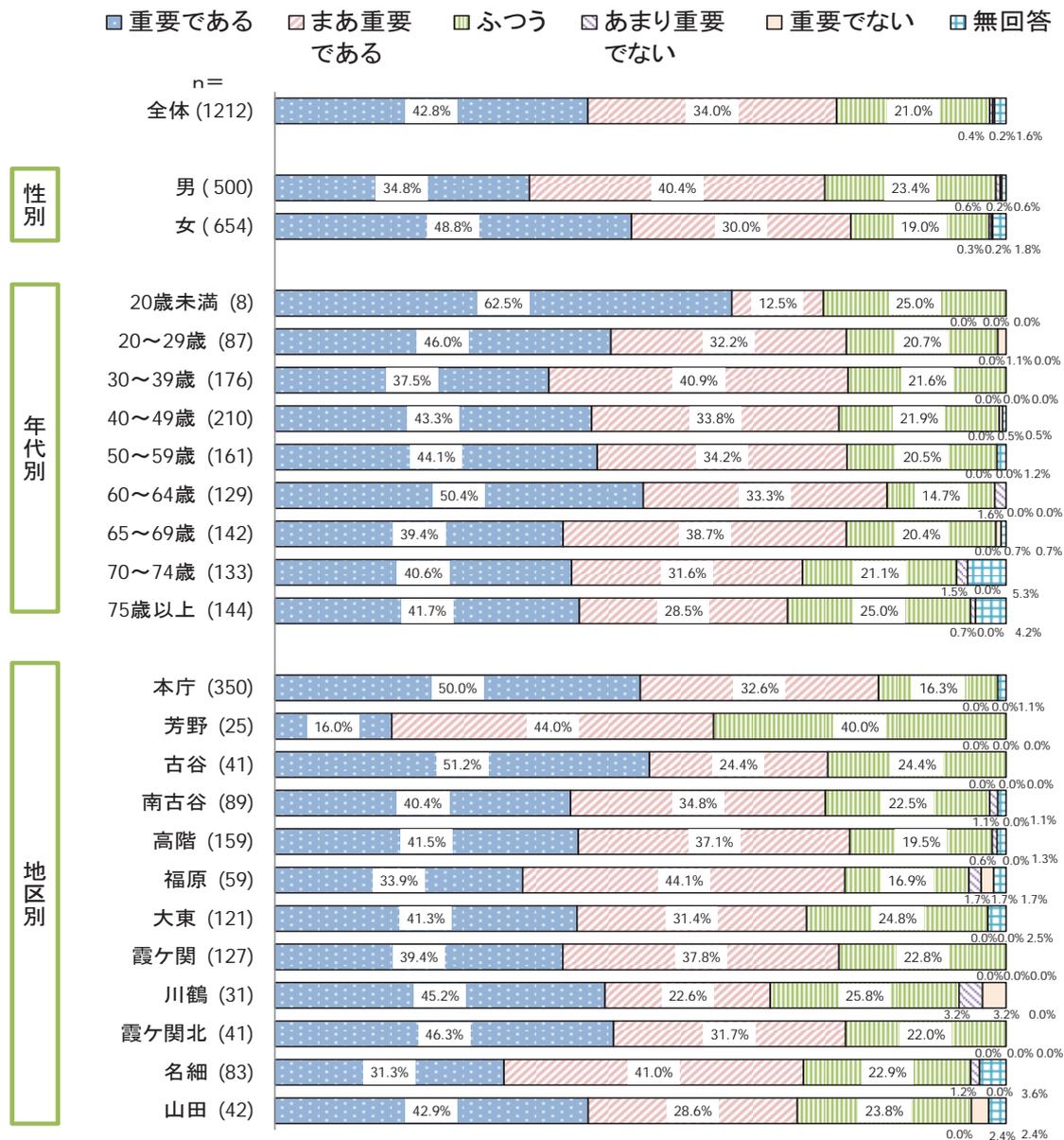
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	70.7%	69.8%	-0.9%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	16.9%	12.5%	-4.4%

4.3. 生活環境の保全

【施策の内容】

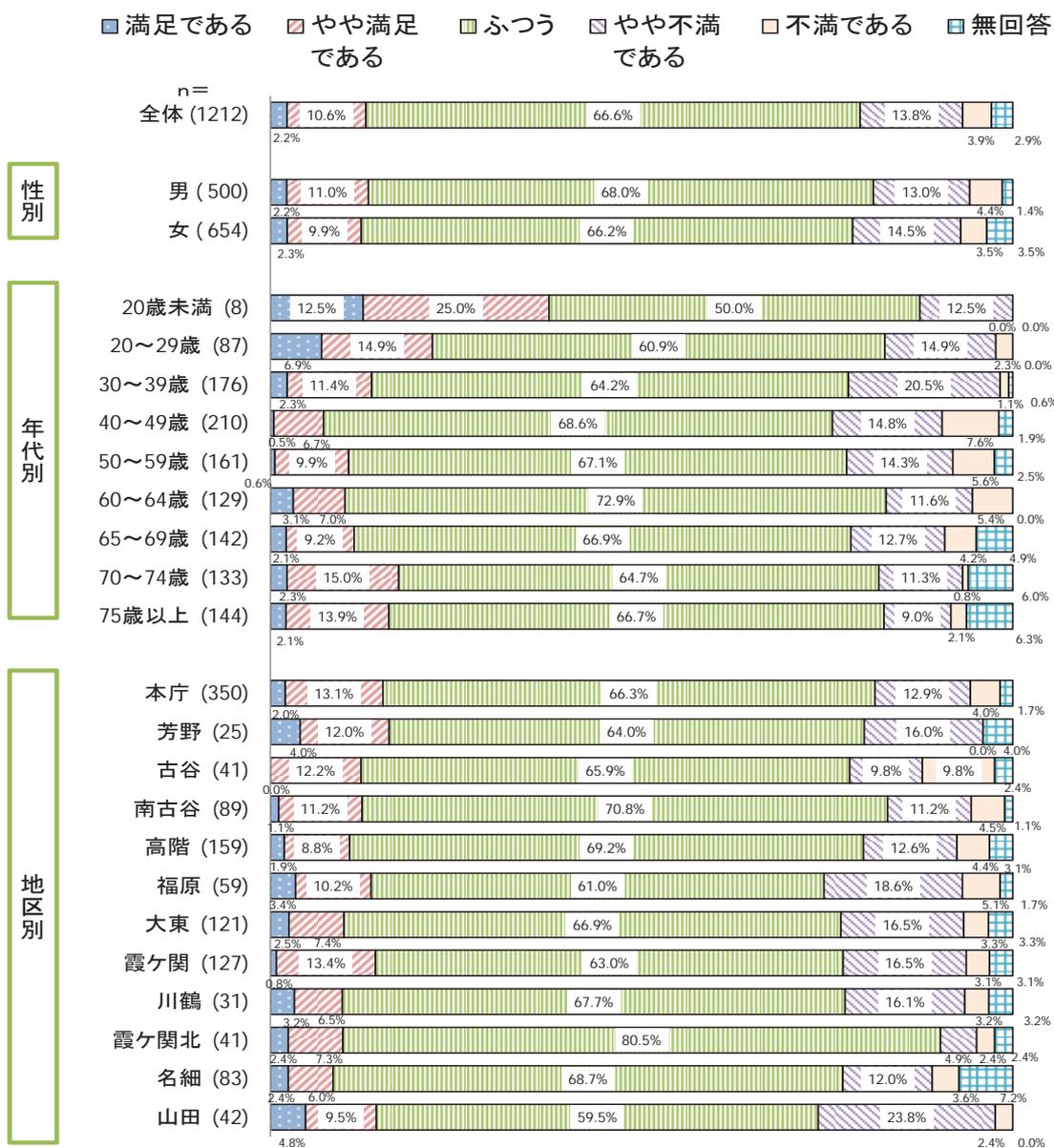
市民が健康で安心して生活できるよう、水・土壌環境、大気環境の保全等、良好な生活環境の確保に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、76.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は75.2%、女性は78.8%と、女性の方がやや高くなっている。

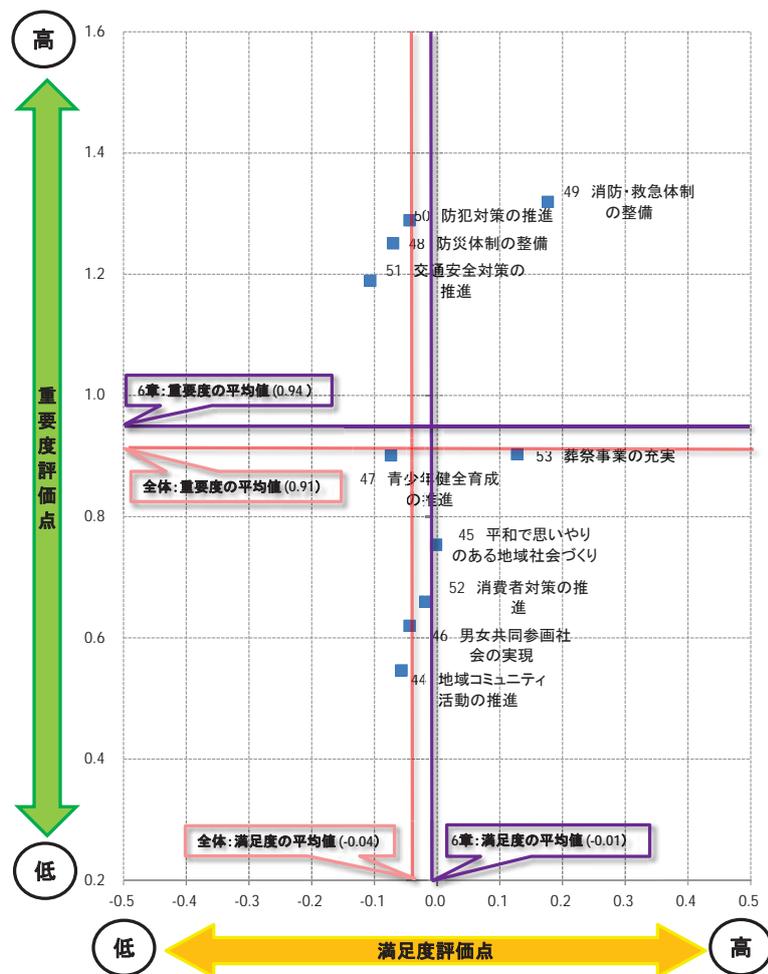
<満足度>



6章 人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち ～地域社会と市民生活～

地域社会と市民生活の分野については、消防・防災・防犯等の施策で、重要度が全体の平均値(0.91)を大きく上回っている。満足度は、全体の平均値(-0.04)と概ね変わらず、平均的な値となっている。

また、「49 消防・救急体制の整備」については、重要度が高かつ満足度も高い施策となっている。



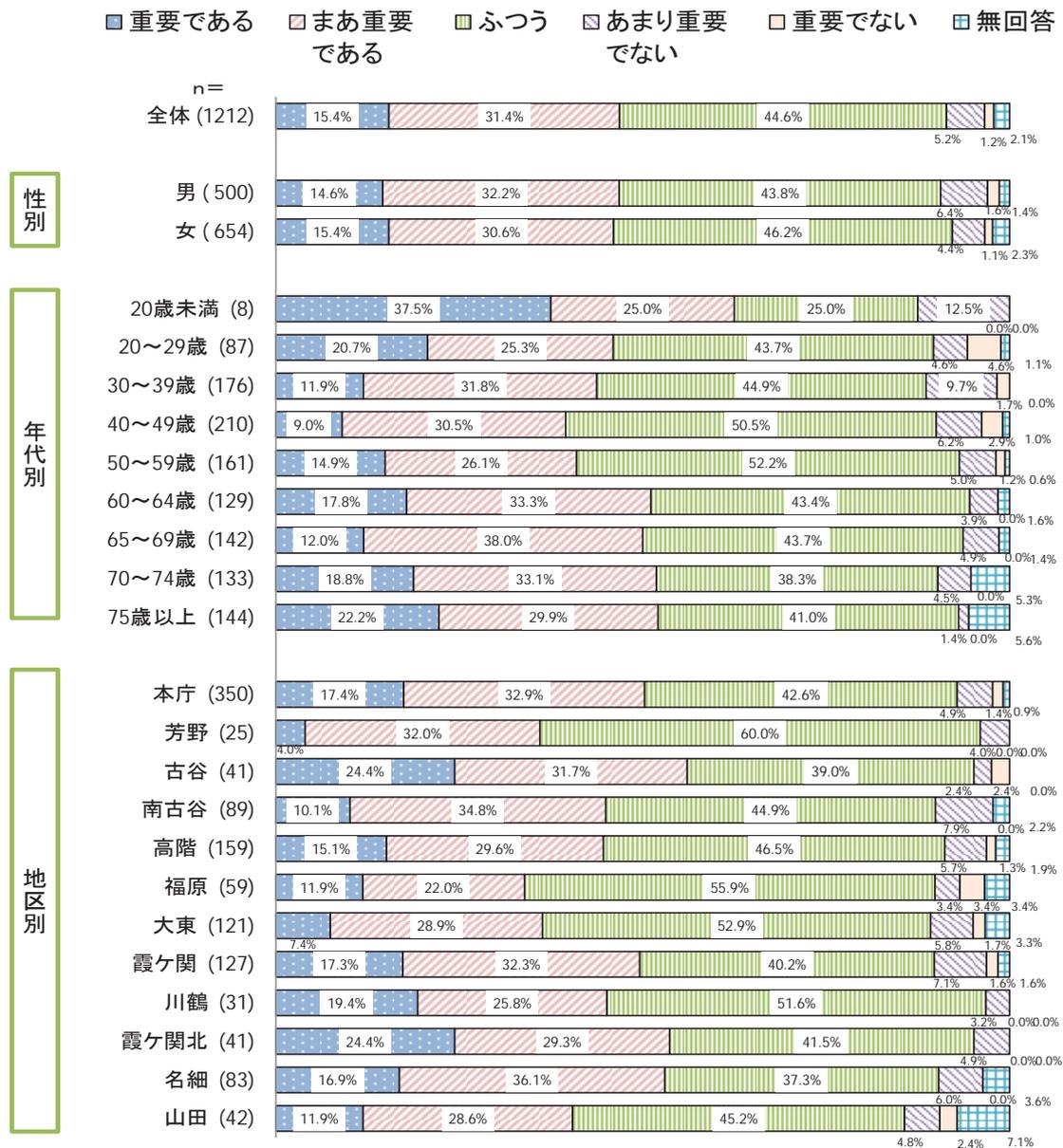
施策	重要度評価点	満足度評価点
44 地域コミュニティ活動の推進	0.55	-0.06
45 平和で思いやりのある地域社会づくり	0.75	0.00
46 男女共同参画社会の実現	0.62	-0.04
47 青少年健全育成の推進	0.90	-0.07
48 防災体制の整備	1.25	-0.07
49 消防・救急体制の整備	1.32	0.18
50 防犯対策の推進	1.29	-0.04
51 交通安全対策の推進	1.19	-0.11
52 消費者対策の推進	0.66	-0.02
53 葬祭事業の充実	0.90	0.13
6章 平均	0.94	-0.01

4.4. 地域コミュニティ活動の推進

【施策の内容】

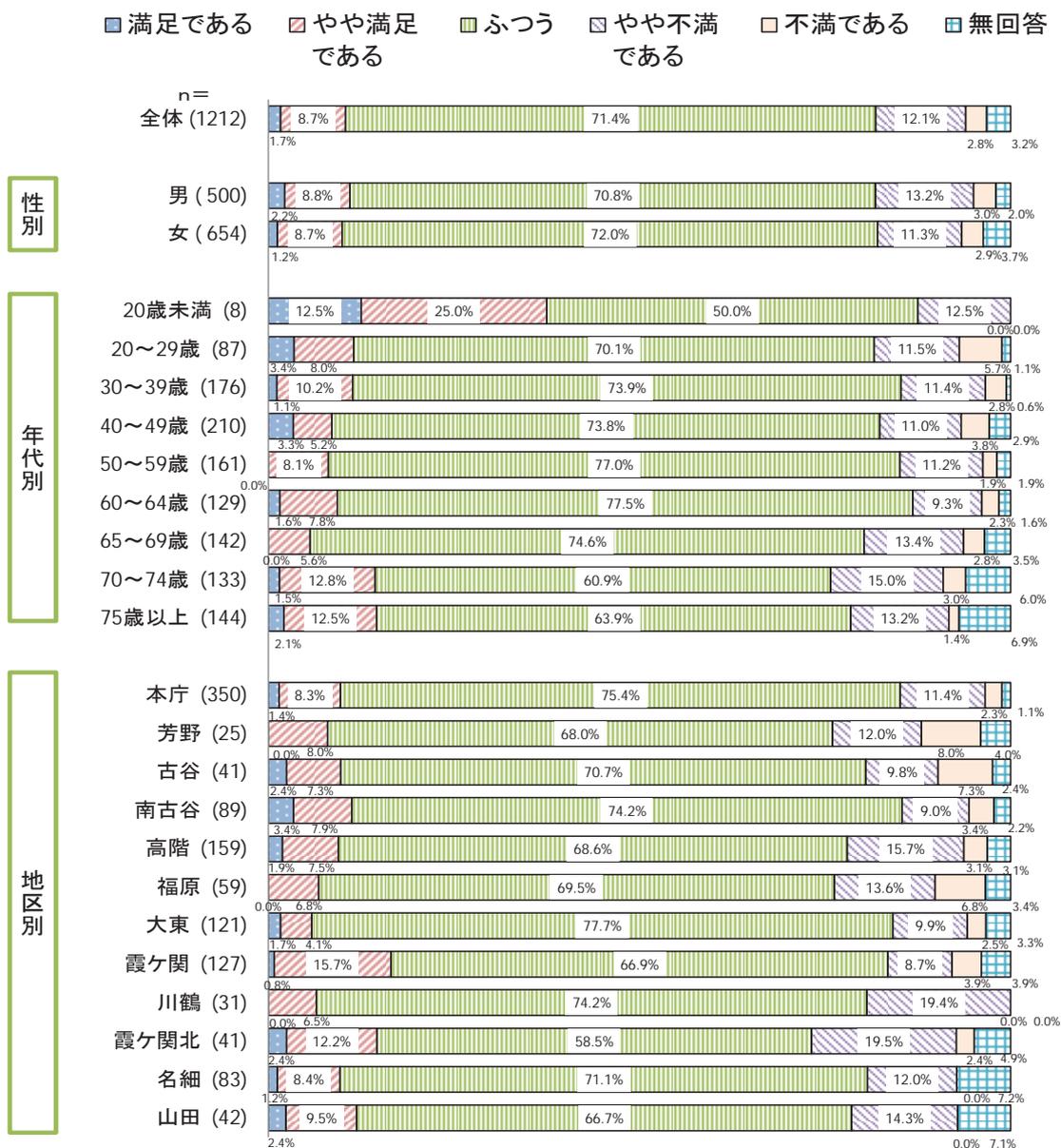
地域の諸課題を解決するため、中心的役割を担っている自治会等の活動を支援するなど、地域コミュニティ活動の推進に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、46.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は46.8%、女性は46.0%と、ほぼ同じとなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.0%、女性は9.9%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

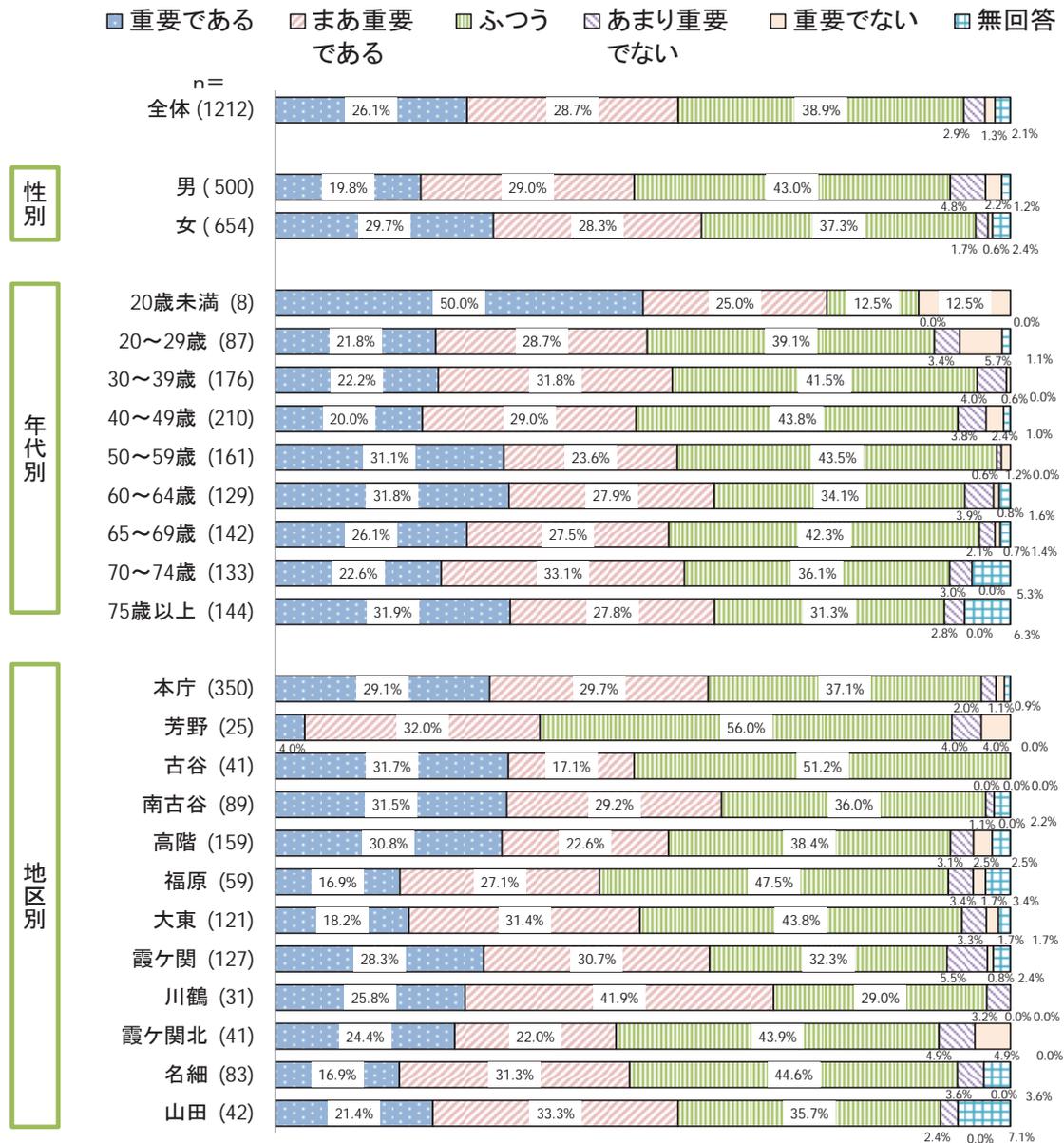
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	39.6%	46.8%	7.2%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	10.8%	10.4%	-0.4%

4 5. 平和で思いやりのある地域社会づくり

【施策の内容】

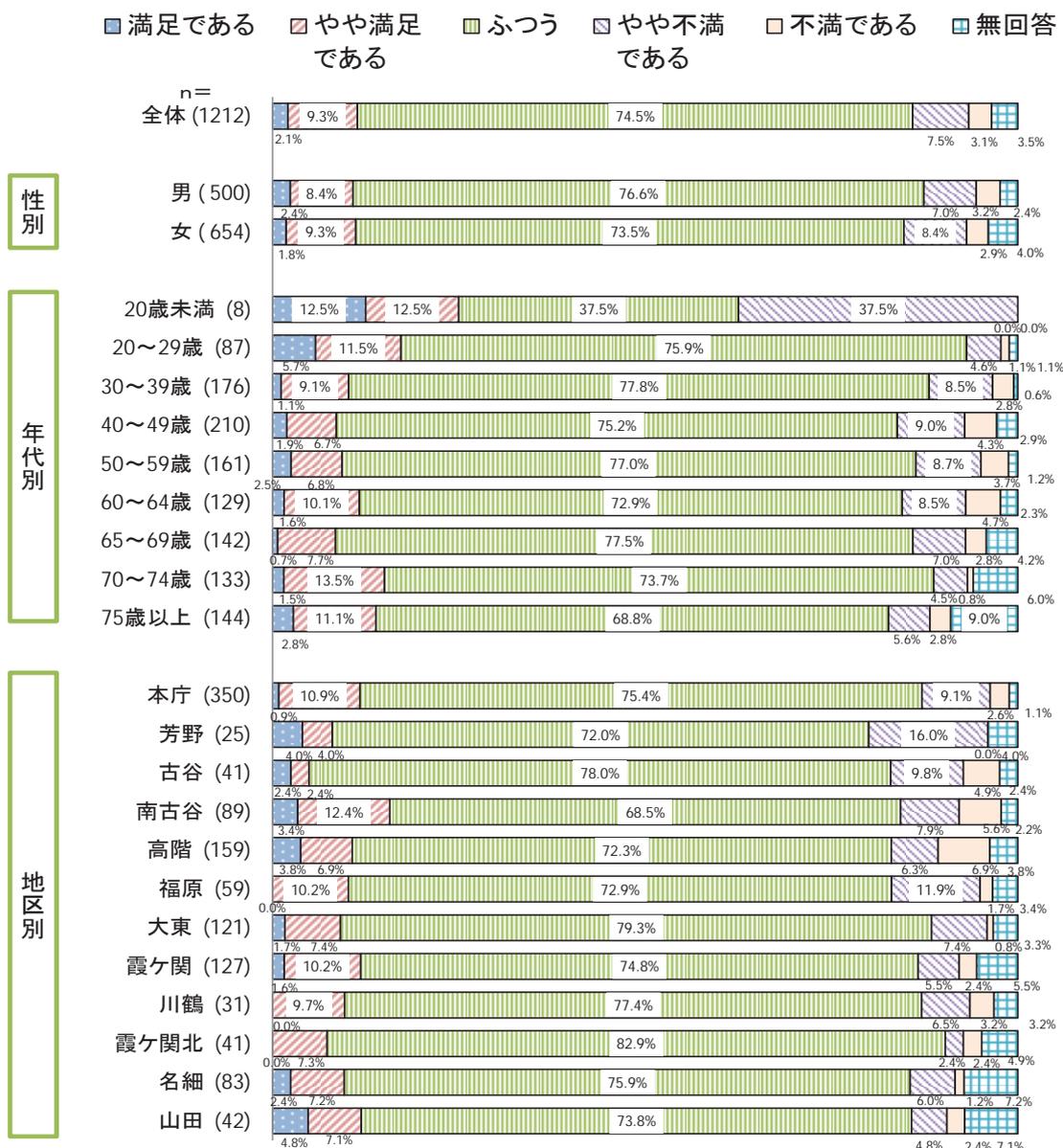
すべての市民が人権問題について正しく理解し認識を深め、差別や偏見のない明るい社会の実現に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、54.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は48.8%、女性は58.0%と、女性の方が高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.8%、女性は11.1%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

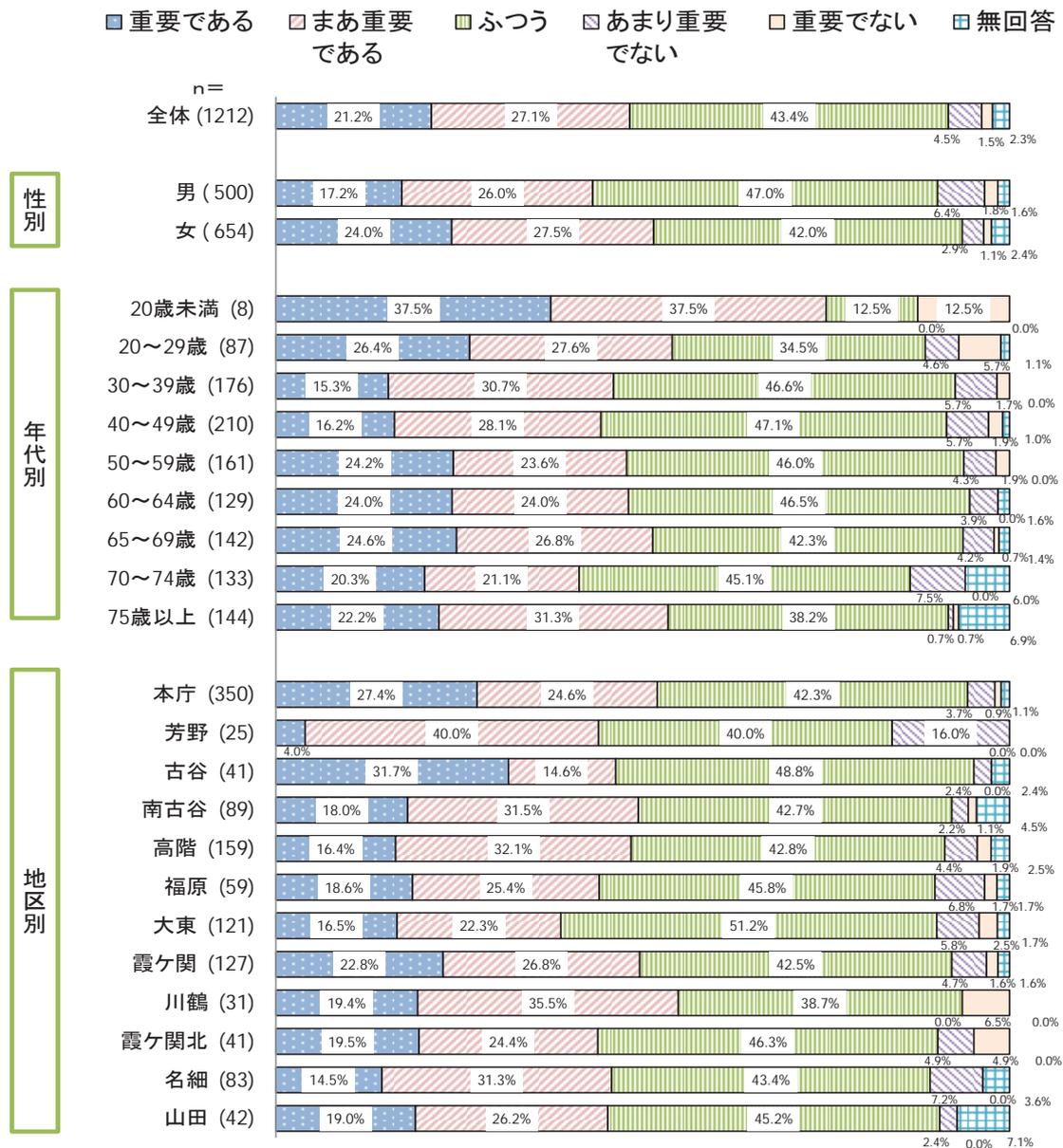
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	47.4%	54.8%	7.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.6%	11.4%	2.8%

4.6. 男女共同参画社会の実現

【施策の内容】

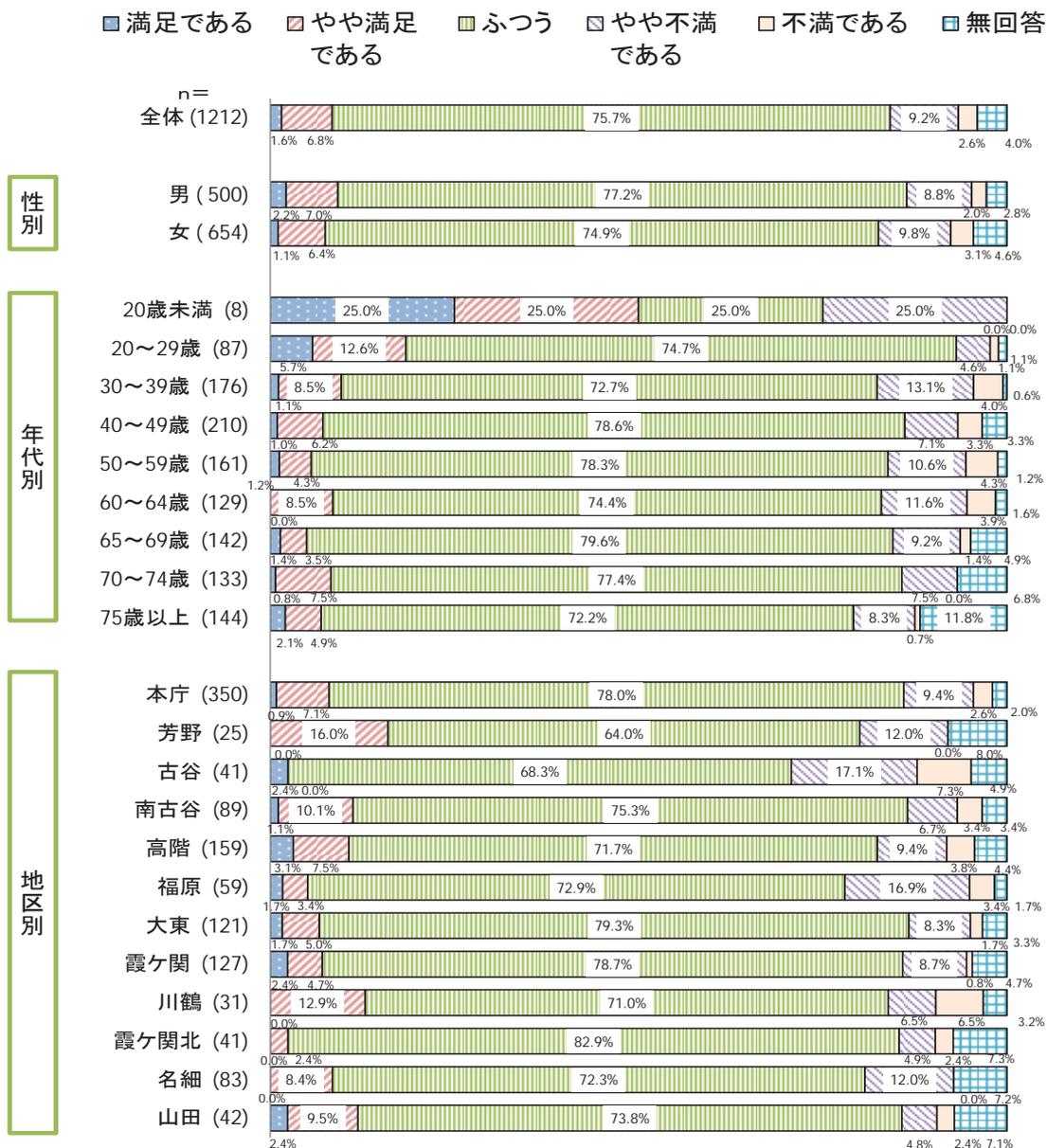
男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力が発揮できる社会の実現に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、48.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は43.2%、女性は51.5%と、女性の方が高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.2%、女性は7.5%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

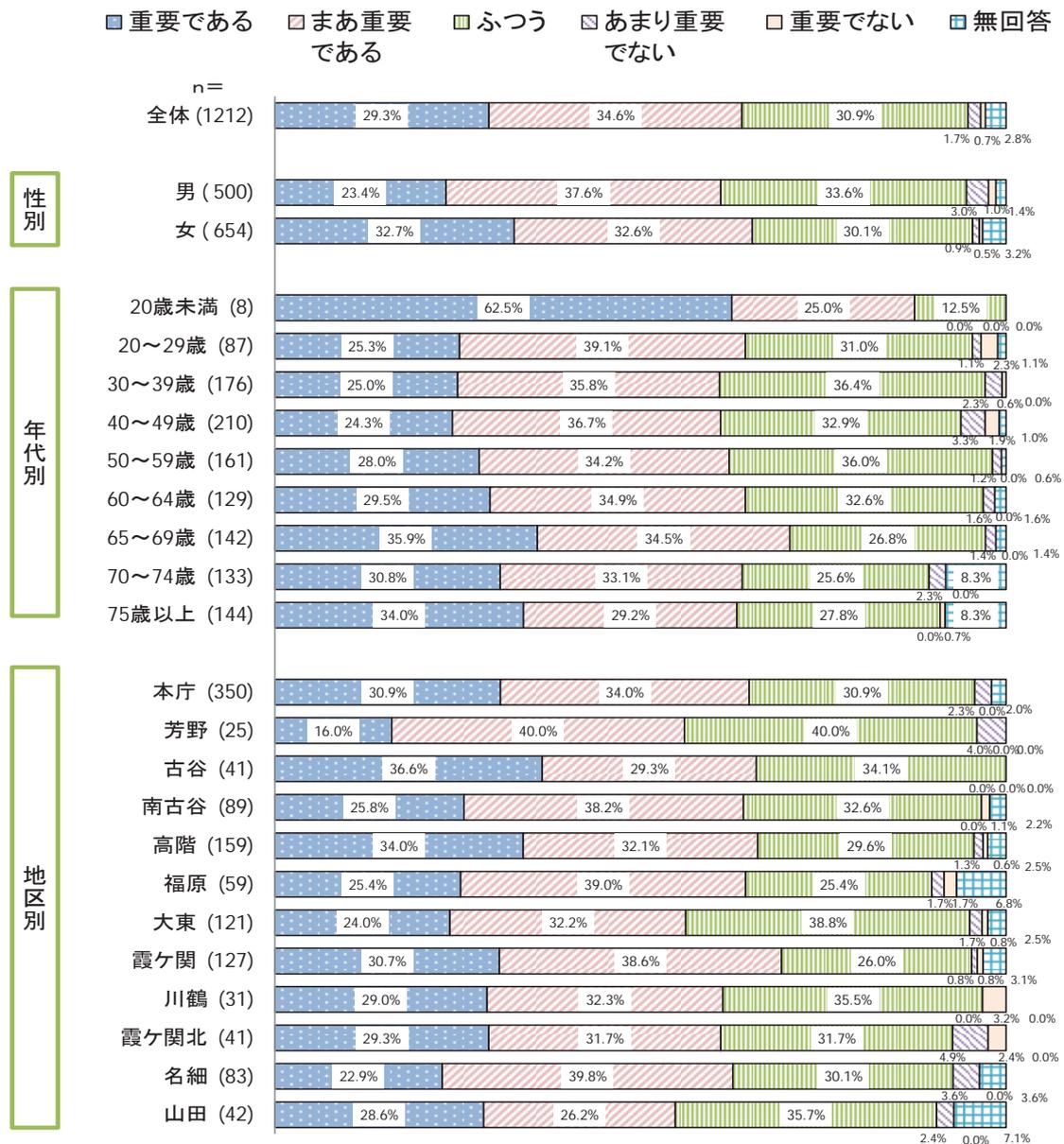
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	40.9%	48.3%	7.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	7.8%	8.4%	0.6%

4.7. 青少年健全育成の推進

【施策の内容】

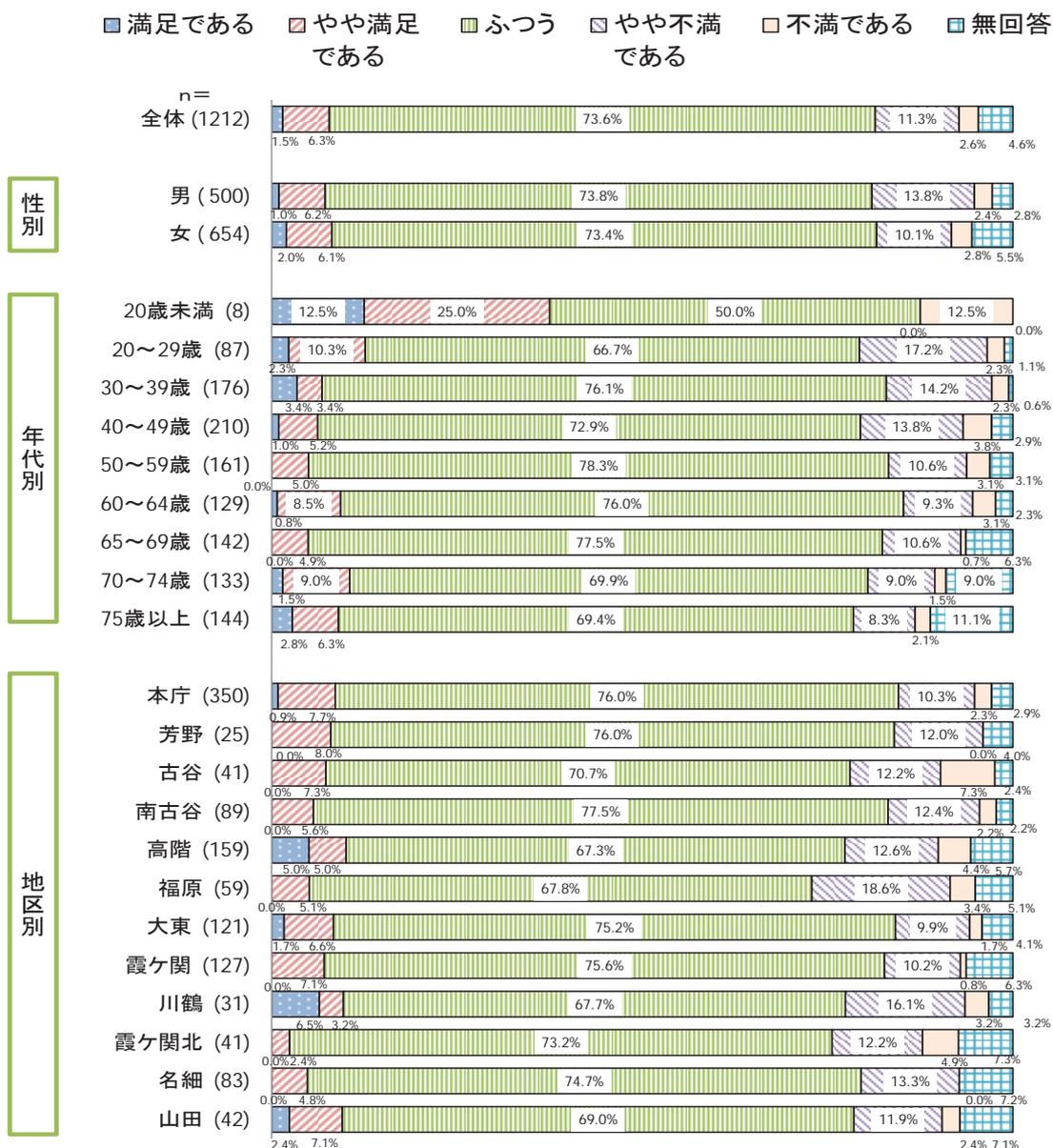
青少年が未来に向かって健やかに成長するよう、地域、学校、警察などの関係機関が連携し、最良となる環境づくりを地域ぐるみで取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、63.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は61.0%、女性は65.3%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、7.8%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は7.2%、女性は8.1%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

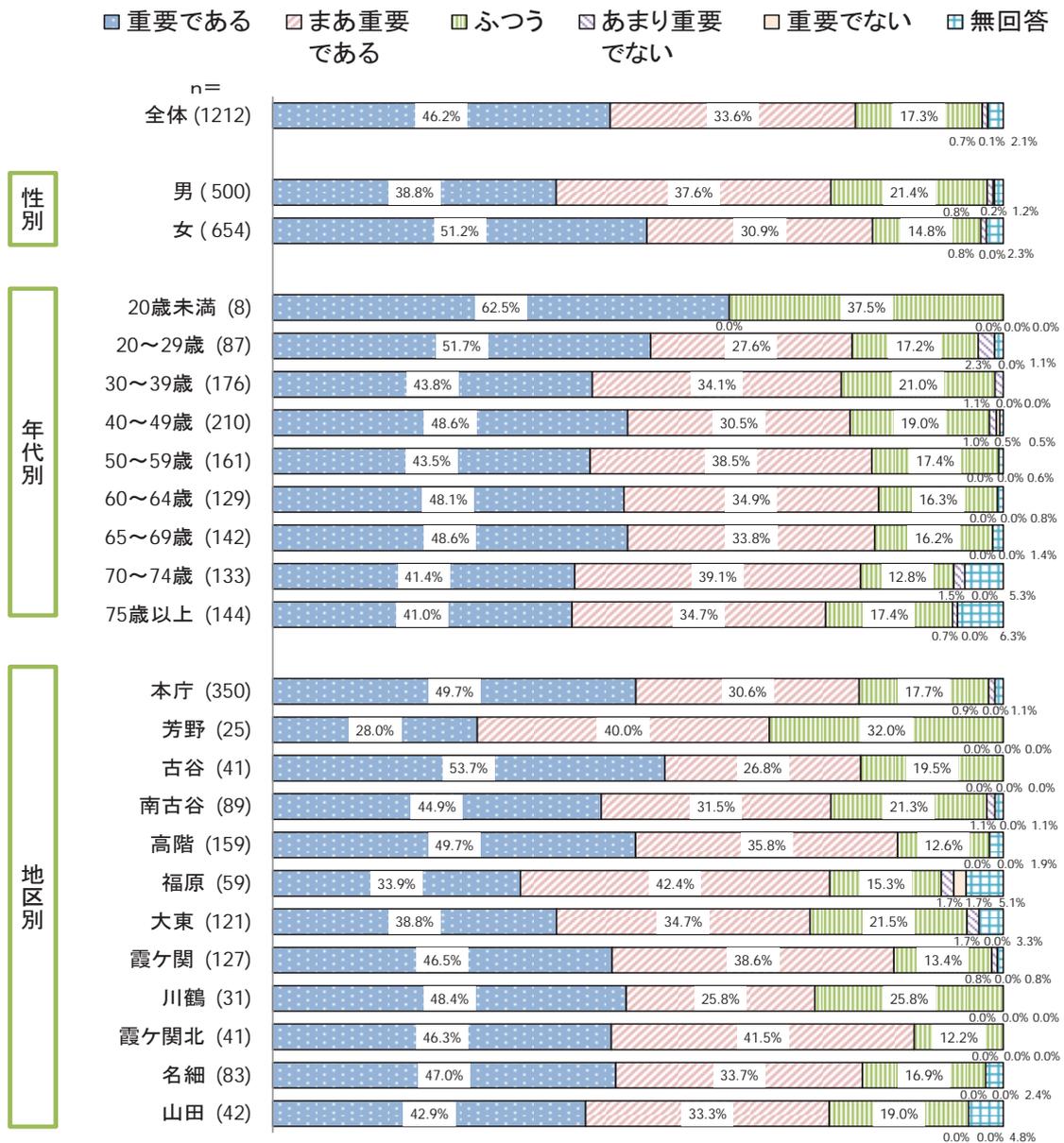
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	59.2%	63.9%	4.7%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	9.6%	7.8%	-1.8%

48. 防災体制の整備

【施策の内容】

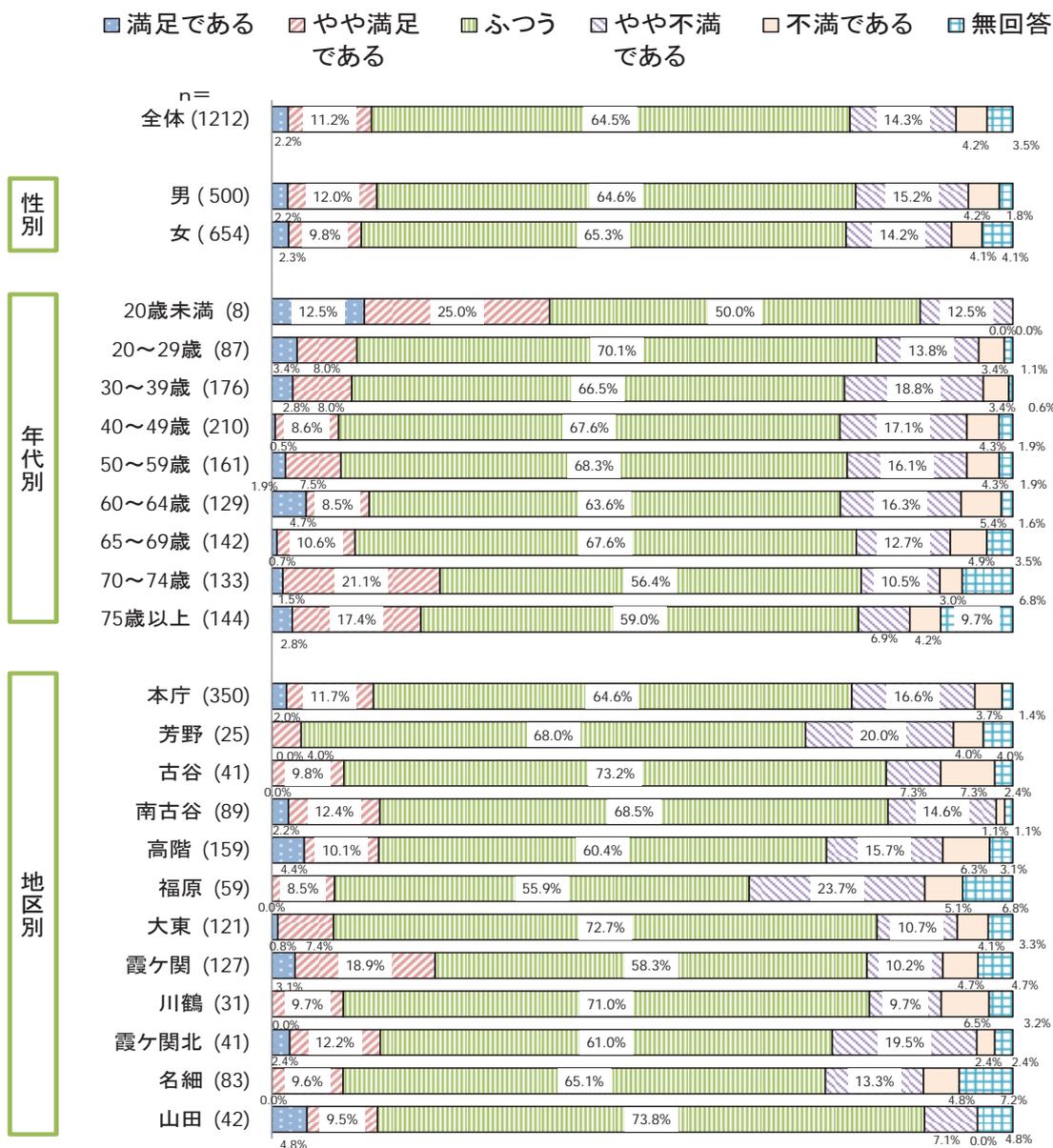
適切な役割分担のもと、市民(家庭)、地域、行政がそれぞれ担うべき災害対策の充実を図ることで、地域の防災力が向上できるよう取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、79.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は76.4%、女性は82.1%と、女性の方が高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、13.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は14.2%、女性は12.1%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

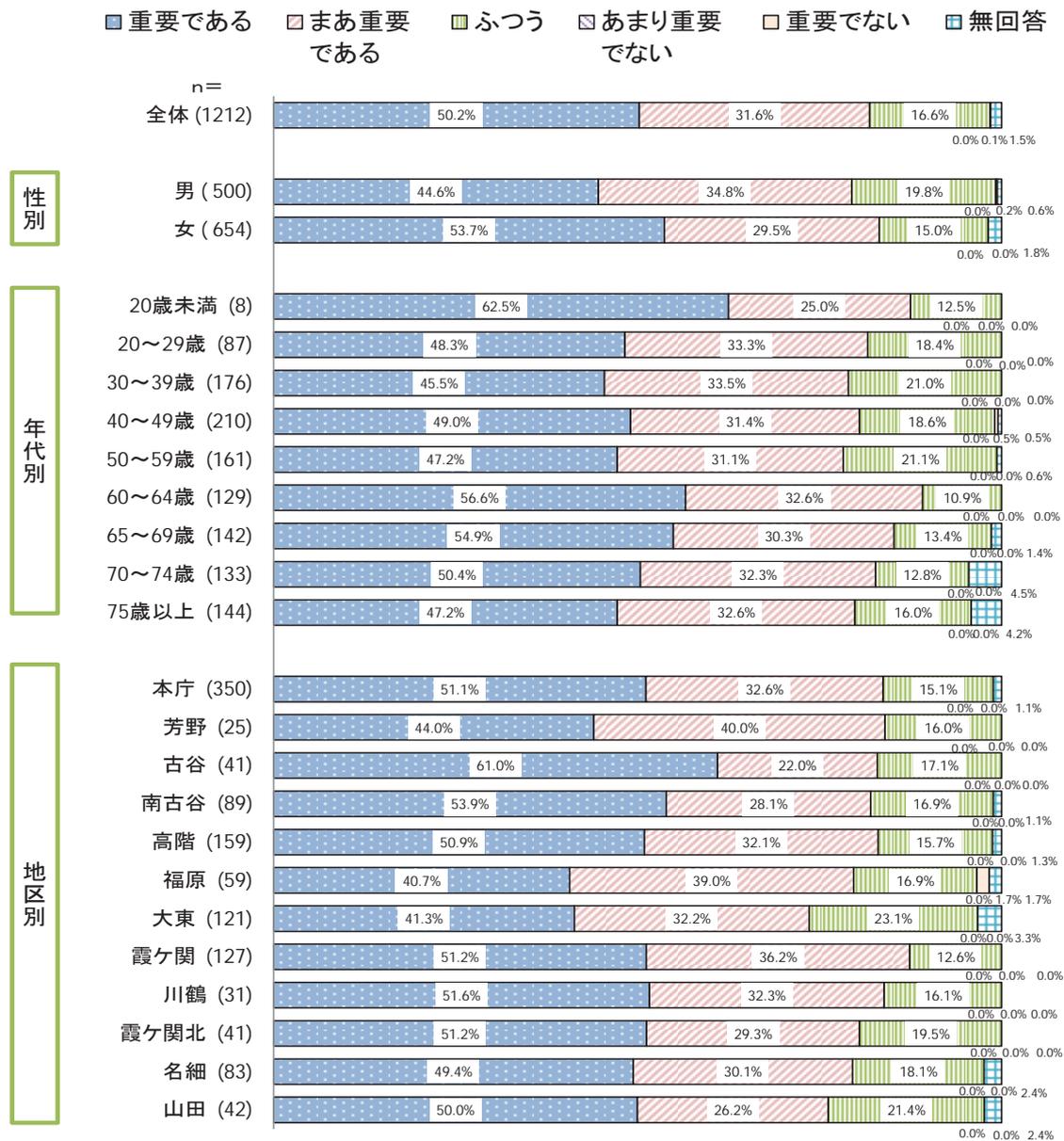
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	70.2%	79.8%	9.6%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	13.4%	13.4%	0.0%

49. 消防・救急体制の整備

【施策の内容】

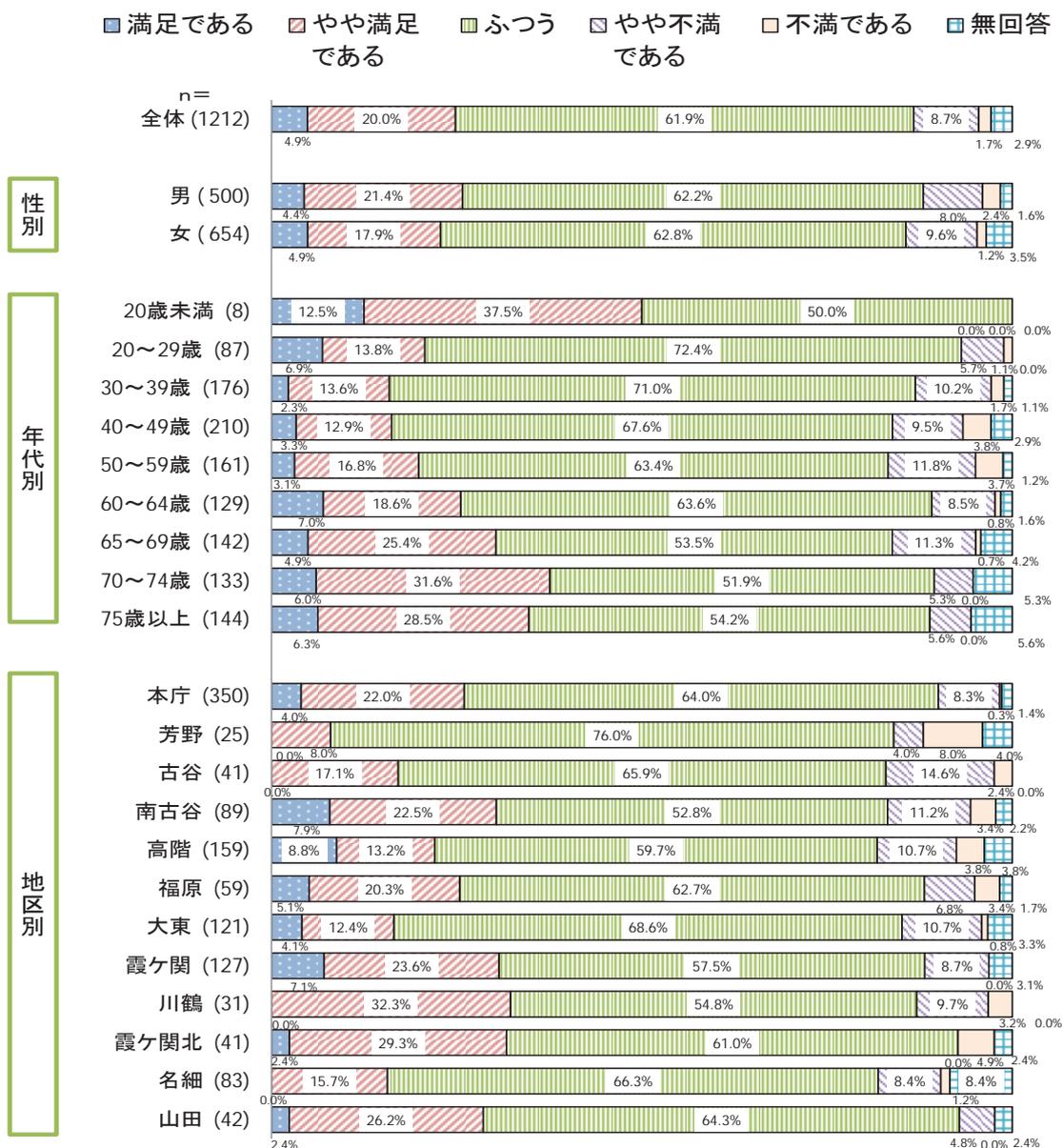
初動消防力、救急業務体制の強化、及び火災予防対策の推進により、市民の生命・財産を守り、安全で安心して暮らせるまちの実現に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、81.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は79.4%、女性は83.2%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、24.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は25.8%、女性は22.8%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

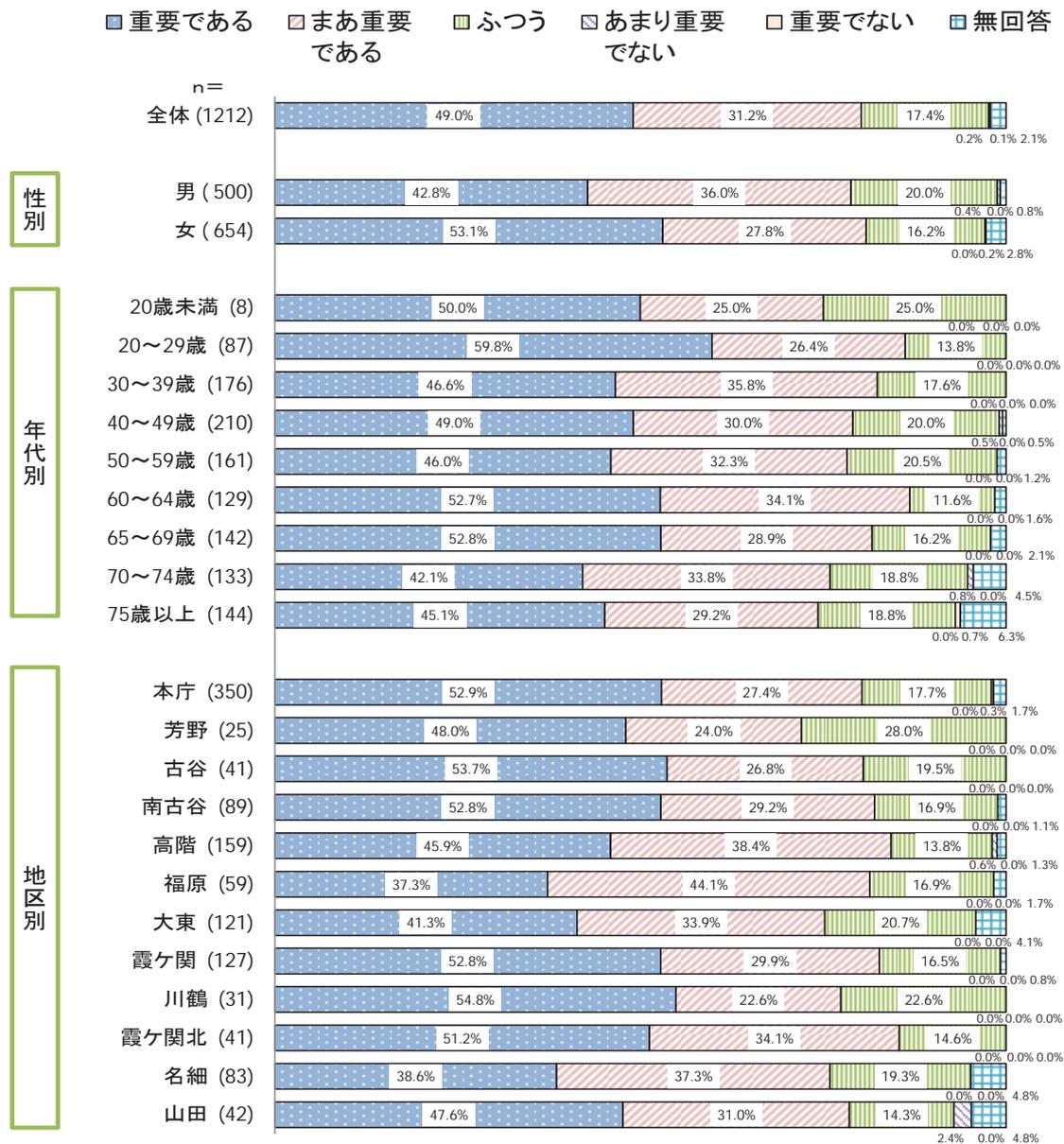
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	75.0%	81.8%	6.8%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	22.5%	24.9%	2.4%

50. 防犯対策の推進

【施策の内容】

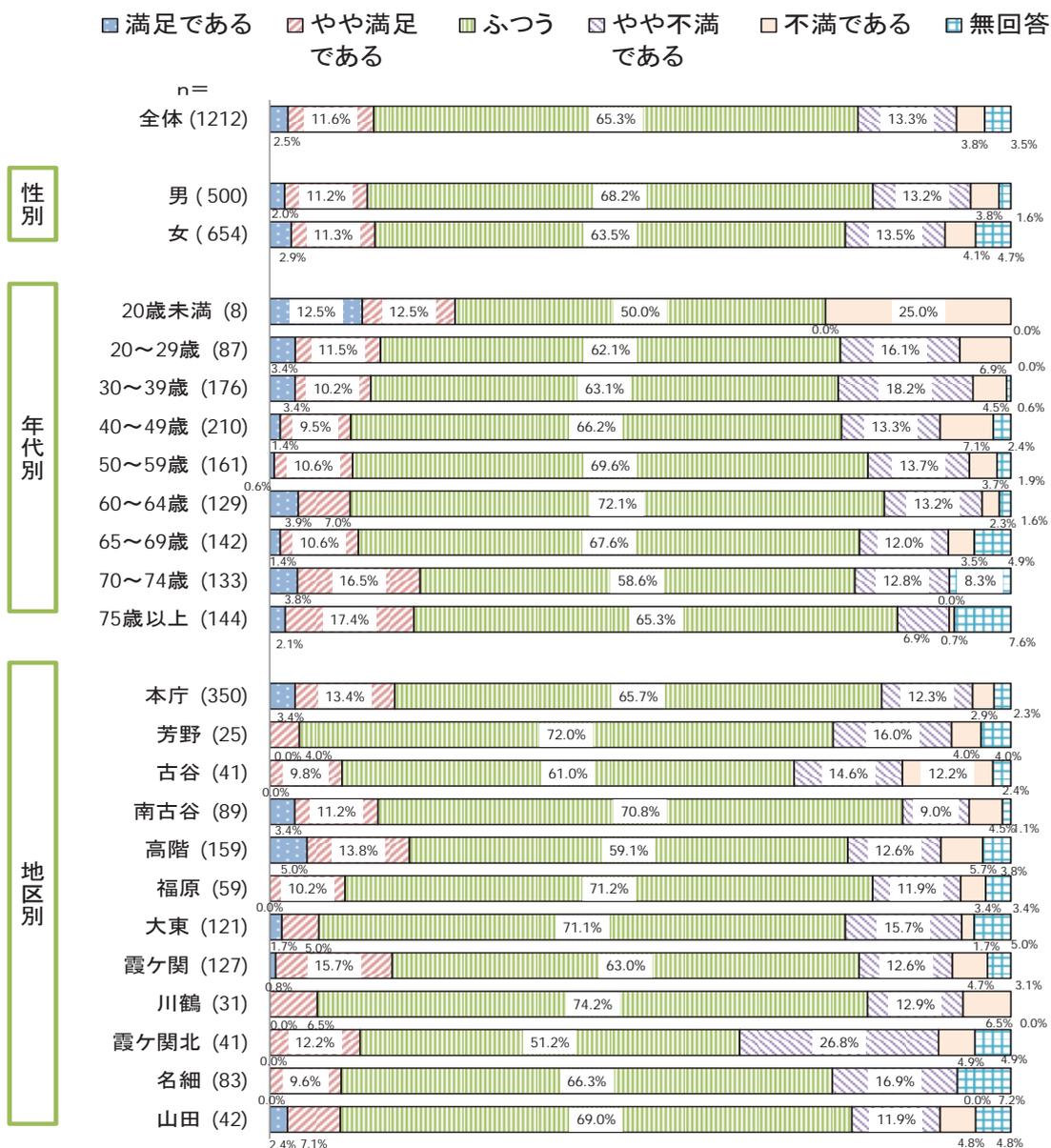
犯罪を誘発する機会を与えない、犯罪を起こさせない地域環境づくりを行う「防犯のまちづくり」に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、80.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は78.8%、女性は80.9%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、14.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は13.2%、女性は14.2%と、女性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

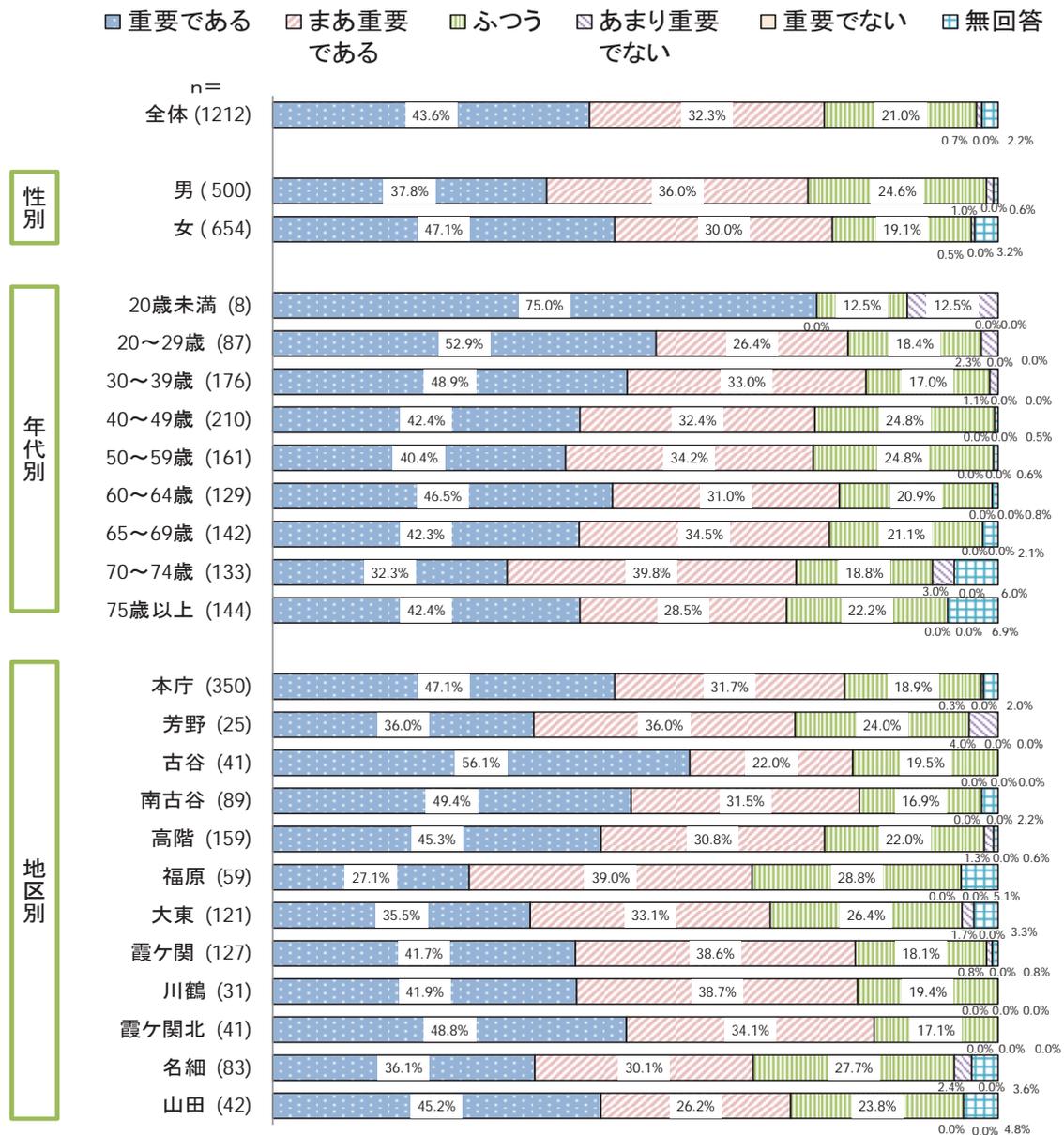
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	76.0%	80.2%	4.2%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	16.0%	14.1%	-1.9%

5 1. 交通安全対策の推進

【施策の内容】

安全・快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の整備、放置自転車対策、交通安全意識の啓発に取り組んでいます。

<重要度>



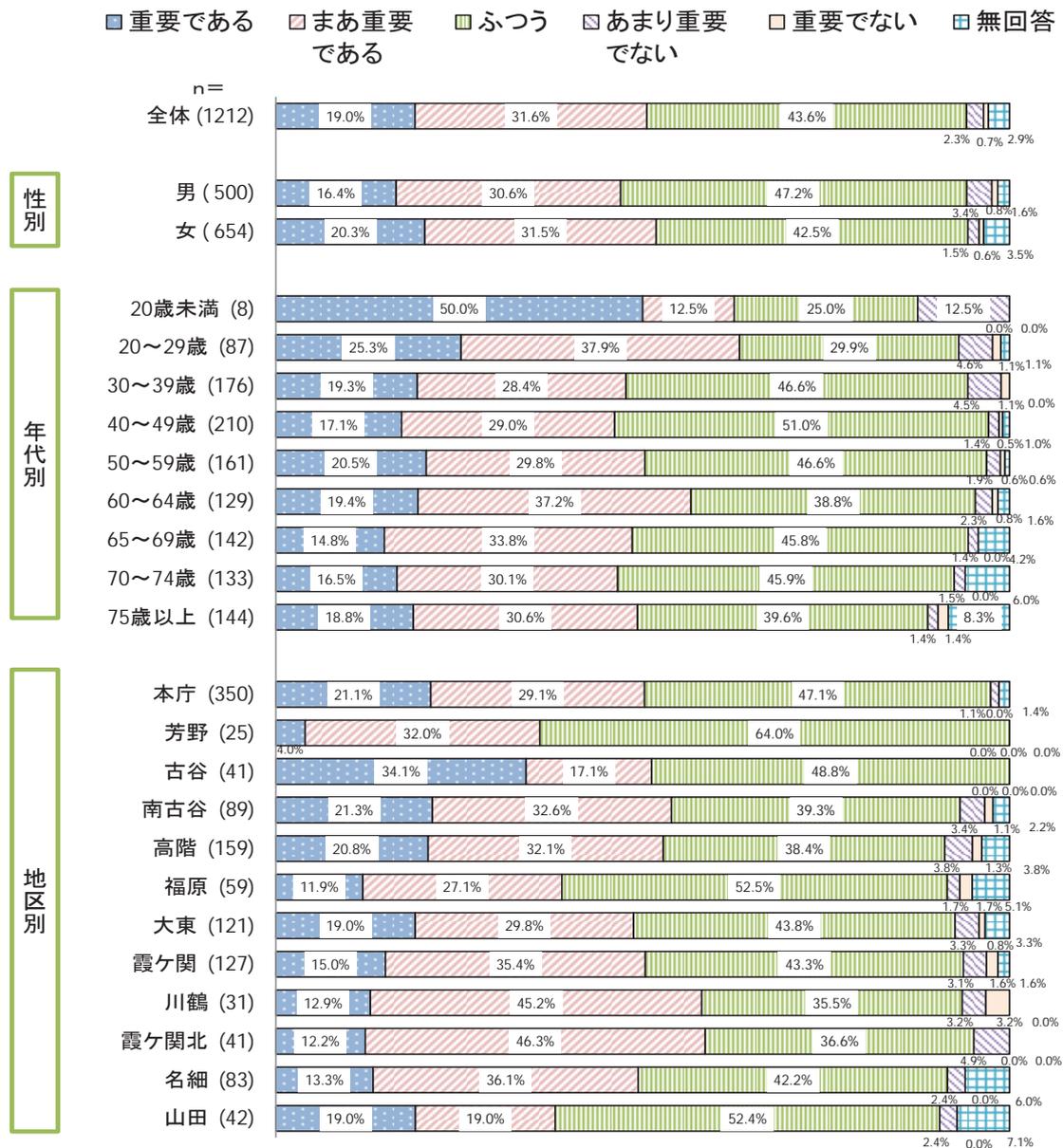
- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、75.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は73.8%、女性は77.1%と、女性の方がやや高くなっている。

5 2. 消費者対策の推進

【施策の内容】

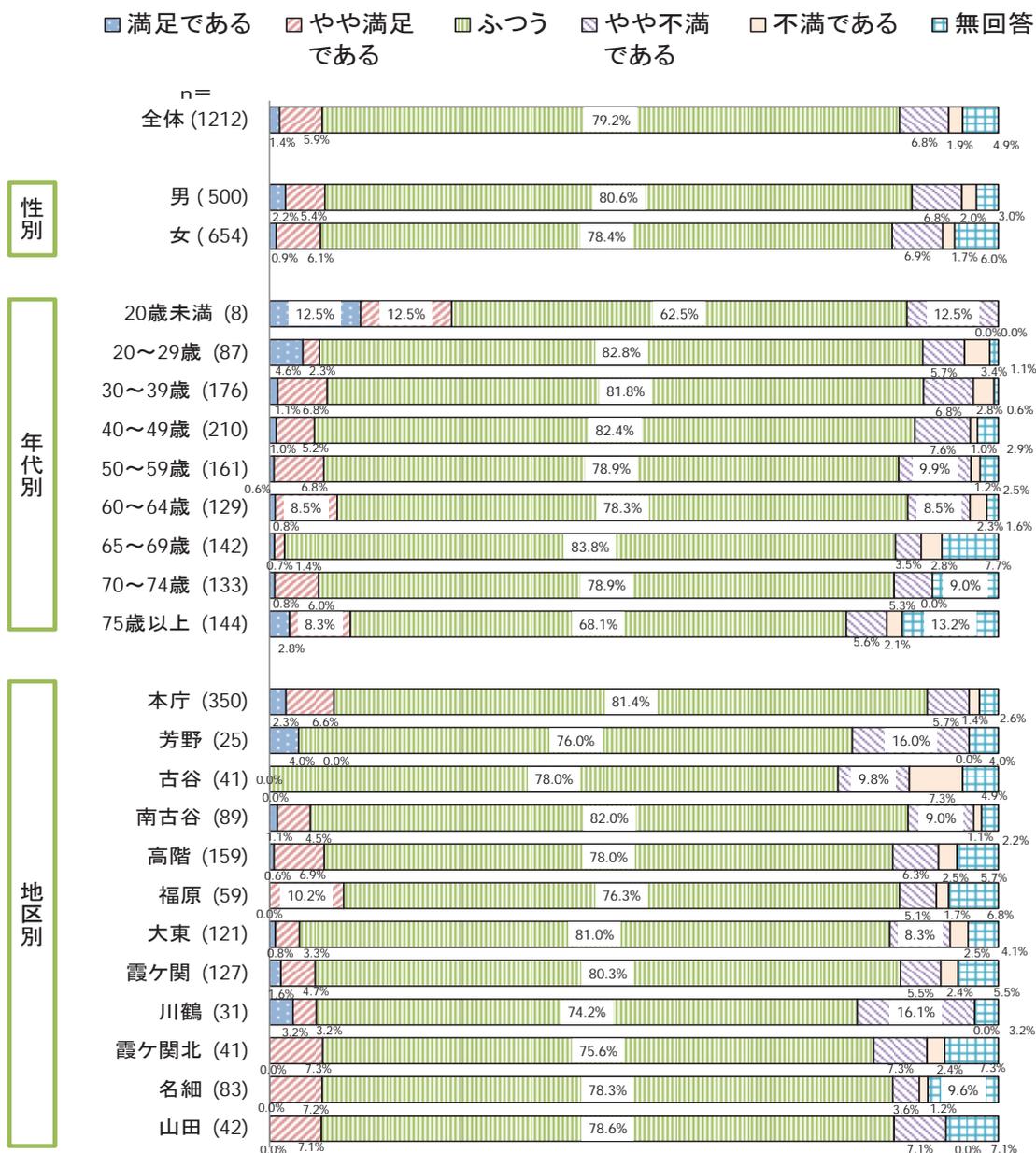
消費者生活相談体制の充実を図るとともに、消費者教育、消費者の自立を支援し、消費生活の安全及び向上に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、50.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は47.0%、女性は51.8%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、7.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は7.6%、女性は7.0%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

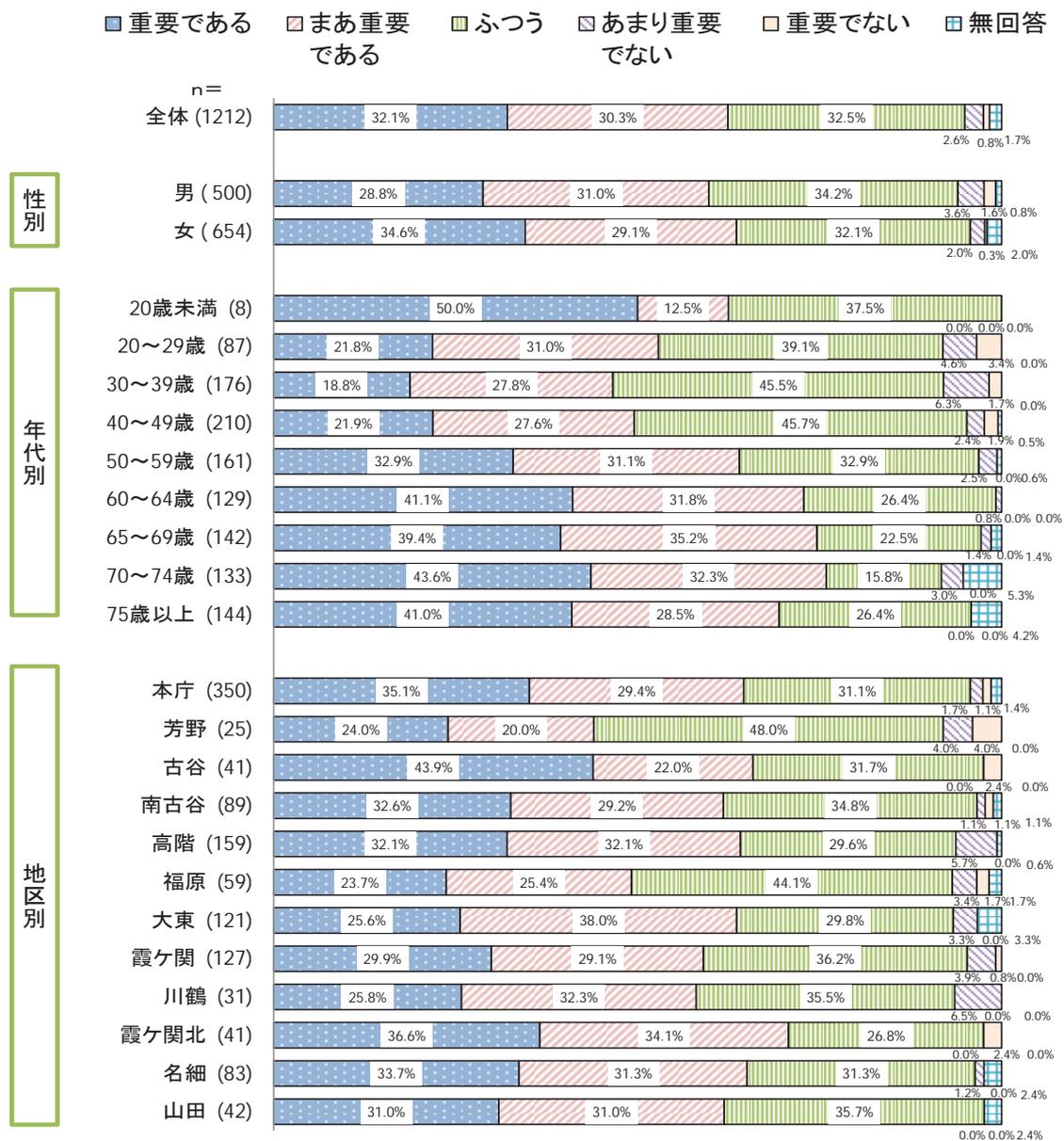
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	46.5%	50.6%	4.1%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	9.3%	7.3%	-2.0%

5.3. 葬祭事業の充実

【施策の内容】

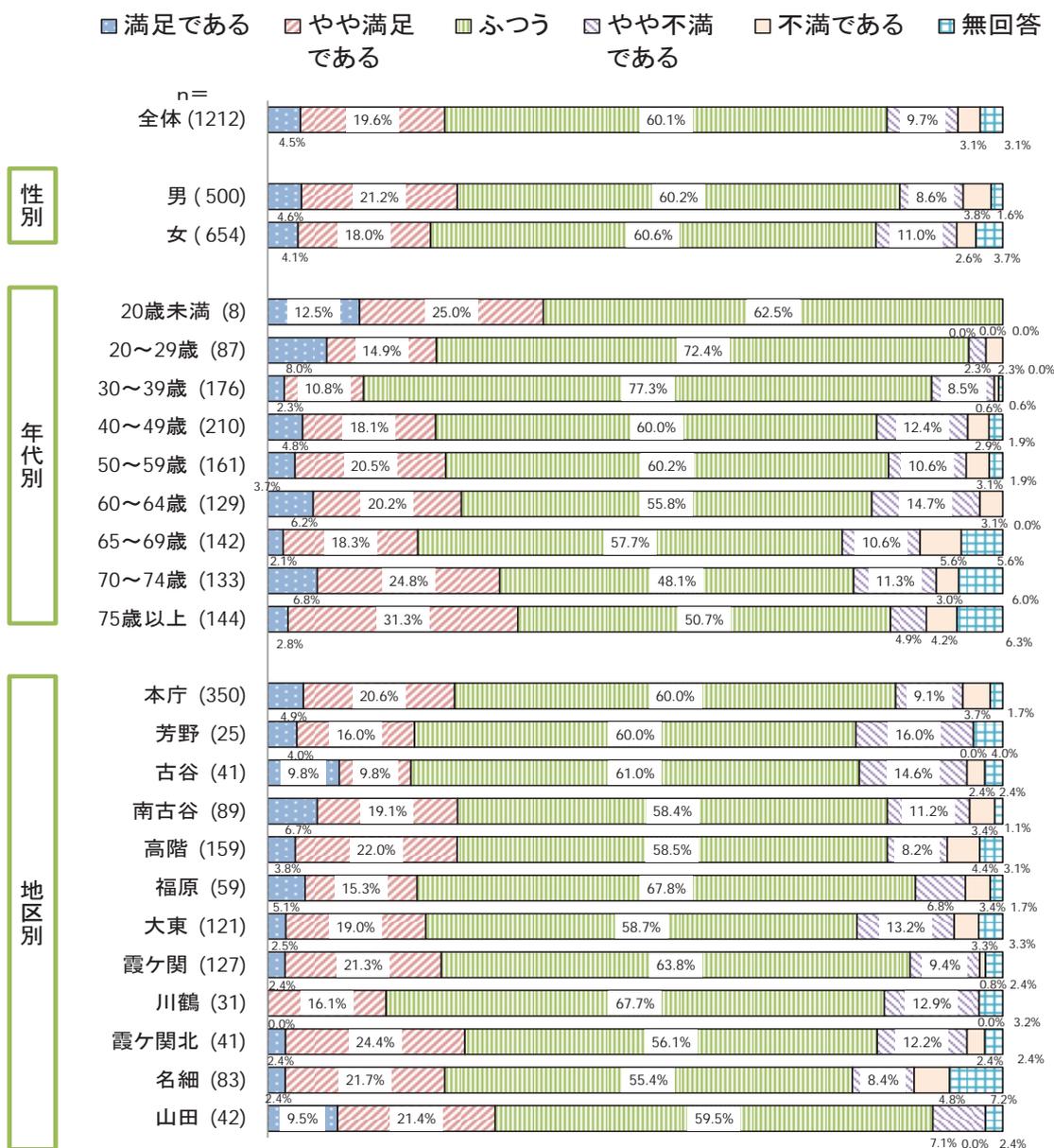
市民の利便性を確保する葬祭事業の充実のため、市民聖苑やすらぎのさとの施設の充実及び新斎場の検討に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、62.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は59.8%、女性は63.7%と、女性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、24.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は25.8%、女性は22.1%と、男性の方がやや高くなっている。

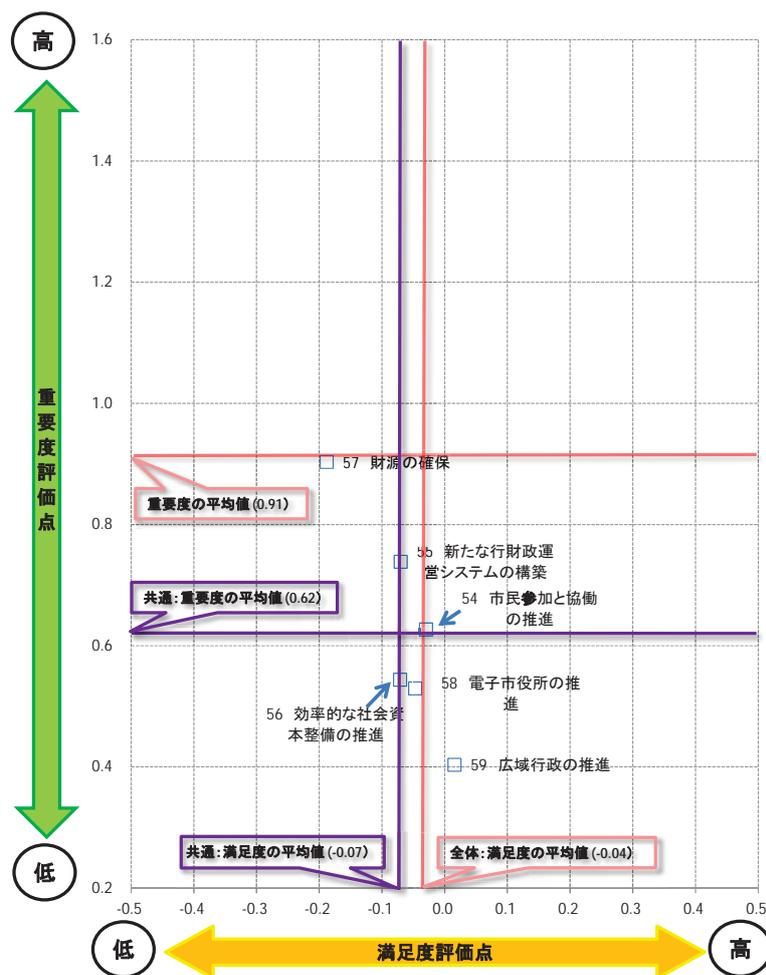
<前回調査結果との比較 (全体) >

	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	51.5%	62.4%	10.9%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	28.6%	24.1%	-4.5%

共通 協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進

共通施策の分野については、すべての施策において、重要度が全体の平均値(0.91)を下回っている。また、満足度については、本分野の平均値(-0.07)が全体の平均値(-0.04)を下回っている。

「57 財源の確保」については、本分野において、最も重要度が高く、満足度は低い施策となっている。



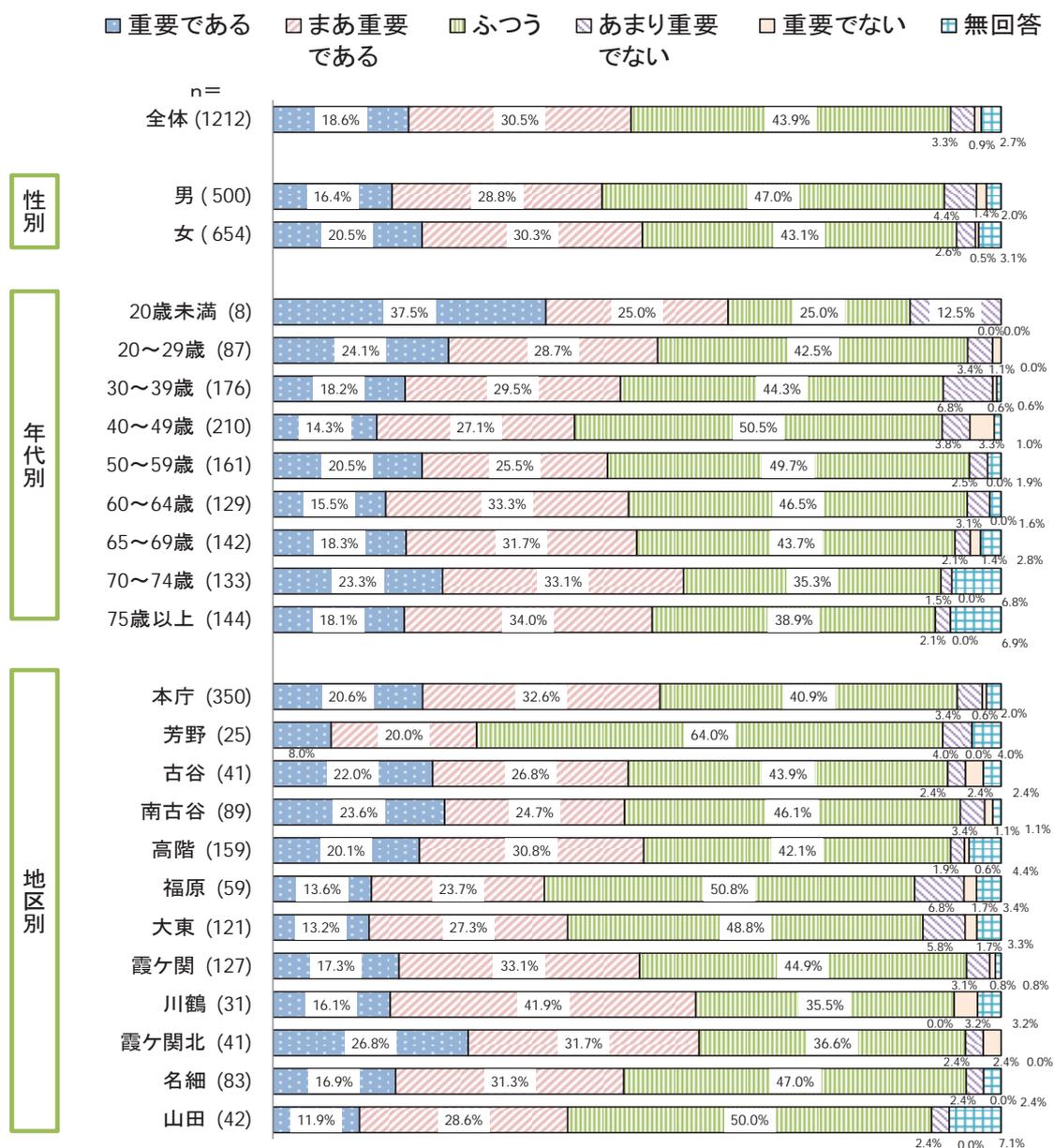
施策	重要度評価点	満足度評価点
54 市民参加と協働の推進	0.63	-0.03
55 新たな行財政運営システムの構築	0.74	-0.07
56 効率的な社会資本整備の推進	0.54	-0.07
57 財源の確保	0.90	-0.19
58 電子市役所の推進	0.53	-0.05
59 広域行政の推進	0.40	0.02
共通 平均	0.62	-0.07

5 4. 市民参加と協働の推進

【施策の内容】

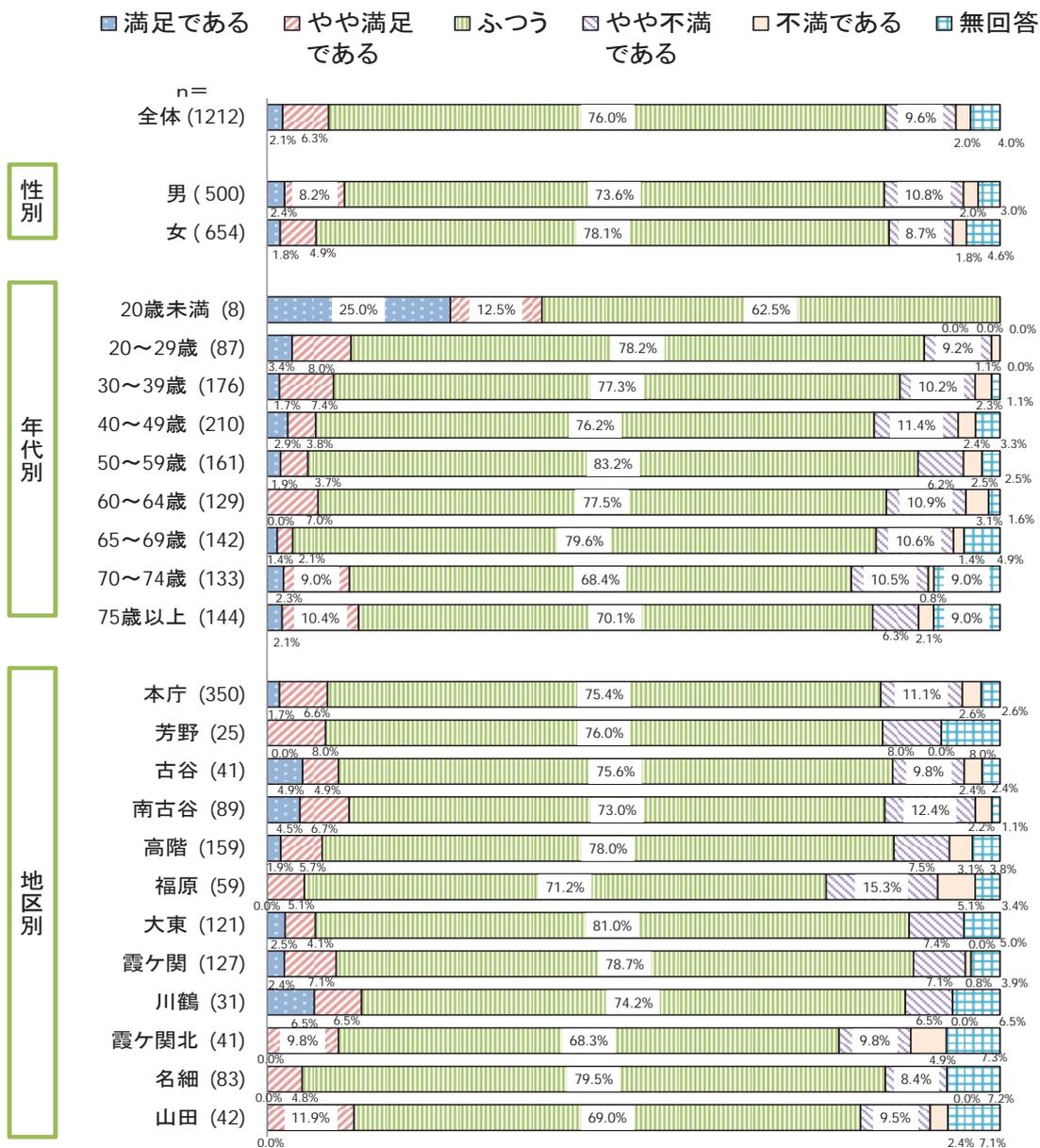
地域の課題に対応するため、市民と行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに認め合い、ともに考え、協力し合う「協働」の実現に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、49.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は45.2%、女性は50.8%と、女性の方が高くなっている。

<満足度>



- 全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.4%となっている。
- 性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.6%、女性は6.7%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

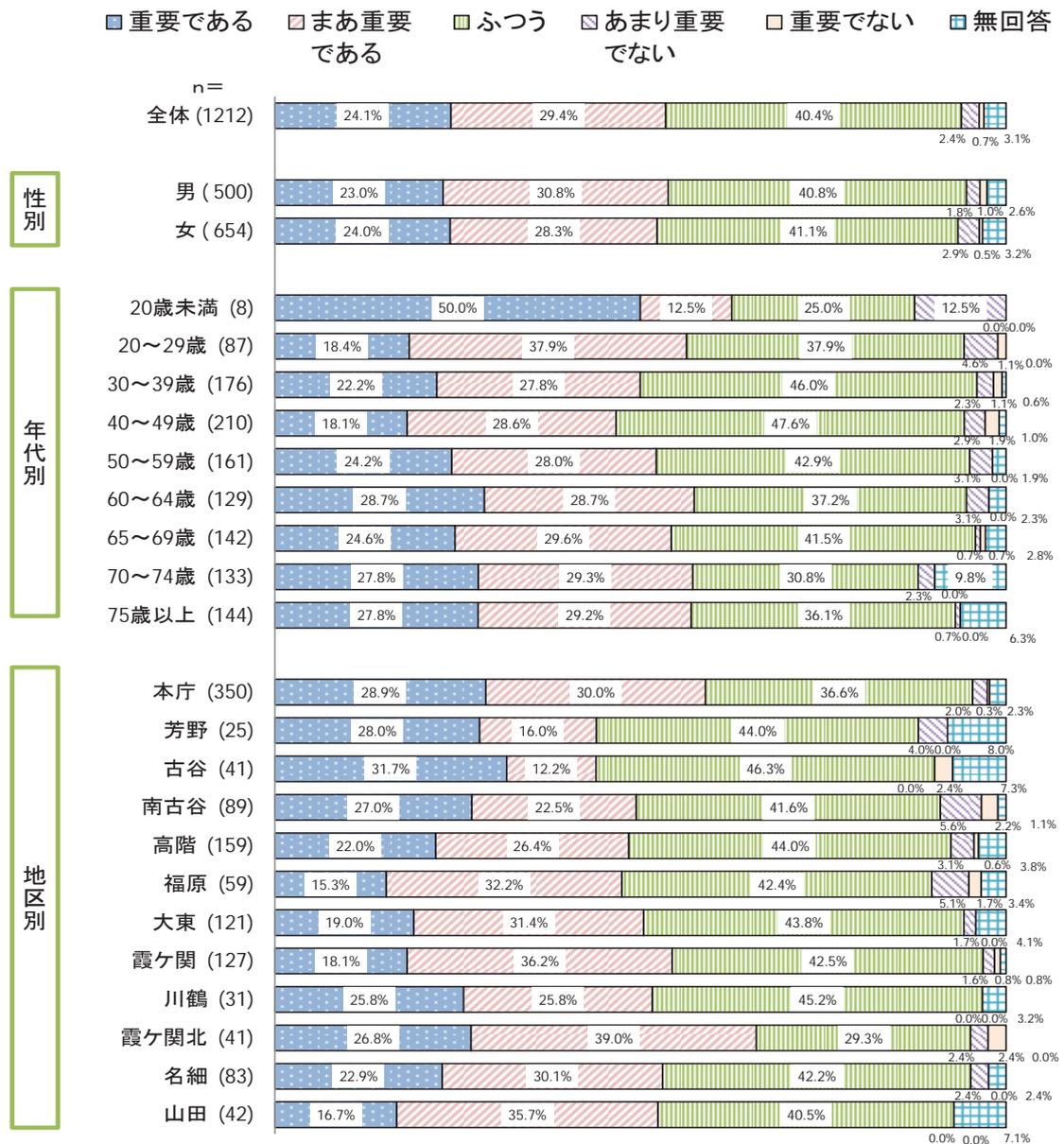
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	42.7%	49.1%	6.4%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	6.4%	8.4%	2.0%

5.5. 新たな行財政運営システムの構築

【施策の内容】

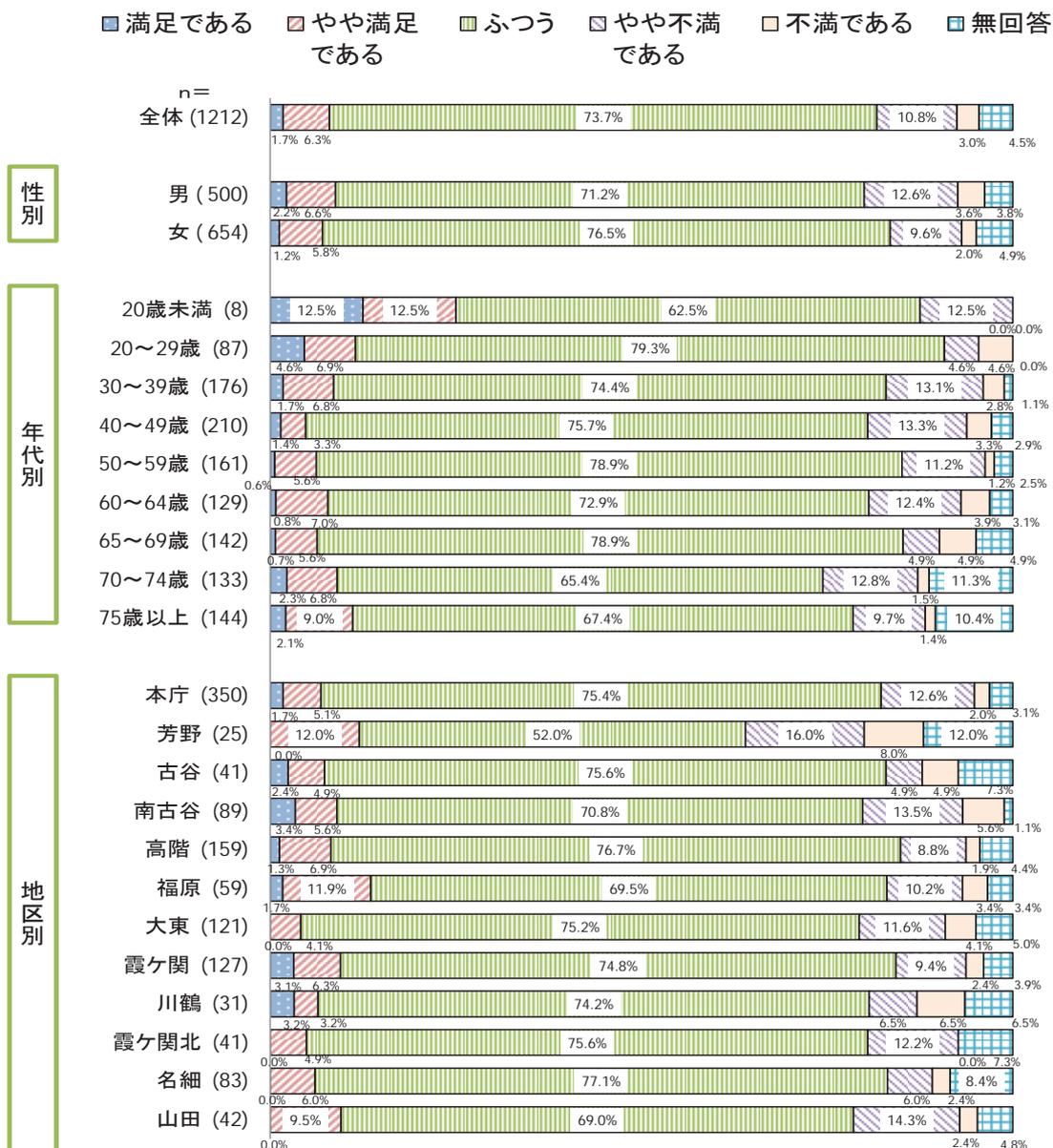
厳しい財政状況の中、多様化する市民ニーズに的確に対応していくため、簡素で効率的な行政運営と健全な財政運営の確立に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、53.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は53.8%、女性は52.3%と、男性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.0%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性8.8%、女性は7.0%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

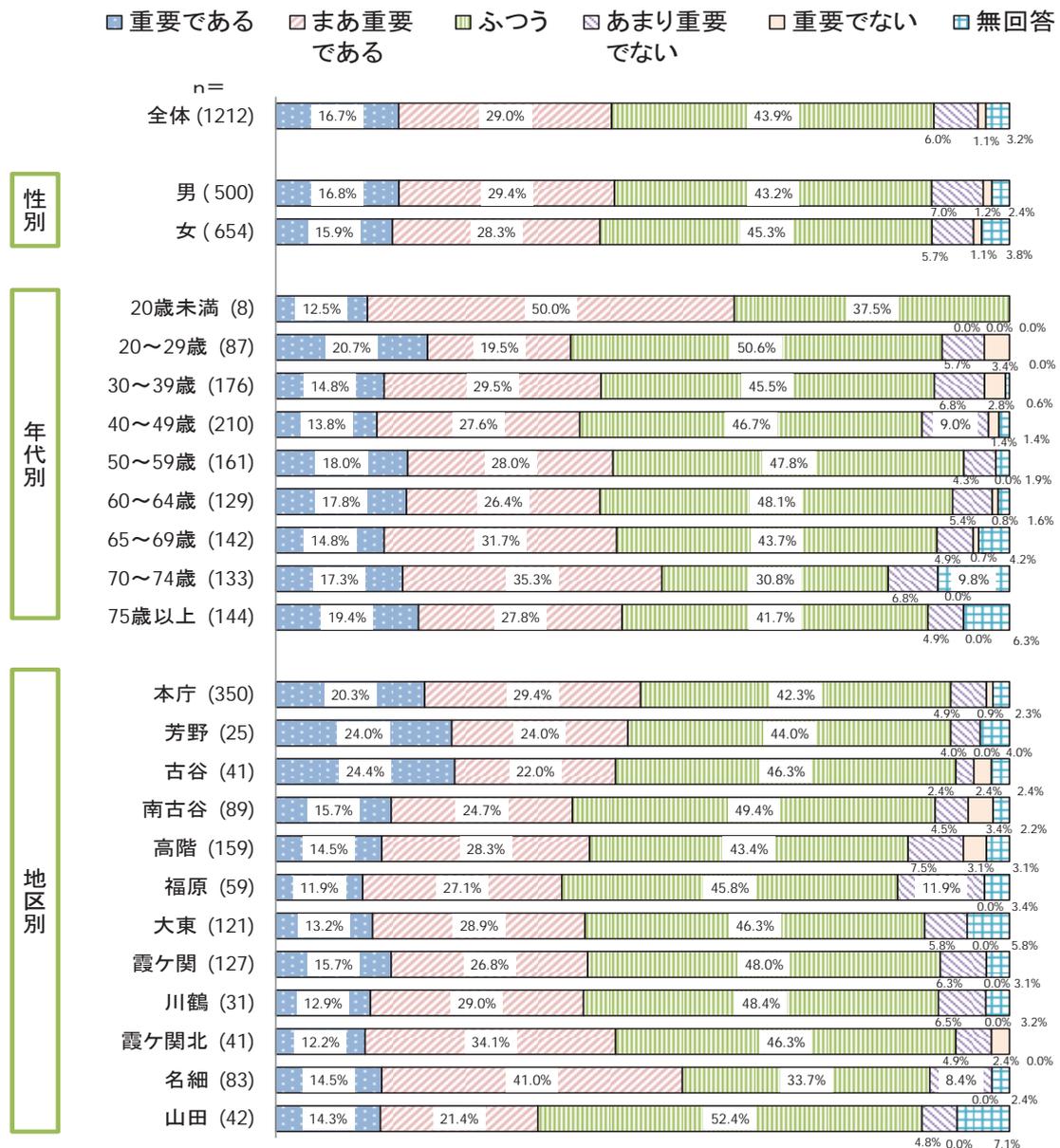
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	48.5%	53.5%	5.0%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	5.7%	8.0%	2.3%

5.6. 効率的な社会資本整備の推進

【施策の内容】

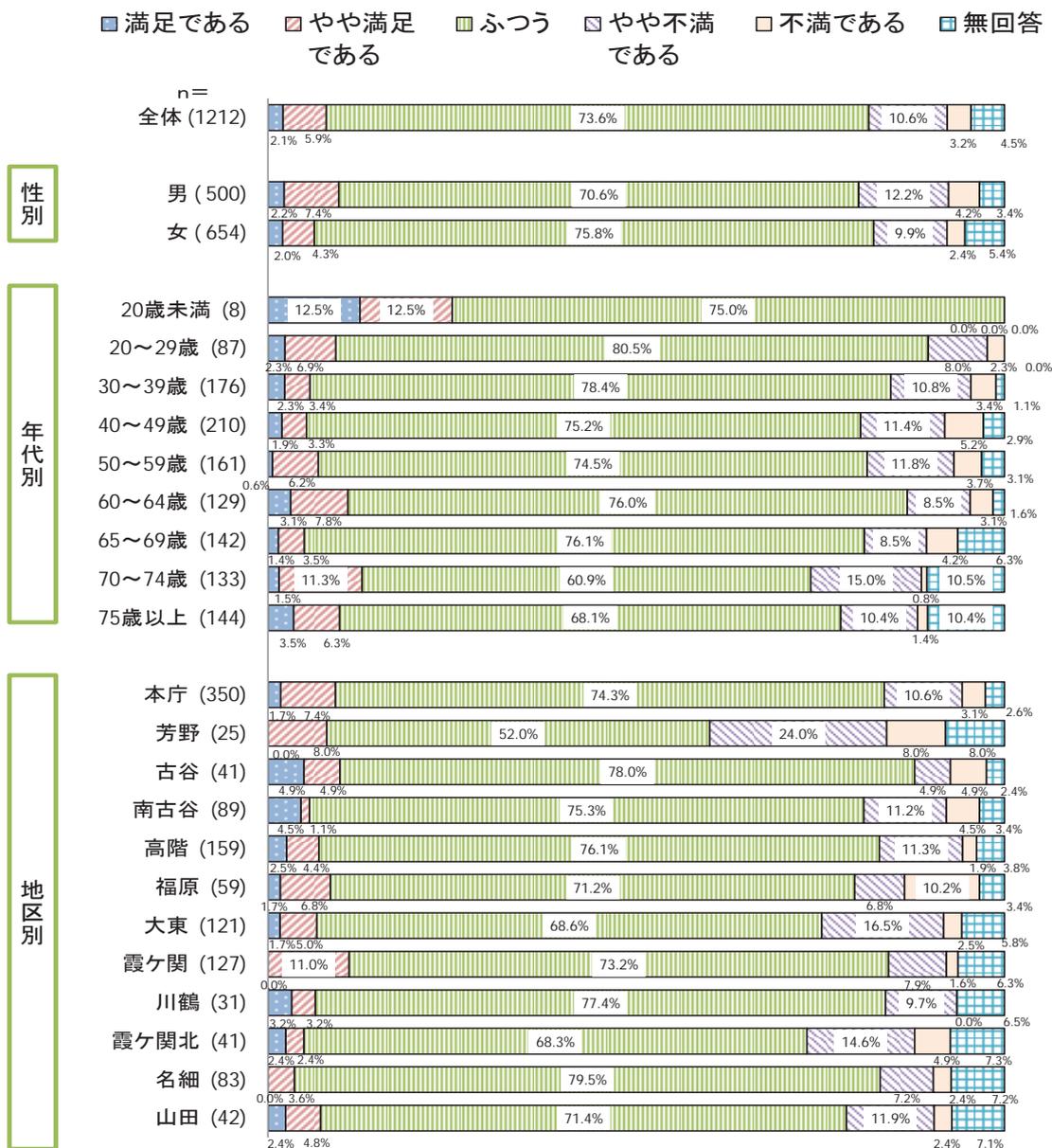
耐用年数を迎える多くの公共施設について、施設の統廃合も含め、計画的かつ効率的な施設の維持管理及び更新に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、45.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は46.2%、女性は44.2%と、男性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.0%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性9.6%、女性は6.3%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

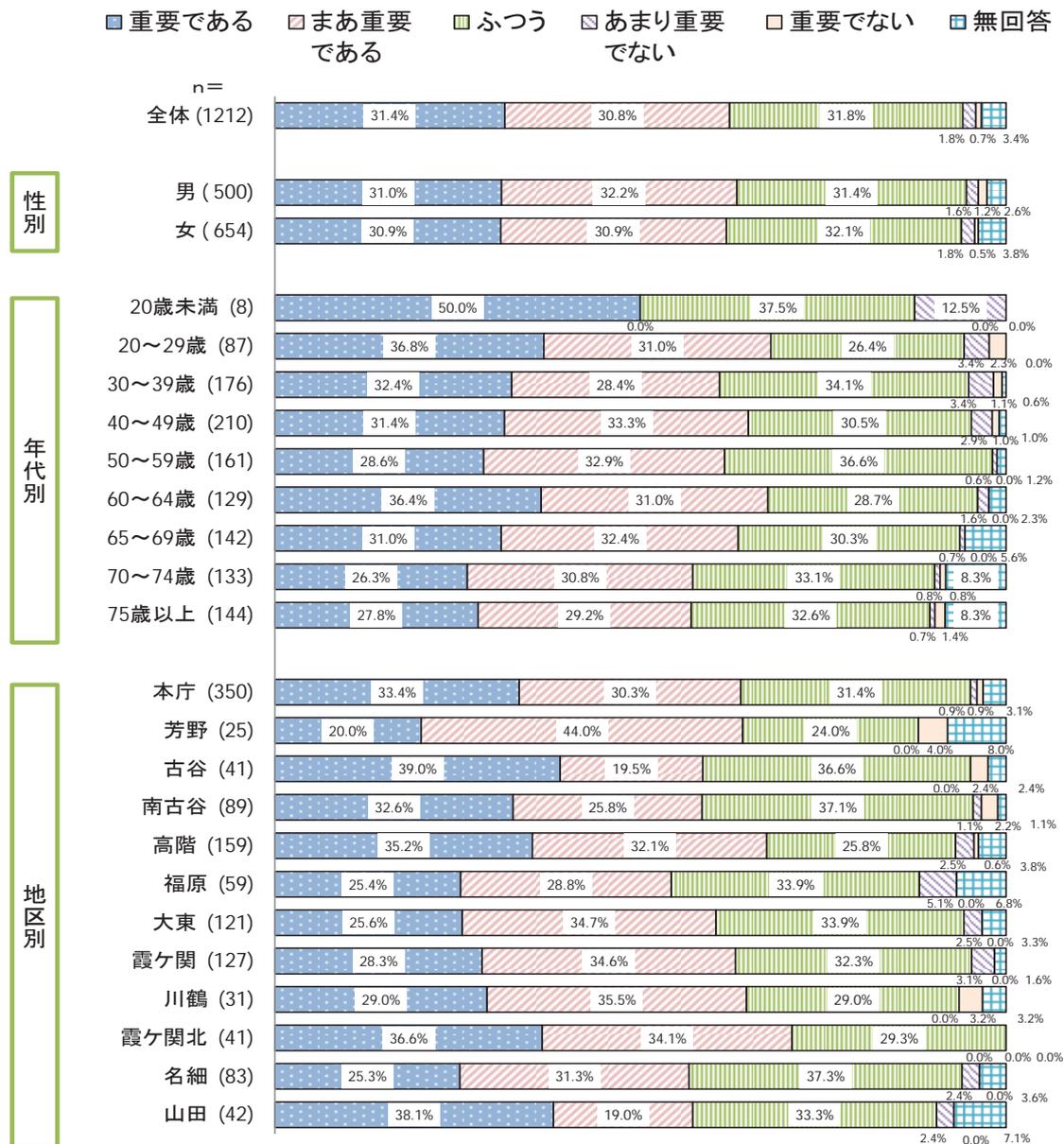
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	38.2%	45.7%	7.5%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	7.7%	8.0%	0.3%

5.7. 財源の確保

【施策の内容】

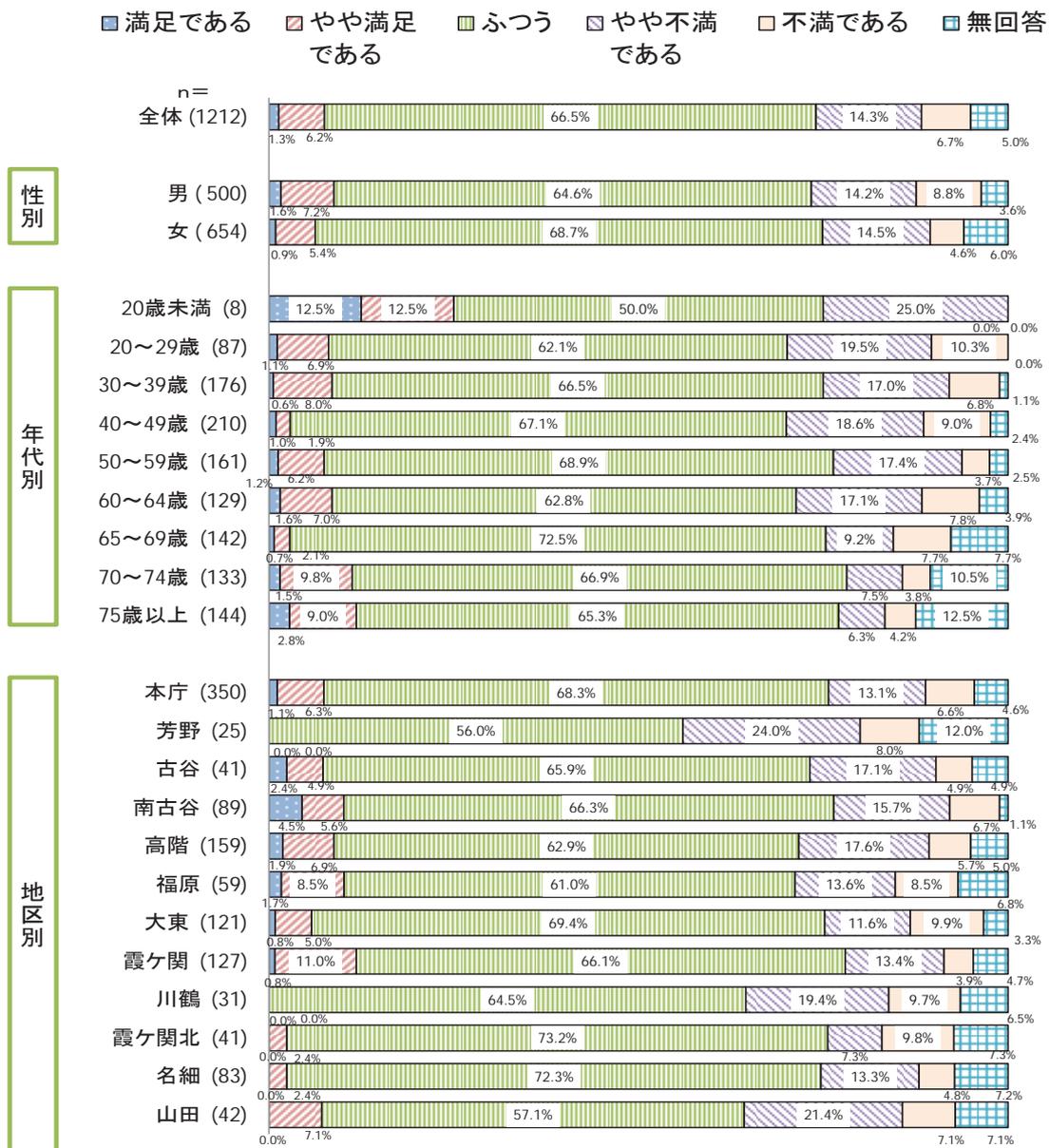
市政運営の財源の安定確保を図るため、市税等の収入率の向上や受益者負担の適正化、新たな財源の確保に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、62.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は63.2%、女性は61.8%と、男性の方がやや高くなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、7.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は8.8%、女性は6.3%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

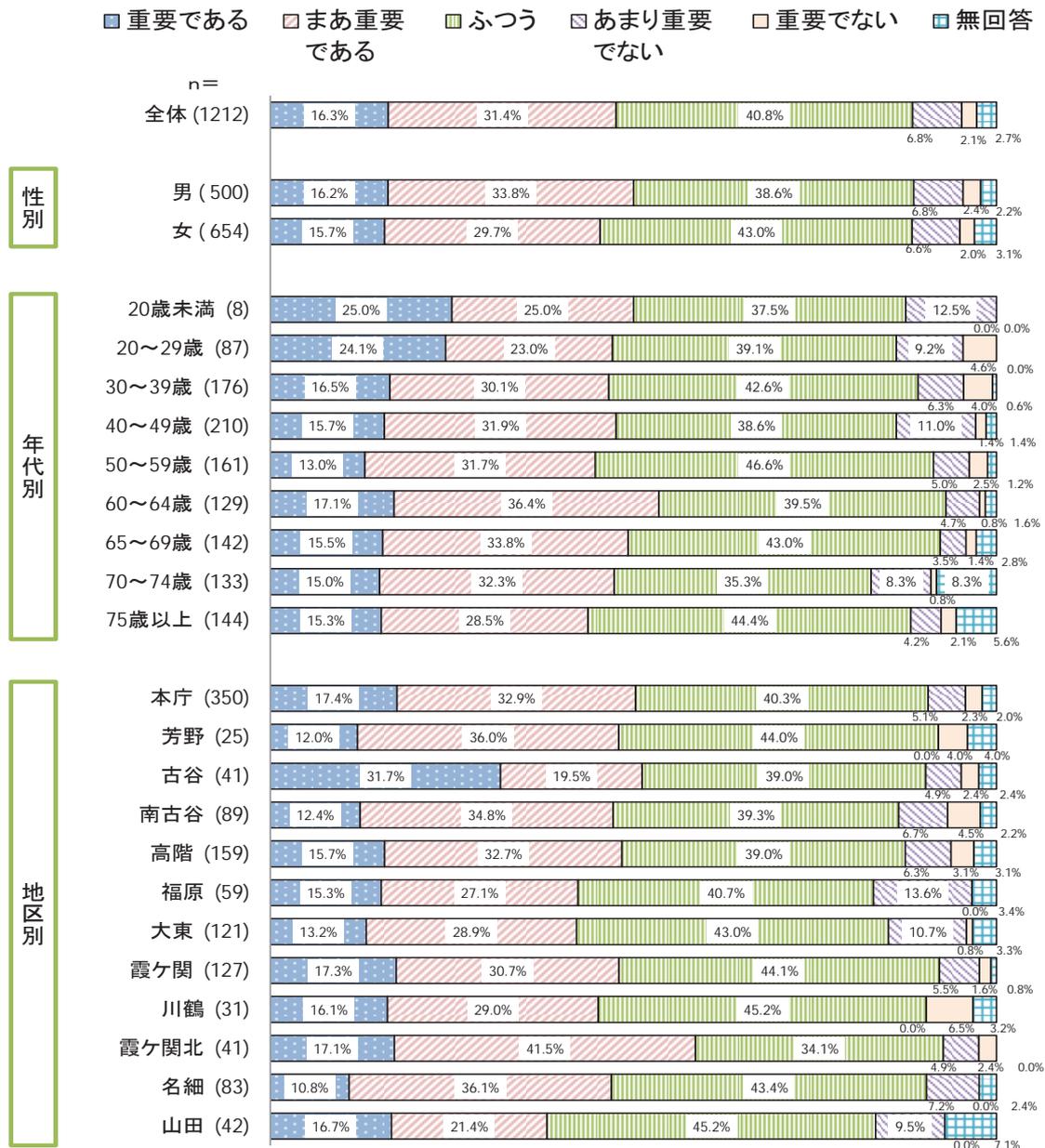
	平成20年	平成26年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	53.8%	62.2%	8.4%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	6.4%	7.5%	1.1%

58. 電子市役所の推進

【施策の内容】

IT社会の進展に対応し、多角的な行政サービスの提供を図るため、情報化の推進に取り組んでいます。

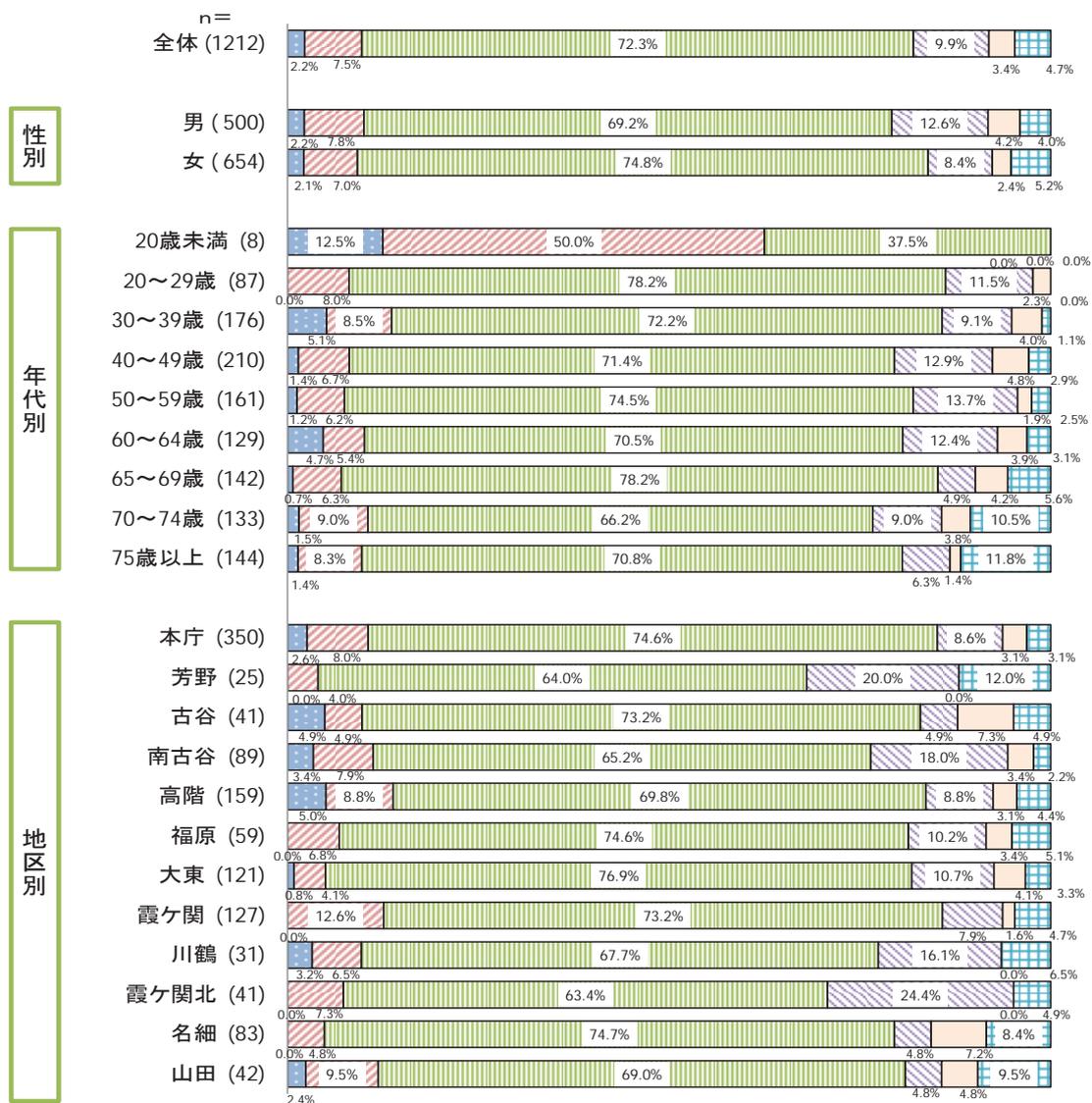
<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、47.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は50.0%、女性は45.4%と、男性の方がやや高くなっている。

<満足度>

■満足である ■やや満足である ■ふつう ■やや不満である ■不満である ■無回答である



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、9.7%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.0%、女性は9.1%と、ほぼ同じとなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

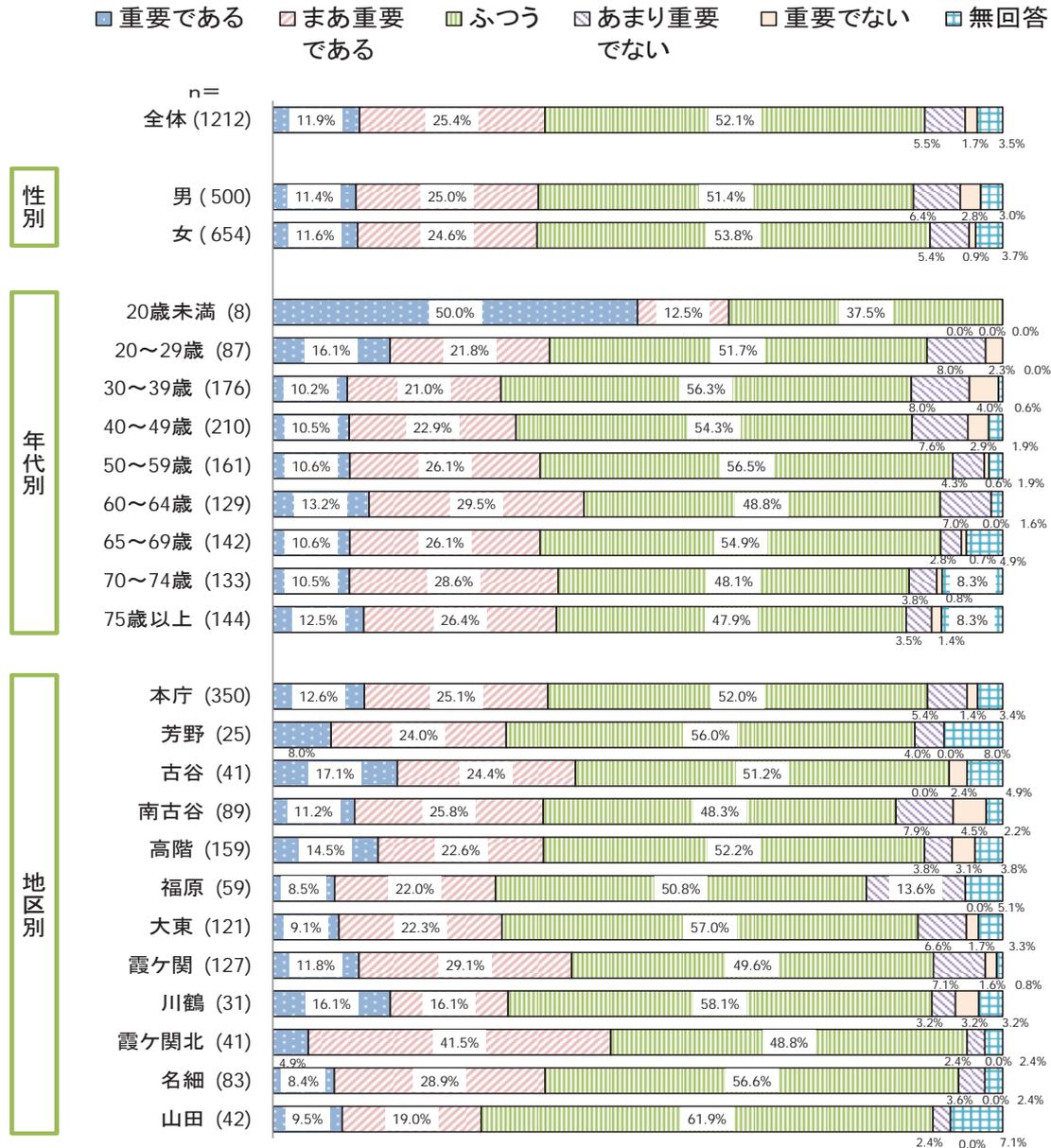
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	41.5%	47.7%	6.2%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.7%	9.7%	1.0%

59. 広域行政の推進

【施策の内容】

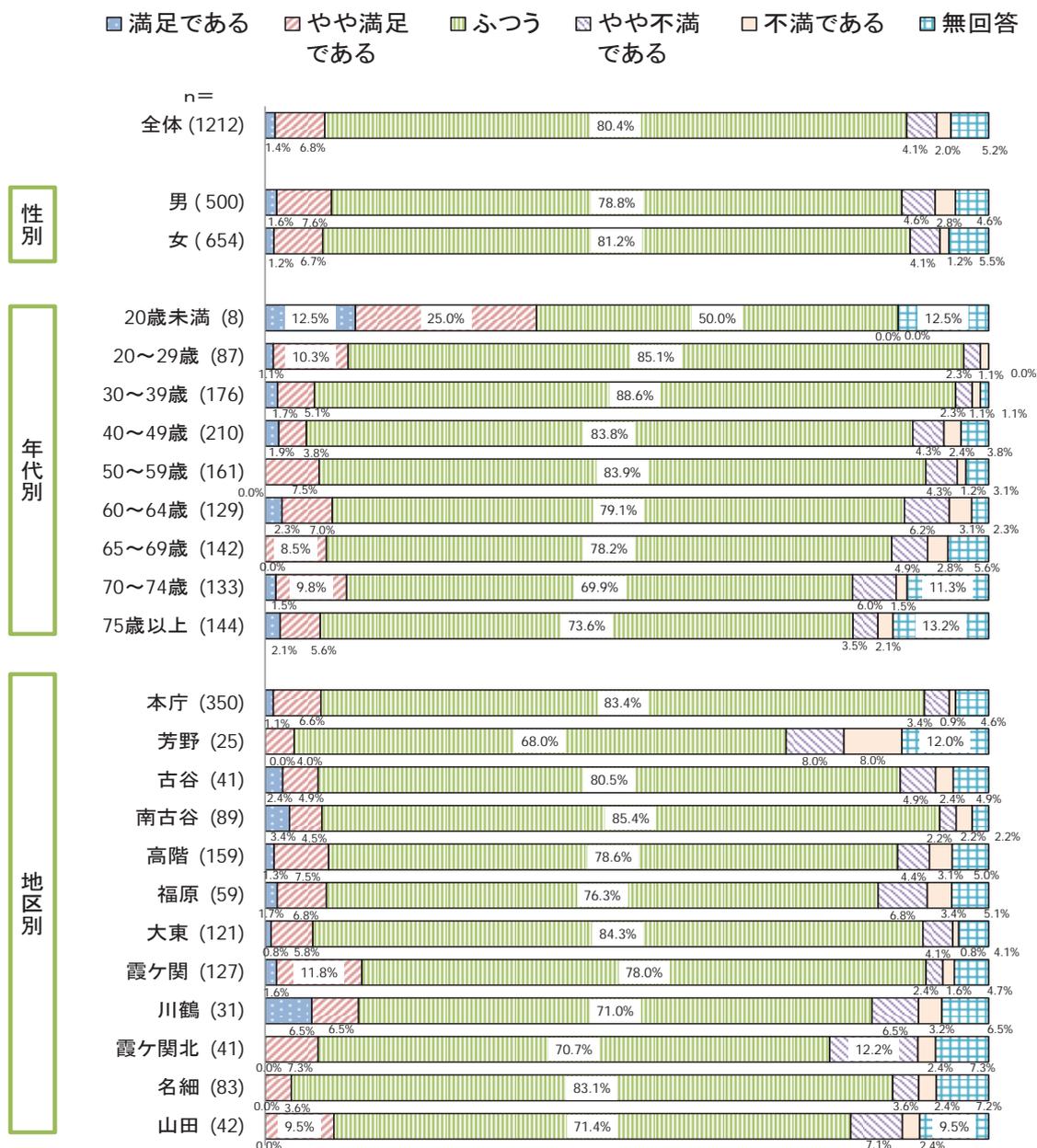
行政区域を超えた課題に対して、他市町と連携を図りながら、広域的に取り組んでいます。

<重要度>



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、37.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は36.4%、女性は36.2%と、ほぼ同じとなっている。

<満足度>



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.2%、女性は7.9%と、男性の方がやや高くなっている。

<前回調査結果との比較 (全体) >

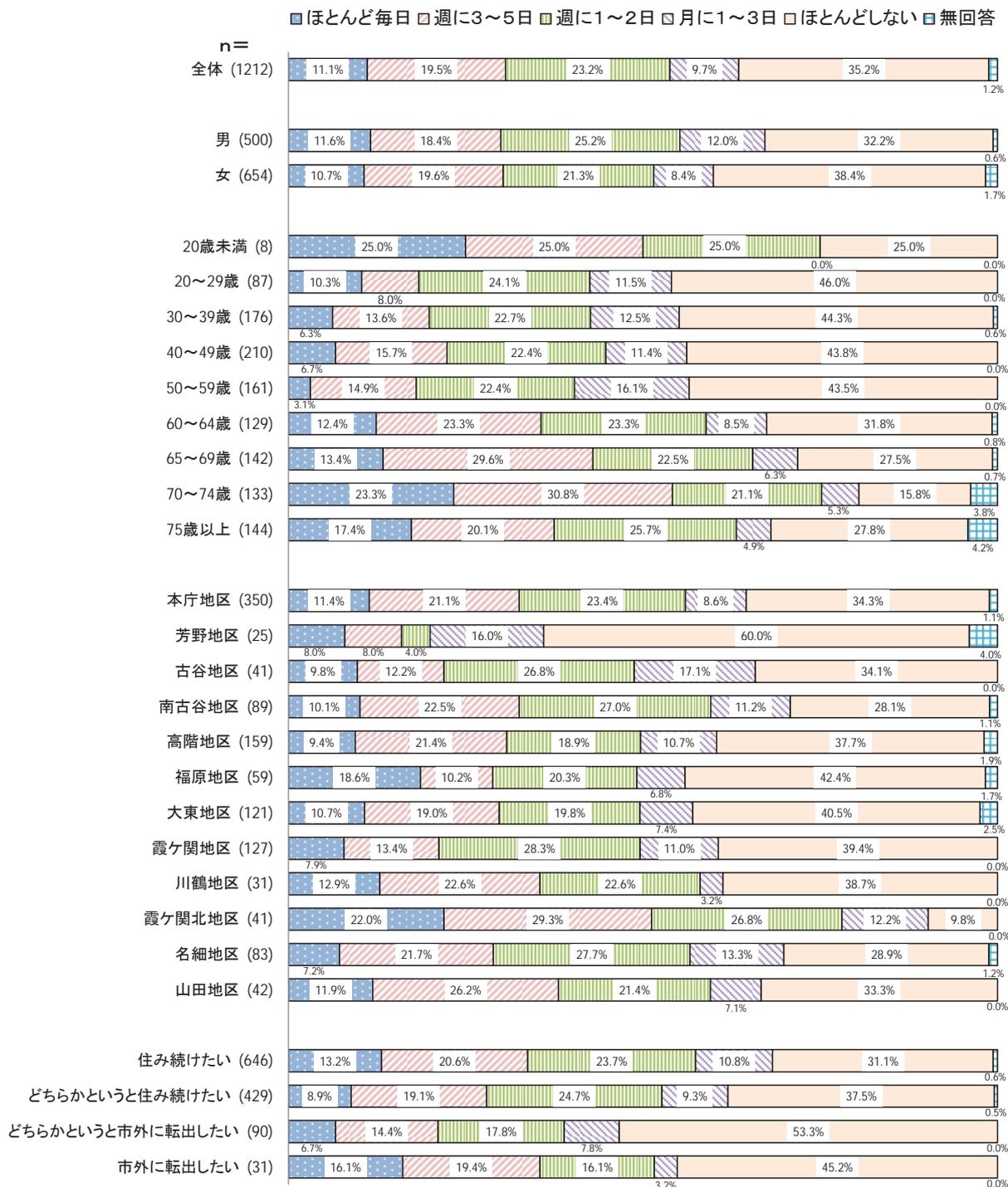
	平成20年	平成26年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	36.6%	37.3%	0.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.8%	8.2%	-0.6%

III. 「施策の指標」の進捗状況の把握

問2から問3では、第三次川越市総合計画の進み具合を計るために設定している「施策の指標」のうち、その値をアンケート調査により把握するものについて調査を行った。調査は、「スポーツについて」「情報提供について」の2項目について実施した。

1 スポーツについて

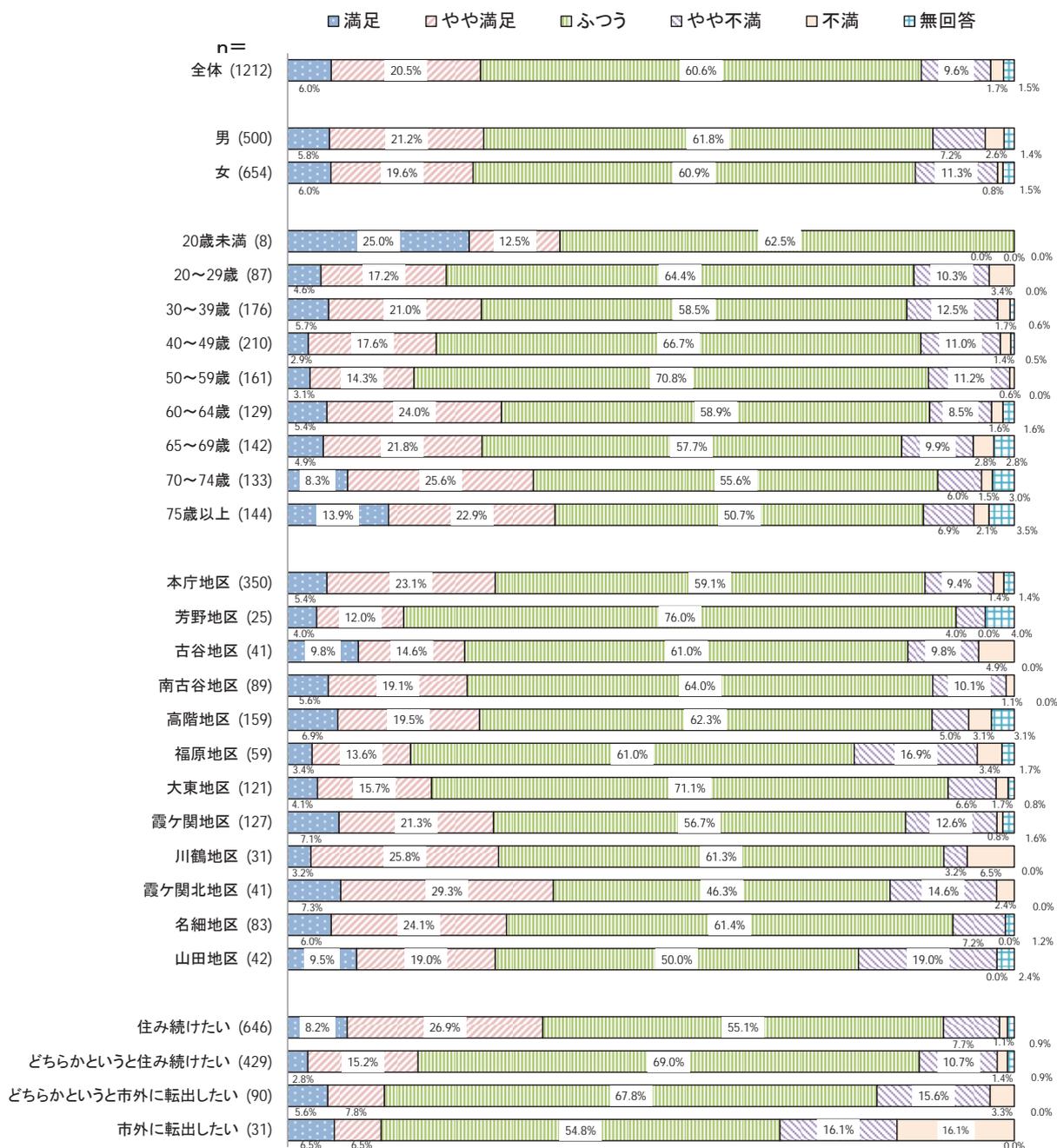
問2 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。



- 全体で見ると、「ほとんどしない」が35.2%と最も高く、次いで「週に1～2日」「週に3～5日」「ほとんど毎日」「月に1～3日」の順となっている。
- 地区別で見ると、霞ヶ関北地区では、「ほとんど毎日」と「週に3～5日」の合計が過半数を占めている。

2 情報提供について

問3 あなたは、市の行政に関する情報提供について、どのように感じていますか。



- ・全体で見ると、「満足」「やや満足」の合計は26.5%、「やや不満」「不満」の合計は11.3%となっている。
- ・地区別で見ると、「満足」「やや満足」の合計は霞ヶ関北地区で36.6%と最も高くなっている。また、「やや不満」「不満」の合計は福原地区で20.3%と最も高く、次いで山田地区(19.0%)の順となっている。
- ・定住意向別で見ると、「住み続けたい」を選択したグループで「満足」「やや満足」の合計が35.1%と高く、「やや不満」「不満」の合計が8.8%と低くなっているのに対し、「市外に転出したい」を選択したグループでは「満足」「やや満足」の合計が13.0%と低く、「やや不満」「不満」の合計が32.2%と高くなっている。

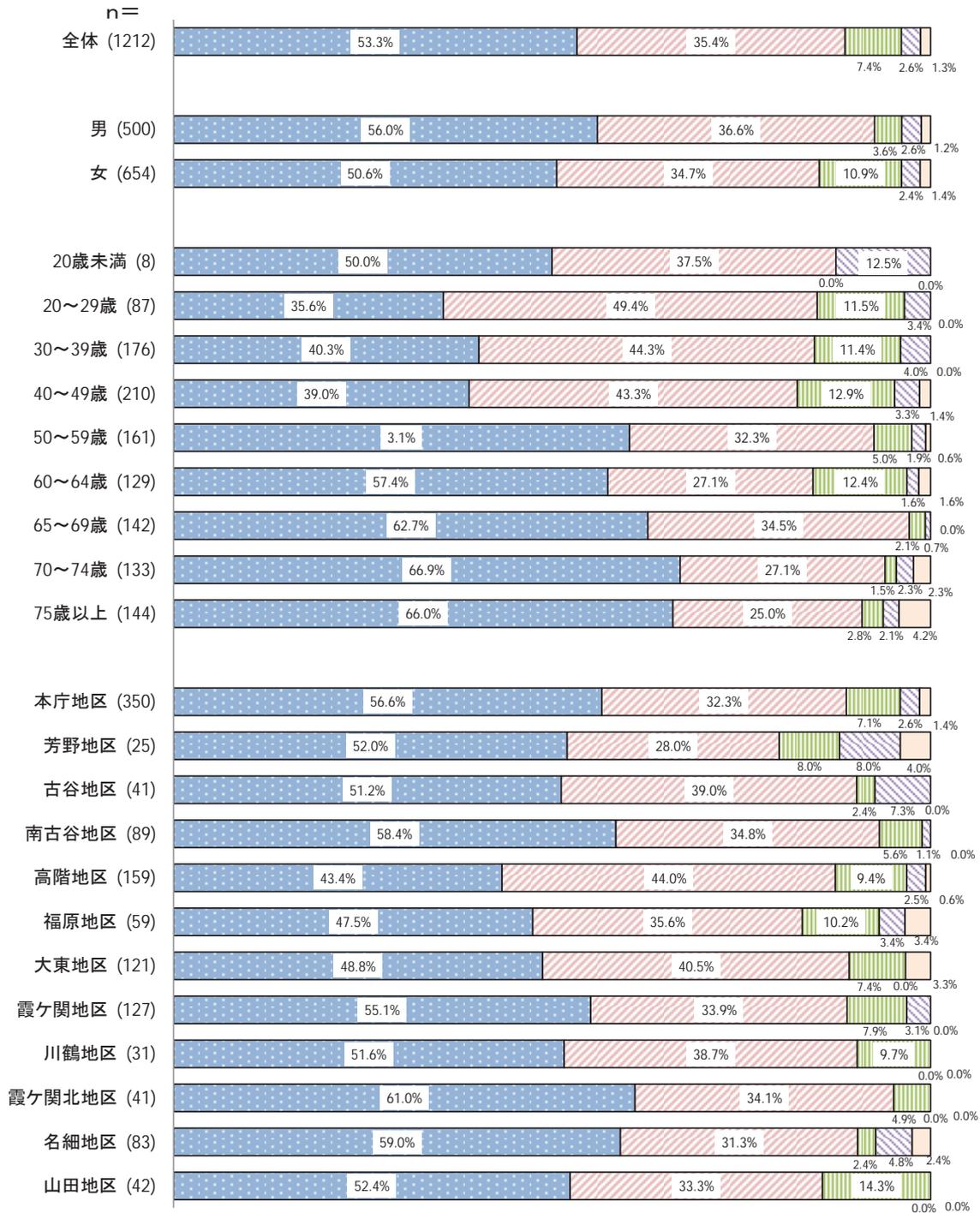
IV. 定住意向

問4では、次期(第四次)川越市総合計画策定の参考とするため、定住意向についての調査をおこなった。

なお、基本的には提出された内容をそのまま掲載しているが、個人を特定できるような表現や他人の名誉を傷つけるような表現及びこの調査とは無関係の内容のものを除くとともに、文意を損なわない範囲で一部表現を修正しているものもある。

問4 あなたは、これからも川越市に住み続けたいと思いますか。

- 住み続けたい
- どちらかという住み続けたい
- どちらかという市外に転出したい
- 市外に転出したい
- 無回答



- ・全体で見ると、「住み続けたい」と「どちらかという住み続けたい」の合計は88.7%、「どちらかという市外に転出したい」と「市外に転出したい」の合計は10.0%となっている。
- ・性別で見ると、「住み続けたい」と「どちらかという住み続けたい」の合計は、男性は92.6%、女性は85.3%と、男性の方が高くなっている。

回答理由（定住意向別）

理由	住み続けたい		どちらかという 住み続けたい		どちらかという 市外に転出したい		市外に転出したい		総計	割合	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合			
肯定的理由	住み慣れている、 生まれ育った町	55	27.5%	17	14.9%	0	0.0%	0	0.0%	72	18.6%
	住みやすい、 生活環境が良い	38	19.0%	19	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	57	14.7%
	歴史、町の雰囲気	29	14.5%	8	7.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	9.6%
	災害が少ない	27	13.5%	10	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	37	9.6%
	交通アクセスが便利	13	6.5%	7	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	20	5.2%
	特に不満がない	3	1.5%	6	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	2.3%
	町が好き	5	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.3%
	家と土地があるため	0	0.0%	5	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.3%
	緑や自然が多い	0	0.0%	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%
	その他	30	15.0%	31	27.2%	0	0.0%	0	0.0%	61	15.8%
否定的理由	治安、環境などへの 不満	0	0.0%	1	0.9%	16	34.0%	11	42.3%	28	7.2%
	交通機関、道幅に 関する不満	0	0.0%	8	7.0%	14	29.8%	2	7.7%	24	6.2%
	税金関係	0	0.0%	0	0.0%	6	12.8%	1	3.8%	7	1.8%
	都心や他の町に 住みたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	26.9%	7	1.8%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	11	23.4%	5	19.2%	16	4.1%
総計	200	100.0%	114	100.0%	47	100.0%	26	100.0%	387	100.0%	

- ・肯定的理由としては、「住み慣れている」「生まれ育った町だから」という回答が18.6%で最も高く、次いで「住みやすい、生活環境が良い」（14.7%）、「歴史、町の雰囲気」「災害が少ない」（どちらも9.6%）の順となっている。
- ・否定的理由としては、「治安、環境などへの不満」が7.2%と最も高くなっており、次いで「交通機関、道幅に関する不満」（6.2%）、「税金関係」「都心や他の町に住みたい」（どちらも1.8%）の順となっている。
- ・「どちらかという住み続けたい」を選択したグループの中にも、「交通機関、道幅に関する不満」（7.0%）、「治安、環境などへの不満」（0.9%）が見られる。

回答理由（地区別）

※数字は回答者数

理由	本庁	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	霞ヶ関	川鶴	霞ヶ関北	名細	山田	総計	
肯定的理由	住み慣れている、生まれ育った町	21	3	1	6	10	3	5	6	1	2	8	2	68
	住みやすい、生活環境が良い	16	2	3	4	3	3	2	10	0	4	6	3	56
	歴史、町の雰囲気	15	0	0	3	5	1	3	3	0	1	3	2	36
	災害が少ない	11	2	2	0	5	2	6	4	2	0	1	0	35
	交通アクセスが便利	7	0	0	2	1	0	2	3	1	1	1	2	20
	特に不満がない	1	1	0	2	0	0	1	0	0	1	3	0	9
	町が好き	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
	家と土地があるため	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	5
	緑や自然が多い	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	その他	19	1	0	5	12	2	8	5	1	1	4	2	60
小計	92	10	6	22	37	13	29	35	5	10	26	11	296	
	81.4%	90.9%	60.0%	84.6%	68.5%	68.4%	85.3%	77.8%	83.3%	90.9%	83.9%	84.6%	79.4%	
否定的理由	治安、環境などへの不満	7	1	2	2	7	2	0	2	0	0	2	1	26
	交通機関、道幅に関する不満	4	0	1	2	4	1	0	5	1	1	2	1	22
	税金関係	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	7
	都心や他の町に住みたい	2	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	6
	その他	5	0	0	0	4	2	3	1	0	0	1	0	16
小計	21	1	4	4	17	6	5	10	1	1	5	2	77	
	18.6%	9.1%	40.0%	15.4%	31.5%	31.6%	14.7%	22.2%	16.7%	9.1%	16.1%	15.4%	20.6%	
総計	113	11	10	26	54	19	34	45	6	11	31	13	373	

- ・肯定的な理由の回答率が平均より高い地区は、高い順に芳野・霞ヶ関北、大東、南古谷・山田、名細、川鶴、本庁となっている。一方、否定的な理由の回答率が平均より高い地区は、高い順に古谷、福原、高階、霞ヶ関となっている。
- ・肯定的な理由については、ほぼすべての地区で「住み慣れている、生まれ育った町」が最も多い。
- ・否定的理由については、「治安、環境などへの不満」が最も多く、特に高階、本庁で多くなっている。また、2番目に多い「交通機関、道幅に関する不満」については、特に霞ヶ関で多くなっている。

回答理由の記述内容（主なものを抜粋）

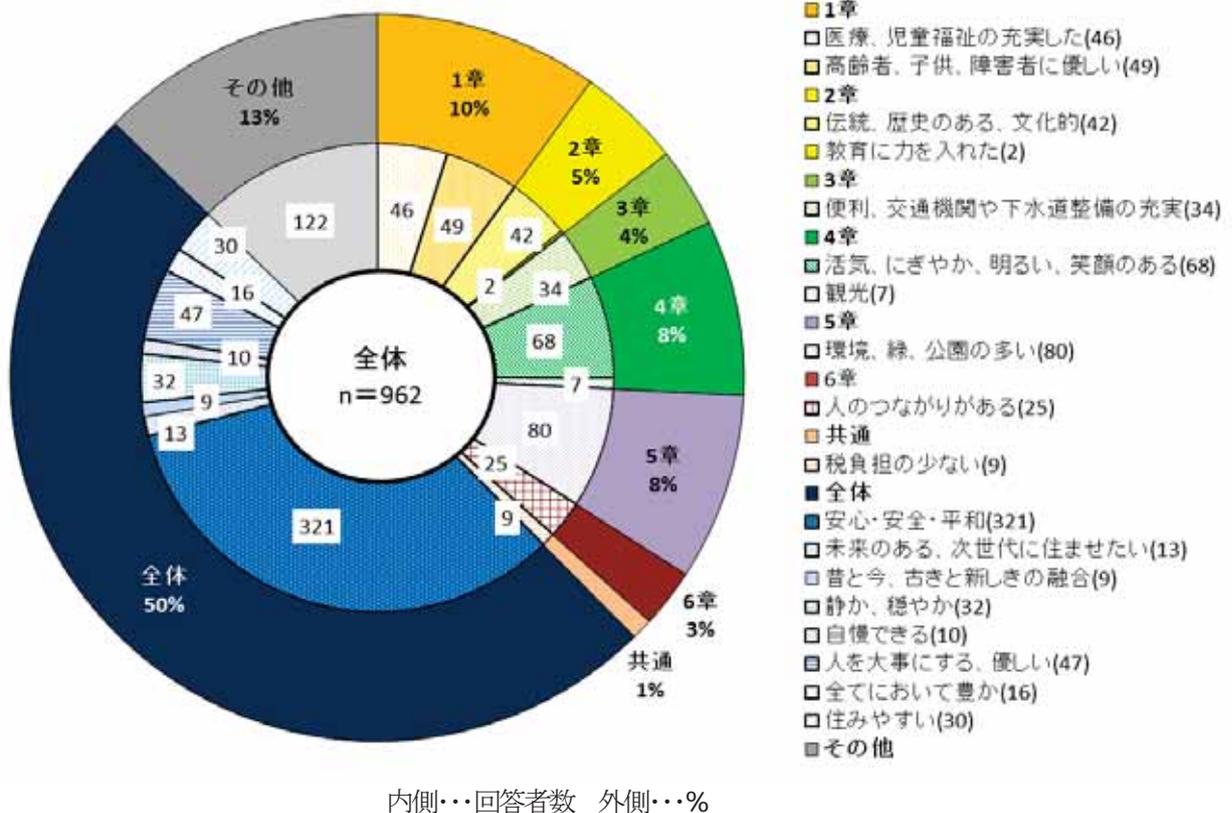
	内容	年代	地区	性別	
肯定的理由	住み慣れている、生まれ育った町	40年近く住んでいるので、今更外に行くつもりはない。	65～69歳	大東地区	女
		生まれた街であるし、祖父の代から同じ場所に住んでいて愛着がある。	50～59歳	本庁地区	女
		子どもの頃から住んでいるので、好きな場所・風景沢山ある。	30～39歳	霞ヶ関地区	無回答
		実家があるから。	20～29歳	本庁地区	女
	住みやすい、生活環境が良い	日常は勿論のこと、祭礼などの日や後がボランティアの方々を中心に市民の多くが親切で清潔な町であることが移住してきた時の第一印象でした。そして、今住んでいる処が交通、文化活動、買い物などにも便利なのも一つの理由です。	75歳以上	本庁地区	無回答
		観光都市として人が集まる所もあれば、自然も沢山あり、バランスが良い。また建物の景観を政策として守るのも理想的なまちづくりだと思うので、川越は気に入っています。	40～49歳	本庁地区	女
		家を建てたので住み続けるのは当然ですが、地域的に近所付き合いや、知らない人への挨拶での声かけをすることにより、安心できる所でありませう。挨拶の励行は進んでやっていきたいと思えます。	30～39歳	南古谷地区	男
	歴史、町の雰囲気	住みやすいと感じる環境、雰囲気がある。これからも向上させてください。	20～29歳	本庁地区	男
		小江戸のおもかげを残している古い街並みが良い。	70～74歳	福原地区	男
	災害が少ない	仕事のことを考えると都心の方が便利だが、代々継いだ家や土地があるので。歴史ある町並みや行事にも愛着があるので。災害も少ない。	40～49歳	本庁地区	女
		歴史のある町でお祭りが好きだから。	20歳未満	大東地区	無回答
		気候もまあまあいいし、災害もあまりない町だから。	75歳以上	大東地区	男
	交通アクセスが便利	徒歩圏内に由緒あるお寺がいくつもあり、毎日の散歩で訪れることができ、災害もなく住みやすい。	60～64歳	本庁地区	女
		災害も少なく、自然も比較的多く住みやすいから。	40～49歳	霞ヶ関地区	女
		首都圏の範囲で都市部へのアクセスが便利。	70～74歳	本庁地区	男
	特に不満がない	住み始め当時の自然環境は減っているが、利便性がプラスされたため、和光市から引っ越して来ましたが、歴史的街並みも美しく、電車の移動も便利、買い物にも便利、子育てしやすい環境であると感じているので。	60～64歳	川鶴地区	女
		30～39歳	本庁地区	女	
	町が好き	現在の生活に不便がないから。	50～59歳	南古谷地区	男
それほど住みやすいわけではないが、住みにくいというほどでもないから。		30～39歳	芳野地区	男	
家と土地があるため	川越が好きだから。	40～49歳	本庁地区	男	
	不動産を所有しているため。比較的住み易い。	40～49歳	大東地区	女	
緑や自然が多い	家を買ったから！あと近所が栄えれば！！	20～29歳	福原地区	男	
	自然豊かな地域だから。	50～59歳	霞ヶ関地区	男	
その他	老齢のため、生活に便利な処を望んではいるが、緑の多い環境も捨てがたい。	65～69歳	霞ヶ関地区	女	
	24年前、老後を考え大宮市（現さいたま市）内より選んで転入してきた。	75歳以上	霞ヶ関北地区	男	
	働いていた時は寝に帰ってくるだけだったが、リタイアしてから愛すべき我が街になってきました。	65～69歳	本庁地区	女	
	住み続けたいが、独身者の税金が高いため、転出を考えなければいけない。	40～49歳	本庁地区	男	
	地域のコミュニティ活動が充実しており、転入者に対しても温かく迎え入れていただきました。	40～49歳	本庁地区	男	
	引っ越して来たばかりだし、良く考えて越してきたので。個人的には東京で働いているので、違いが感じられることが一番良いことです。	30～39歳	本庁地区	男	
治安、環境などへの不満	バスの便が悪く、大型スーパーも無いので買い物に不便なため。	75歳以上	本庁地区	女	
	駅前に本庁舎や図書館など若者が住みやすい充実した街ではないから、文化芸術が古いだけで新しいのも取り入れてほしい。	50～59歳	古谷地区	女	
	20年前に引っ越しして来たが、公園が少なく、児童館等もなくて、子育てしにくかった。現在は近くに図書館などの文化施設が少なく、本当に知的好奇心が満たされなさすぎると思うので。	50～59歳	南古谷地区	女	
	公園遊具が古いまま、ごみすて場が土の上で世帯数が多い。	30～39歳	霞ヶ関地区	女	
交通機関、道幅に関する不満	道路幅が狭い。車時代に合っていない。自転車の駐車場が少ない。バス会社のバスの本数が少なく、利用しにくい。高齢者が利用し易い交通機関がもっと便利になってほしい。	75歳以上	古谷地区	女	
	自分が高齢者になった時のことを考えると、車を所有、若しくは運転できる様な状況、状態にない限り、生活が不便（通院等）。その辺を考えると、公共交通機関の便が良い所に住み変えた方がいいのでは…と感じる。	40～49歳	霞ヶ関地区	女	
	道が狭く、まったく都市計画もされずに家を建てさせてしまったので、非常に煩雑な感じがする。	40～49歳	高階地区	女	
	川越中心部はとてとても便利だが、少し外れるととても不便で住みにくい。南古谷は交通も不便なうえに、道路整備も悪く、子どもを遊ばせる公園すらない。車はスピード出し過ぎ。	20～29歳	南古谷地区	女	
税金関係	お祭りばかりがにぎやかで、納付した市税は大丈夫かと思う。	60～64歳	大東地区	女	
	他の市に比べて住民税が高すぎる。	30～39歳	本庁地区	男	
都心や他の町に住みたい	70歳以上は東京に住んだ方が良く思っています。全て充実していると思うから。	75歳以上	本庁地区	女	
	他の地域にも住んでみたいから。	30～39歳	高階地区	女	
その他	小さくまとまり、発展性を欠き、活性化されていない。	75歳以上	福原地区	男	
	身体が不自由になった場合、買物や出掛けるのに不自由だからです。土地が高い。福祉が充実していないため。	60～64歳	大東地区	女	
		20～29歳	本庁地区	男	

V. 将来都市像

問5では、「住み続けたいまち川越」の実現に向けて、回答者が期待する将来の川越市の姿として、「住み続けたいまちとは、_____な（の）まち」の下線部に言葉を入れてもらう形で回答を求めた。

将来都市像に関する記述回答の分類

「住みたいまちとは、_____な(の)まち」の下線部に記載された回答内容について、関連する章ごとに分類した。



- ・「安心・安全・平和」に関する内容が、321件と最も多くなっている。
- ・次いで、「環境・緑・公園」に関する内容（80件）、「活気・にぎやか・明るい・笑顔のある」に関する内容（68件）の順となっている。

<主な記述回答の内容>

「住みたいまちとは、 _____ な (の) まち」

	内容	年代	地区	性別
1章	適切な医療・介護サービスが受けられるよう	75歳以上	古谷地区	女
	子育てのしやすいよう	30～39歳	高階地区	女
	障害者及び高齢者等にやさしい	65～69歳	霞ヶ関地区	男
	子どもに安心な優しい、老人になっても生活しやすい	30～39歳	霞ヶ関地区	女
2章	内容	年代	地区	性別
	伝統を生かした文化的	65～69歳	名細地区	女
	歴史や伝統を重んじる	40～49歳	大東地区	男
教育の力を入れている	30～39歳	南古谷地区	女	
3章	内容	年代	地区	性別
	交通の便が便利	60～64歳	本庁地区	男
	生活するのに便利	40～49歳	霞ヶ関地区	女
中心部だけでなく、全体が便利	20～29歳	南古谷地区	女	
4章	内容	年代	地区	性別
	企業が少ないので観光地で人にやさしい	65～69歳	本庁地区	男
	活気のある	60～64歳	大東地区	女
観光都市として賑わう	30～39歳	高階地区	女	
5章	内容	年代	地区	性別
	これ以上自然を壊さない	無回答	大東地区	女
	水と空気がきれい	40～49歳	名細地区	女
清潔で緑多き町	20歳未満	大東地区	無回答	
6章	内容	年代	地区	性別
	人と人のふれあいのある	75歳以上	大東地区	男
	近所仲良く話し合える様	40～49歳	霞ヶ関地区	男
人と人とのつながりがあるよう	20～29歳	霞ヶ関地区	女	
共通	内容	年代	地区	性別
	大企業・工業を発展させ、市県民税を安くなる	70～74歳	本庁地区	女
	税負担の少ない	60～64歳	高階地区	男
住民税の安い町	30～39歳	大東地区	男	
全体	内容	年代	地区	性別
	事件も起きず安心	70～74歳	本庁地区	女
	次世代を担う子ども達が住みたいと思うような	40～49歳	南古谷地区	男
	(各々がまちのことをよく理解し)住んでいる事が誇りに思えるような	20～29歳	名細地区	男
	昔と今 ここと世界の共存	40～49歳	本庁地区	女
	人を大事にしながら発展する	70～74歳	霞ヶ関地区	男
	落ち着いた静か	50～59歳	本庁地区	男
	日本一住みやすいと言われるよう	60～64歳	本庁地区	女
誰もが心豊かに暮らせるような	70～74歳	南古谷地区	男	
その他	内容	年代	地区	性別
	明確なビジョンを示すことができる	50～59歳	大東地区	男
	バランスの取れた	30～39歳	本庁地区	女
行政がオープン	30～39歳	芳野地区	男	

※記述回答の内容は主なものを抜粋して掲載している

VI. 自由意見

問6では、市政に関する意見・要望の自由記述を求めた。

なお、基本的には提出された内容をそのまま掲載しているが、個人を特定できるような表現や他人の名誉を傷つけるような表現及びこの調査とは無関係の内容のものを除くとともに、文意を損なわない範囲で一部表現を修正しているものもある。

市政に関する自由意見

※記述回答の内容は主なものを抜粋し掲載している

< 1 章 >

内容	年代	地区	性別
子ども、若者が将来に自信を持てるまちづくりを目指してください。高齢者と子どもの交流を推進してほしい。(例: 老人ホームと保育園の併設)。行政は、20~50年先のことを考えて仕事をしてほしい。	75歳以上	大東地区	男
高齢者福祉の推進がますます重要になってくると思います。とりわけ介護保険制度の拡充・整備が一層必要です。特に従事する人達の確保・育成が緊急かと思えます。給与・手当や職場環境を向上させ、若者の雇用につなげれば、若者の雇用対策に資することも可能になるし、結婚し家庭を持てる内容になれば、あるいは少子化対策ともなるかと思えます。この計画や実施計画を横断的に進めて、まさに総合的に成果をあげる仕組みにしてほしいと思います。	65~69歳	本庁地区	男
資産、収入のある高齢者はそれなりの介護サービス、介護環境が得られると思うのですが、資産、収入のない高齢者は介護状態になった場合、どの程度の介護サービスが受けられるのか、受けられないのか、知りたいです。	60~64歳	南古谷地区	女
・保育園が少なく、待機児童が多すぎる。まだまだ保育園が足りない。もっともっと増やしてほしい。もっと予算を確保すると共に郊外に作る場合は、駅からの送迎サービス等、様々な利用方法を考えてほしい。 ・フルタイムで働いてない人も認可保育園に入れているという噂をよく聞く。提出書類の確認の仕方を含め、審査の方法を再検討してほしい。公平で透明性のある審査を望みます。 ・仙波町付近は公園が少ない。子ども達が遊ぶことのできる、生活に潤いを与える公園を増やしてほしい。	40~49歳	本庁地区	男
これだけ大きな市なのに保育園に子どもが入れないのは問題です。子どもが(どんな子どもでも)保育園に入ることができれば、親は働くことができます。よろしくお願いします。働いていない親も保育園に子どもを預けたいです。	30~39歳	山田地区	女
子育て支援施設が少なすぎます。以前、富士見市に住んでいましたが、富士見市は毎日の様に近くの保育園に行くことができたので、行っていました。川越市は開放している保育園が少ないので、毎日行くところに困っています。どうかしてください。	20~29歳	高階地区	女

< 2 章 >

内容	年代	地区	性別
・図書館(特に中央図書館の施設をきれいに、使いやすくしてほしい。) ・市民会館ホールは狭くて、特にいすの大きさ、間隔がきゅうくつで、もう使用の限界。耐震性も不安。	75歳以上	本庁地区	女
川越に立派な劇場(音響の良い)と映画館がない。	70~74歳	高階地区	女
音楽ホールの完成を楽しみにしている。クラシックやジャズなど音楽性の高い演奏を市民が気軽に楽しめるシステムで運用して欲しい。(和光市等は結構良いコンサートをやっている)。市内全域、公共施設はもとより、飲食店や路上の全面禁煙を進めてほしい。現市長に変わってから少しずつ良い方向へ行っている気がする。頑張ってください。応援します。	50~59歳	名細地区	男
スポーツ施設の拡充を進めてもらいたい。以前、総合運動公園のジムを利用していたが、とても良かった。残念なのは機材が古いことと更衣室などの施設が整っていないこと。欧米などでは、もっと公共施設のジムの利用者が多く、ジム自体も新しく快適。できれば、古いイメージを壊し、快適な空間を作り、利用者を増やして収益を見込んだらどうでしょうか。また、そういった施設があることすら知らない方も多いうです。市民の参加できるイベントを行うなど、もっと広く伝えていくようにしてもらえると、良いのではと思います。	40~49歳	本庁地区	女
市議会でも取り上げられているかと思いますが… ・学校のエアコンの導入について 近年、夏の気温上がりが極めて高いにもかかわらず、エアコンの無い小学校がある。(扇風機のみ)1クラス30人以上 ・適切な温度の学習環境を作ること集中力もあがり学力向上にもつながる。 ・エアコンなしでの状態での学習は集中力を削ぐ原因にもなるだけでなく、熱中症など、体調管理の面でも問題が出てくる。 ・エアコン導入はかなりの支出であることは理解しているが、将来の川越市や国を担う人材をきちんと育てることこそ大切だと思われる。(市議会をエアコンなしの部屋で行ってみたいらどうなるかご想像いただきたい。大人が辛いことを何故子どもにさせているのか分からない。)各世帯に配って下さるお金(財源)があるならばエアコンの導入をどうか進めてください。お願い致します。	30~39歳	大東地区	女

< 3章 >

内容	年代	地区	性別
<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスの運行。本数も検討してほしいと思います。(ミニバン、ワゴン車で) ・市場の活性化。 ・西武鉄道、車輛基地建設の促進。 	75歳以上	大東地区	女
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備(特に歩道の整備)。例(川越駅から西武線の踏み切りを渡って川越市駅に向かう道路。本川越駅から、川越駅に向かう道路。)歩道はついているのですが、全く整備されてなく、車椅子は通れません。市の中心の道路です。ぜひ、整備してください。 ・市をあげて、観光客の増加に取り組んでいるならば、一番街通りの交通規制は、すぐにもやるべきです。土日の混雑ぶりは、いつ事故がおこってもおかしくないくらいです。日曜日の昼間の歩行者天国の実施をお願いします。 	70～74歳	本庁地区	男
<p>道路が狭い！でこぼこ多い！道幅が広がらなければ歩きやすい工夫をせよ！公園が少ない。各町内に最低1か所は必要。草だらけの用地は何とかできないのか！夜になると街灯が少なく暗い所多し！</p>	70～74歳	本庁地区	男
<ul style="list-style-type: none"> ・公園。老若男女憩える場所が欲しいです。 ・公衆トイレ設置(歩いていてつくづく思う)。 ・昔の様な、一年に一度でもおまわりさんに自宅訪問してほしいです。安心のため。お忙しいでしょうけれど。 ・色々な事情で空き家が多くなっていますが、把握できているのでしょうか？ ・早く電柱が地下に設置されるといいですね。 ・市の出張所、とつても親切で、敏速で好感持てました。これからもよろしくお願い致します。 	65～69歳	高階地区	女
<ul style="list-style-type: none"> ・車、バイク、自転車、歩行者等が多く通行する狭い道路の調査をし、拡張する計画を市政に反映してほしい。例を上げると山村高校から六軒町交差点への道路。 ・道路として市へ採納したが、舗装してくれる旨が見えない。環境活動に取り組んでいるのなら、こういうことも市政として必要ではないんですか。 ・朝の通学時は各校とも交通指導をしているが、帰宅時は指導者がおらず道路一杯に広がっており、車、自転車が通行困難な状態がある。市として学校等に行政指導を行ってほしい。 	60～64歳	本庁地区	男
<p>高層マンション建ちすぎです。景観、市の規模等からして30～40万の大きさと思います。高さ制限などしっかりしてほしい。川越はやはり地方都市、一部が銀座通りのようになっていますが、全体として住みよい町です。一部にどんどん高いビル(マンション)を建てるべきではないと思います。病院にもっと競争力を！患者の家族を無視した検査などをする病院などへの不満の聲が上がりやすくしてほしい。</p>	50～59歳	本庁地区	女
<p>駅や道路の整備を早急をお願いしたい。本川越駅～川越市駅の整備、本川越駅と川越市駅の改札を複数箇所、鉄道会社へ働きかけてほしい。子どもがのびのび遊べる公園(遊具)を増やしてほしい。また、広い児童館も新設してほしい。子育てママや高齢者が共に集えるコミュニティカフェの設置を市にお願いしたい。運営は民間に。</p>	40～49歳	本庁地区	女
<p>遊具のある公園を増やしてほしい。(川越市は公園が充実していないと思います。いつも他市に遊びに行っています。)</p>	30～39歳	本庁地区	女
<p>つい先日、川越市に引っ越して来ましたが、何よりも、歩道の狭さにびっくりしました。一人が通れる広さしかない。あまりにも狭い。いったい何を基準に道路を作ったのか。川越市長は、車を買えと言われているようだ。あと、この調査表の文章ひとつひとつが、難しい言葉を使いすぎていて、わかりづらい。そして、長い。本当に「川越市を良くしたい！！」と意欲的で前向きな人しか協力しないのではないかと。でも、川越市は好きです。</p>	20～29歳	無回答	男

< 4章 >

内容	年代	地区	性別
川越は小江戸と命名した程発展した町であるが、今は他市に先を越され古い町を感じる。蔵造り祭り等の観光収入はたいした収入でない。人の集まるギャンブルがないカジノ法等いち早く検討を。ギャンブルはノー。蔵造りにこだわりすぎている感じ。古きは残し、新しいまちづくりを。	75歳以上	南古谷地区	男
市会議員の氏名、党派、これまでの活動状況、選出地区、議員手当等、公開状況、IT等、まるで解らず使えない年寄でも暮らしやすい町にしたい。観光については半日でつまらない様な泊りがけになる様な方法はないのか？	70～74歳	無回答	無回答
観光事業について見直した方がよいと思う。なぜなら、だんだん川越らしいもの(店等)が、「川越」という言葉にすり替えられて、川越らしさがなくなっていると思う。他の観光地と同じようなものばかりになっていくのでは、リピーターは来ない。「川越」に來なければと思うような、一本筋のとおったまちづくりをしないと、観光地としての発展はないと思う。例えば、ディズニーランドを参考に！ 他をマネするのではなく、独自の個性とお客が何を求めているかを考えるべきだ。子どもを安心して育てることができる町にしなければ、川越に未来はないと思う。『「川越」だったら、安心して子どもを育てることができる』と思える町になれば、市外から移住(若い人が)してくると思う。公立の幼稚園(たしか川越には1つもない)、保育園の充実、子育て世代への住居費の補助等。このままでは、高齢化→人口減→税収入減と日本で抱えている問題そのままになる。せつかく、川越は歴史があり、鉄道、高速道等、東京周辺では充実しているのだから、もっと(今から)積極的に子どもが増えるようなまちづくりを一番に考えなければならぬと思う。観光もいいが、ニセモノはいつかだめになると思う。これから、川越が発展するためには、「子ども」の他にない！	50～59歳	本庁地区	女
埼玉西部地区の核をなう市としてより一層発展をしていくために、世界にまで目を向けた観光都市としての魅力をアピールしてもらいたいと思います。特色ある街として際立つことで住みたい街、住み続けたい街としての存在感も増やしていくものと思います。川越と言えば～(川越祭り)といったシンボリックな行事の価値を高める努力も必要です。	40～49歳	本庁地区	男
農業、産業を更に活性化させてほしい。人材育成、産業の多角化。年代に限らず多くの幅広い世代が、実地体験ができる様、希望しております。	30～39歳	名細地区	男

< 5章 >

内容	年代	地区	性別
雑木林がだんだんなくなっています。所有者もいろいろ大変だと思いますが、林を残してほしいと思います。	無回答	福原地区	男
活気が湧くのは人々が仲良くなることだと思います。子どもが住みたい、後が継げるような川越にしていきたい。緑や森や林畑などが多く、雨を保水でき、浄化できる土地があり、蒸気が上り、雨が降る、という土地を確保していく必要があると思う。何億年と続く地球の我々は数十年を生きると思うと、健全なる地球を次世代に渡さなければ、いけないと思う。もっと地球を冷やす森や林を大切にしないと、酸素の薄い、水の枯れた地球になってしまうのではないか！ だから私は緑の募金をしています。これ以上、コンクリートを広げるの(文明と思うこと)を控えるべきではないか！	60～64歳	福原地区	女
温暖化が進み、異常気象が見られます。川越市も木陰が少なくなってきた、歩いていても暑さが身にしみます。子どもが成長して、ノートに付いていたグリーンマークを活用することもなくなってきていますが、何か市民でも協力できることがあると良いと思います。ベルマークは今も切り取り協力しています。自治会についても、各自治会でいろいろな取組をされていますが、全員参加で盛り上げていくのは、とても大変なことだと思います。市からのアピールも加入への後押しになるのではないのでしょうか。川越市が市制90周年を過ぎ、100周年へ向けて、更なる発展をお祈り致します。川越市の収入源でもある観光もとても大切ですが、住んでいる市民が住み続けたいと思う街へ。子どもを育てる環境、通勤、通学の交通の便(特に川越市以西、JRの本数増加、複線)、高齢者福祉の充実をお願い致します。	50～59歳	霞ヶ関北地区	女
わりと自然もあり、穏やかな雰囲気が気に入っています。ただ、大きな市ですので、医療費の時もそうでしたが、改善するのに時間がかかるのが難点です。環境(温暖化)対策など、自然エネルギーを積極的に導入するなど、県内でも先陣を切って取り組んでもらえるとよいと思う。又、大きな公園の整備、学校の校庭芝生は、子どもの心身への影響が大きいため、早急に取り組み、すこやかな子どもの成長を自然の環境から助ける整備をしてほしい。子どもが運動をして体力向上を目指すなどのマニュアルを作成し、机上で論議するのではなく、広場を作り、泥になったり、砂がまって息苦しくなる校庭に芝生を植えること！ 子ども、母、老人が一緒になって交流できる活動の支援、手助けをしてほしい。	30～39歳	高階地区	女
・森林が開拓されて、どんどん宅地になっているのが残念に思います。・住宅地がどんどん増えているのに対して、子どもが遊べる公園が少ない様に思います。自宅前の公道で近所の親(4-5軒)が、子どもを遊ばせている。(total 15～20名)とても危ないです。※公園があっても「ボール遊び禁止」→公道でやっています。	30～39歳	霞ヶ関地区	女

< 6 章 >

内容	年代	地区	性別
全国的に大雨や地震といった災害が発生していますが、はっきりした避難場所が分かりません。川越市内の地域の避難場所を分かりやすいマップを作成して、各家庭へ配布いただけたら助かりますのでどうぞよろしくお願い致します。(できましたら壁にはれるように…。)	70～74歳	名細地区	女
やすらぎのさと内にご遺体を火葬まで保管していただける場所をぜひ設計してもらいたい。	65～69歳	川鶴地区	男
若い方、男性に多いのですが、自転車に乗って、信号無視や歩行者のいる道をスピードを出して走る方がいて、とても危険です。それに対する対策や条例などを検討していただきたいです。	50～59歳	本庁地区	女
働いている母親が参加できる子育てについての学びの場やリフレッシュできる場(スポーツなど)、相談できる場を増やす取組をしてほしい。専業主婦や短時間労働の方が参加できるものは多いけれど、フルタイム勤務だとほとんどないと思います。	30～39歳	本庁地区	女
・若者が積極的に参加できるような地域活動やまちづくりが行われるとよいと感じる。 ・地域住民と地域の小中学校が連携を強められるような取組や交流事業をもっと積極的に行うべき。 ・国際社会で活躍できる次世代の子どもたちのための教育環境の充実(専門性のある英語教師の育成や川越に住む外国人の方々と児童たちの交流イベントなど)。 ・暮らしやすいクリーンなまちづくり。(例:地域パトロールの強化、街灯の増加、人通りの少ない道の対策、繁華街の防犯強化)	20～29歳	本庁地区	男

< 共通 >

内容	年代	地区	性別
市民の便宜のため、市役所をJR川越駅付近に移設する必要あり。但し、「資金調達」に相当な工夫が必要。	75歳以上	古谷地区	女
全般的に税金を安くしていただきたいです。	70～74歳	本庁地区	男
1. 市税、健康保険が高額である。予算は使い切るといふ思想が無責任である。民間では経費、労務費も含め最低限に抑えるものだ。生産性の概念を入れるべき。損益計算だけではなく、バランスシート経営を導入すべきである。無駄遣いが多い。 2. 住民無視の施策が多い。無駄と思える投資が多い。道路行政、信号など地域住民の意見を聞いてない。県警にも問題が多い→違反取り締まりのための行動になっている。本来事故を起こさないためのものでなければならない。	65～69歳	川鶴地区	無回答
正当な税金の使い方を切に願います。	40～49歳	本庁地区	女
広報やHP更新の情報をメール等で知らせるシステムがあれば嬉しいです。通勤時間が長く、自宅でテレビを見たりPCを確認するのが週末のみなので、モバイルでチェックできると、より身近に感じます。	30～39歳	山田地区	女
・財源の確保も重要だが、税の利用方法を全市民が納得できるものにする。個に給付するサービス性のもよりも、環境を変える取組を。 ・生活保護支給よりも雇用環境充実。 ・児童手当支給よりも保育施設の拡充や給食無料等 ・一部の人しか利用しない福祉施設などに投資するよりも、全家庭の利用する水道料金の値下げ等。全市民に不公平感の無い行政を望みます。公務員の人員バランス、仕事量に対する給料のバランス、納税者視点からはかなり高優遇に感じますが…。	20～29歳	本庁地区	男

<その他意見>

内容	年代	地区	性別
選挙時以外は、市長さんを拝見できません。歴史とも遠く交通の便も良くない。税金は同じに支払うのであれば地方にも目を向けてほしいです。後期高齢者、介護保険料が高い。一生懸命働いて老後にゆとりがありません。建物は余り必要ない。赤字額を少なく子ども達に苦勞させないで下さい。	75歳以上	霞ヶ関地区	女
市議会の情報をもっと知らせてください。何も言わない議員は不要です。	70～74歳	霞ヶ関北地区	女
私の近くにも最近若い方々が多く住むようになって来て、大変うれしいことです。その若い方が川越市に住んで本当に良かった、そしてこれからもずっと住み続けたいと思えるような住環境であることと高齢者が安心と希望の持てる町であり続けられるようにお願いしたいと思います。	70～74歳	高階地区	女
市の福祉等の窓口の対応は態度も悪く、我々市民の不評にもなっております。やはり腰を低くし、明るくスピーディーな対応を心掛けてほしいです。私だけでなく他の皆様からの意見も一緒です。以前はやさしく、親切的な窓口でしたが、最近はあいさつもできず、親切的な方々が少なくなりました。やはり福祉の窓口は明るく親切的な対応を望みたいです。よろしく願います。	65～69歳	古谷地区	男
視野を広げる一流の声を。その一歩が真実の道。再発見と新発見、住みよい市に町へと。	60～64歳	福原地区	女
市政に関して全体像が見えません。広報を見るくらいしか手立てがないように思います。「第三次川越市総合計画」というものも、今回初めて目にしました。	50～59歳	古谷地区	女
昨今の厳しい財政状況の中で、多様化する市民ニーズに対応するためには協働によるまちづくりは必要だと思う。市民に参加してもらうことで、市民は作り甲斐、生き甲斐を見出すことができ、人とのつながりも生まれる。行政は財政面の負担も軽減され、且つ民間のノウハウを得ることができる。地域社会のために役に立ちたいと考えているが、どの様に参加したらよいのか分からないという声をよく耳にする。私自身もそうだが、何から始めれば良いのか。そこで、川越市の協働に関するホームページを充実させることを要望する。ホームページを窓口とし、市民が気軽にまちづくりに参加できるようにプラットフォームを構築してほしい。震災を経験し、人と人とのつながりの大切さを認識した。また今後、非正規雇用制度等の影響により結婚できない独身者の増加が予想され、独居老人問題は深刻化すると思われる。そこで地域福祉の重要性を痛感し、協働によりこの問題を解決できればと考える。	50～59歳	本庁地区	女
一人一人の市民が行政サービスを消費者感覚で受けようとしていることが、市全体のポテンシャルを下げてしまうことになっているのではないかと考えています。コミュニティ意識や地域振興などの分野では、とりわけ行政の側からサービスを提供するよりも、各地域の市民から出される企画や取組に対する支援を行うことが重要だと思います。また、自分達で動かなければ自分達の暮らしは良くならないこと。逆に自分達で動けば良くなるのだということ、市民が深く意識するための工夫をしてみるとよいと思います。行政が全てに責任を持つよりも、その方が効率的に市全体のポテンシャル向上に役立つと思います。今回のアンケート実施、大変お疲れ様でした。ただ、正直言って市がどれくらいのことを行っているか調べもせず、漠然とした印象と個人的な思い込みに基づいて回答してしまいました。討論型世論調査のようなやり方にもできない限り、あまり実効性のあるアンケートはできないのではないのでしょうか。この点でも、行政の真面目さがかえってコストを増やす結果を招いているように思いました。	30～39歳	霞ヶ関地区	男
20代ではあまり気にならなかったが、30代以上になり、独身の身であると市民サービスを受取る機会があまりに少ないのではないかとと思うことが多々ある。少子化のことで高齢者対策は大切であることは重々承知している。そこそこの収入でそこそこの市民税等を収めている立場としては複雑な心境です。上下水道やごみの処理、その他目に見えないカタチでサービスを受っているとは思いますが…。近頃流行のふるさと納税でお得なサービスを受けるのも良いなと思うほどです。30代40代の働き盛り、ファミリー世帯、独身に関わらず、川越市に住んで良かった。税金をたくさん納めてもよいと思える税金の使い方、市民サービスに期待しております。以上	30～39歳	本庁地区	男
市政に関わるすべての人が、自分のすることを「正しい」「間違っていない」と良心に従って行動していただければ、もっとよい川越市になると思います。また、今もそうであると信じています。	30～39歳	本庁地区	女
今回のこのアンケートなんですが、もう少しわかりやすくした方がいいかもしれません。内容が多岐にわたっている上にそれなりに難しいものなので、量を少なくしたり、言い方を変えたりと工夫が必要かと思えます。また、選択肢の中に「詳しく知らない」というものがあるれば良いかなと思います。認知されていないというのも、1つの現状であるので、次回やる時はそのあたりを検討していただけたら嬉しいです。観光事業に関してですが、今後川越を本格的に観光地として売り出して行くのであれば、川越駅前の景観の整備は必ずした方が良くと思います。「小江戸川越」を楽しみにやって来て下さる方が「小江戸」に着くまでがあまりにも普通です。良き町並みがあるのにもったいないので、よろしく願います。	20～29歳	高階地区	男

VII. 使用した調査票

川越市 市民満足度調査

《調査票》

～ご協力のお願～

日頃皆様には、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

川越市では、現在、まちづくりを進める指針となります『第三次川越市総合計画』に基づき、「保健・医療・福祉」、「教育・文化・スポーツ」、「都市基盤・生活基盤」、「産業・観光」、「環境」、「地域社会と市民生活」の各分野に取り組んでおります。

今回の調査は、これらの分野について、皆様がどのくらい満足と感じておられるか、また、重要と感じておられるかをお聞かせいただき、次期川越市総合計画の策定、及び今後の市政運営の基礎資料として活用させていただくもので、市内にお住まいの18歳以上の方を対象に、3,000人を無作為に選んでお願いしております。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

川越市長 川合 善明

※調査結果は、コンピュータで統計的に処理しますので、回答いただきました個人のお考えが公表されることは一切ございませんので、ありのままお答えください。

◎ ご記入にあたってのお願い ◎

- ◇ 調査票には、あて名のご本人がご記入ください。
- ◇ 濃いえんぴつ、ボールペンまたは万年筆でご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。なお、複数回答もごございますので、○は（ ）の中に指定した個数まで付けてください。
- ◇ お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を出来るだけ具体的に（ ）の中にご記入ください。
- ◇ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（※切手は不要です）に入れ、

8月15日（金） までにご返送ください。

《お問合せ先》

川越市 政策財政部 政策企画課

電話：049-224-5503（直通）

（月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで）

問1 次のページから掲げている59の施策は、現在川越市が『第三次川越市総合計画』(※)に基づき進めている取り組みです。あなたは、これらの取り組みがどのくらい重要だと思いますか(重要度)。また、現在その取り組みの結果に満足していますか(満足度)。

次の1～59の施策ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。
(○は重要度、満足度ともにそれぞれ1つ)

(※)『第三次川越市総合計画』とは

第三次川越市総合計画は、平成18年度以降の本市のまちづくりを進める指針となるもので、目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な方策を定めるものです。

計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層で構成されており、今回の調査は、このうち基本計画に位置付けられた59の市の取り組み(施策)を対象としています。

なお、計画及び施策の詳しい内容については、市役所本庁舎4階政策企画課、市民センター、図書館で、計画書をご覧になることができるほか、川越市ホームページでもご覧いただけます。

<記入例> 左側の各施策に対するお考えを右側から選んでご記入ください。

【章】 (分野別の基本目標)

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>施策の内容</p> <p>主な取り組み</p>										
<p>1 ○○○○○の推進</p> <p>○○○○○に取り組んでいます。</p> <p>○・・・・・・の充実 ○・・・・・・の充実</p> <p>○・・・・・・の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

あてはまるものの番号に○印をつけてください。

【1章】ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち

～保健・医療・福祉～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>施策の内容</p> <p>主な取り組み</p>										
<p>1 児童福祉の推進</p> <p>次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長していくことができるよう、社会全体で子育てを支援する環境の整備に取り組んでいます。</p> <p>○子どもへの支援体制の充実 ○親への支援体制の充実 ○地域の支援体制の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>2 高齢者福祉の推進</p> <p>高齢者が住み慣れた家庭や地域で、生きがいのある充実した生活を安心して送れる社会の実現に取り組んでいます。</p> <p>○生きがい対策の充実 ○介護予防・生活支援の推進 ○地域包括ケア体制の推進 ○介護サービスの充実 ○居住環境の整備・充実 ○福祉医療サービスの充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>3 障害者福祉の推進</p> <p>障害のある人が、地域でいきいきと安心して、自立した生活を送ることができるよう、福祉サービス、支援体制の充実に取り組んでいます。</p> <p>○保健・医療サービスの充実 ○生涯にわたる学習機会の充実 ○雇用・就労の促進 ○社会参加の拡充 ○福祉サービスの充実 ○障害及び障害のある人を理解するための施策の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>4 地域福祉の推進</p> <p>年齢や性別、障害の有無などに関係なく、だれもが安心して、いきいきと暮らせる地域社会の構築を図るため、市民や地域の組織、各種団体、事業者等と協働して、地域福祉の推進に取り組んでいます。</p> <p>○市民参加の促進 ○地域における福祉サービスの適切な利用の促進 ○社会福祉事業への支援 ○社会福祉協議会の基盤の整備強化</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>5 社会保障の推進</p> <p>すべての市民が継続・安定的に社会保障制度が利用できるよう、制度の安定化・健全化を国に要請するとともに、適正かつ効果的な制度運営に取り組んでいます。</p> <p>○国民健康保険制度の健全な運営 ○後期高齢者医療制度の円滑な運用 ○国民年金制度の啓発 ○介護保険制度の健全な運営 ○生活保護制度の適正な運用</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【1章】ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち

～保健・医療・福祉～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>施策の内容</p> <p>主な取り組み</p>										
<p>6 健康づくりの推進</p> <p>乳幼児から高齢者まで、市民の生涯を通じた健康の保持・増進が図られるよう、保健サービスの充実、健康づくりの支援に取り組んでいます。</p> <p>○健康づくりの支援 ○母子保健の充実 ○成人保健の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>7 保健衛生・医療体制の充実</p> <p>保健衛生・医療体制の充実を通して、市民の健康づくりや安全で快適な生活環境の実現に取り組んでいます。</p> <p>○精神保健対策の推進 ○感染症予防対策の推進 ○地域医療体制の整備・充実 ○食の安全・安心の確保 ○衛生的で快適な住環境の確保 ○人と動物が共生できる豊かな社会づくり</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>8 保健・医療・福祉の連携</p> <p>市民の多様なニーズに対応して、適切なサービスが提供できるよう、保健・医療・福祉の連携強化、相談・支援体制の充実に取り組んでいます。</p> <p>○保健・医療・福祉関係機関等の連携 ○地域関係団体（者）の連携 ○行政における連携体制</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【2章】学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち
～教育・文化・スポーツ～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>9 生涯学習環境の整備・充実</p> <p>市民のだれもが生涯を通じて、関心と必要に応じた学習を行い、生きがいの追及や暮らし方を再発見できるよう、生涯学習の環境整備に取り組んでいます。</p> <p>○生涯学習推進体制の確立 ○身近な学習施設の整備・充実 ○図書館サービス網の整備・充実 ○博物館の整備・充実 ○高等教育機関等との連携・協働の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>10 生涯にわたる学習活動の推進</p> <p>市民の多様な生涯学習のニーズや社会の変化に応じた学習課題に応えるため、多様な学習機会の提供に取り組んでいます。</p> <p>○多様な学習機会の創設 ○社会の変化に応じた学習機会の提供 ○地域の教育力の向上</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>11 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進</p> <p>将来を担う児童生徒の「生きる力」をはぐくむため、一人ひとりの個性を生かす教育の充実に取り組んでいます。</p> <p>○個に応じた教育の推進 ○生徒指導・進路指導の充実 ○地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 ○教職員の資質向上 ○特別支援教育の充実 ○英語教育・国際理解教育の推進 ○小・中学校情報教育の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>12 教育環境の整備・充実</p> <p>社会の変化に対応した教育環境の整備・充実に取り組んでいます。</p> <p>○学校施設の整備・充実 ○小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化 ○学校図書館の充実 ○学校給食の充実 ○市立川越高等学校の改革・充実 ○教育センターの充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>13 芸術文化活動の充実</p> <p>新たな芸術文化を創造するため、市民の芸術文化活動を支援するとともに、身近なところで芸術文化に親しめる環境の整備に取り組んでいます。</p> <p>○市民文化に関する情報提供 ○芸術文化活動への支援の充実 ○芸術文化の鑑賞機会の充実 ○活動拠点の整備・充実 ○文化施設の利用促進 ○姉妹都市、友好都市等との交流</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【2章】学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち
～教育・文化・スポーツ～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
14 文化財の保存・活用										
先人から受け継いだ豊かな歴史文化を次世代に継承するため、文化財の保存整備及び活用に取り組んでいます。										
○文化財の保護と活用 ○文化財保護意識の啓発 ○民俗文化財の保存と後継者の育成 ○重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 ○河越館跡地等の整備・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 多文化共生と国際交流・協力の推進										
外国籍市民を含めたすべての市民が共生する多様性に富んだ地域社会の実現と、市民の国際交流・協力の推進に取り組んでいます。										
○国際交流センターの充実 ○外国籍市民も暮らしやすいまちづくり ○行政の国際化 ○国際感覚に優れた市民の育成 ○姉妹都市交流の更なる充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 生涯スポーツの推進										
市民が身近なところでスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会の実現に取り組んでいます。										
○総合型地域スポーツクラブの設置・育成 ○スポーツ大会・教室等の充実 ○スポーツ指導者等の養成・活用 ○スポーツ施設等の整備・充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【3章】人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち
～都市基盤・生活基盤～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>施策の内容</p> <p>主な取り組み</p>										
<p>17 計画的なまちづくり</p> <p>にぎわいのある都市を構築するため、自然や文化などに配慮して総合的かつ計画的に地域の実情に応じたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>○計画的なまちづくりの推進 ○総合的な土地利用 ○新たな拠点の整備 ○地籍調査、町名地番整理の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>18 都市拠点の整備</p> <p>埼玉県南西部地域の拠点都市としてふさわしい、にぎわいと活力のある「まち」の形成に取り組んでいます。</p> <p>○中心市街地活性化基本計画の推進 ○三駅連携強化の推進 ○中央通り地区の整備 ○歴史的町並み地区の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>19 地域生活拠点の整備</p> <p>地域生活拠点となる各鉄道駅周辺地区及び都市基盤の未整備地区の整備を進め、安全で快適に暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>○拠点の整備 ○住宅地の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>20 景観に配慮したまちづくり</p> <p>川越らしい都市景観の保全と創造及び都市景観に関する知識の普及に努め、景観に配慮したまちづくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>○歴史的地区の整備 ○都市デザイン推進 ○都市デザインの啓発、普及 ○屋外広告物の適正化</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>21 道路交通体系の整備</p> <p>道路交通体系の整備を進め、歩行者の安全確保、交通渋滞の緩和、都市の防災強化、良好な住環境の形成に取り組んでいます。</p> <p>○都市活動を支える広域幹線道路の整備 ○地域の活動を豊かにする幹線道路の整備 ○安全で人にやさしい生活道路の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>22 交通円滑化方策の推進</p> <p>公共交通機関や自転車への交通手段の分散化や、駐車場の整備を促進することで、道路交通混雑の解消・緩和、交通円滑化の推進に取り組んでいます。</p> <p>○交通需要マネジメントの推進 ○駐車場の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【3章】人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち
～都市基盤・生活基盤～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
23 公共交通機関の充実										
鉄道・バス等の公共輸送の充実と利用者の利便性の向上に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○鉄道輸送の利便性の向上 ○バス輸送の充実										
24 治水事業の推進										
浸水被害の軽減と生活環境の向上を図るため、河川整備及び雨水排水施設の整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○河川整備 ○雨水整備 ○雨水の有効利用の促進										
25 水道水の安定供給										
安全な水道水を安定供給するため、施設・設備の改修及び更新に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○施設・設備の改修及び更新 ○災害に強い施設整備 ○効率的な事業の推進										
26 公共下水道等の整備										
公共下水道等を整備し、市民の生活環境の改善と公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○生活排水施設の整備 ○合流式下水道の改善 ○公共下水道施設の維持管理 ○効率的な公共下水道事業の推進										
27 水辺と森林の整備										
本市に残る代表的な自然環境を市民共有の財産として保全、活用を図り、市民が自然とふれあえる場等の創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○河川空間の活用 ○伊佐沼周辺の整備 ○樹林地の整備										
28 公園の整備と充実										
市民の多様なニーズに対応する魅力ある公園を整備することで、うるおいのある市民生活の実現に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○計画的な公園の整備 ○自然環境の活用と整備 ○歴史的遺産の活用 ○身近な活動拠点の整備 ○レクリエーション・スポーツ拠点の整備 ○公園の適正な管理と魅力の創出										

【3章】人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち
 ～都市基盤・生活基盤～

29 快適な住宅・住環境の整備	施策の重要度					現在の満足度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
良好な住環境の整備及び住環境の向上を図る市営住宅の建替え・整備に取り組んでいます。										
○良好な住環境の整備 ○公的住宅の供給 ○高齢者等への住宅支援										

【4章】にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち

～産業・観光～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
30 地域振興拠点の整備と新しい産業の育成										
地域の特色を生かした産業の振興を図るため、地域振興拠点施設の整備及び新しい産業の育成、人材活用や技術開発の支援に取り組んでいます。										
<input type="checkbox"/> 地域振興ふれあい拠点施設の整備 <input type="checkbox"/> 新しい産業の育成 <input type="checkbox"/> 人材確保や人材育成の推進 <input type="checkbox"/> 産学公連携による技術開発の支援 <input type="checkbox"/> 川越ブランドの推奨 <input type="checkbox"/> 高度情報化社会・ICT社会への対応支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 雇用の促進と労働環境の改善										
働く意欲のある人が、いきいきと働き、豊かに暮らせるよう、雇用の促進と労働環境の改善に取り組んでいます。										
<input type="checkbox"/> 雇用の促進 <input type="checkbox"/> 労働条件改善の促進 <input type="checkbox"/> 福祉制度の普及・促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32 農業の振興										
環境との調和や優良農地等の保全を図るとともに、消費者のニーズに応えた安心できる農産物の提供等を通して、安定した農業経営の実現に取り組んでいます。										
<input type="checkbox"/> 食料の安定供給の促進 <input type="checkbox"/> 担い手の育成・確保の推進 <input type="checkbox"/> 市民ニーズへの対応と流通の多様化の推進 <input type="checkbox"/> 環境と共生した持続可能な農業の推進 <input type="checkbox"/> 農業基盤及び生活環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33 商業の振興										
中心市街地及び周辺商業地の活性化、商店街と大型店の共存共栄を図り、にぎわいに満ちたまちづくりの推進に取り組んでいます。										
<input type="checkbox"/> 商店街への支援 <input type="checkbox"/> 中心市街地の活性化 <input type="checkbox"/> 周辺商業地の形成 <input type="checkbox"/> 健全な商業の発展と商業団体等への支援・融資制度の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34 工業の振興										
工業団地の拡張・整備や企業及び工業団体等への支援強化により、新しい企業の誘致及び既存工業の強化に取り組んでいます。										
<input type="checkbox"/> 工業団地の拡張及び整備 <input type="checkbox"/> 企業支援 <input type="checkbox"/> 工業団体等への支援 <input type="checkbox"/> 広域的産学公ネットワークの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【4章】にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち
～産業・観光～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
35 新たな観光事業の推進										
新たな観光客やリピーターを確保するため、新たな観光資源の発掘や観光情報の発信、外国人観光客の誘致等に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○観光事業の企画・推進 ○ICTによる観光情報の提供 ○外国人観光客の誘致										
36 観光環境の整備										
より多くの観光客を受け入れるため、観光客の利便に資する観光施設等の整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○郊外型駐車場の整備 ○歴史的建築物の整備・活用 ○観光施設の整備 ○広域観光の推進 ○ホスピタリティの向上										

【5章】人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち

～環境～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>37 計画的な環境事業の推進</p> <p>環境行政におけるさまざまな課題に対して、総合的かつ計画的に対応するため、環境基本計画、環境マネジメントシステム等の推進に取り組んでいます。</p> <p>○環境基本計画の推進 ○地球温暖化対策地域推進計画等の推進 ○一般廃棄物処理基本計画の推進 ○緑の基本計画の推進 ○環境マネジメントシステムの推進 ○新たな計画等の検討</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>38 環境活動参加のためのしくみづくり</p> <p>環境に対する計画等を有効に機能させるため、市民、事業者、民間団体、行政の各主体が協働できるしくみづくりに取り組んでいます。</p> <p>○パートナーシップの形成 ○環境学習の推進 ○市民・事業者の取組の支援</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>39 地球温暖化対策の推進</p> <p>市域からの温室効果ガスの排出を抑制するため、省エネルギー施策の推進、新エネルギー導入の促進などの地球温暖化対策に取り組んでいます。</p> <p>○省エネルギーの推進 ○新エネルギーの導入促進 ○その他地球温暖化対策の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>40 ごみの減量化、資源化</p> <p>環境に負担をかけない循環型社会の実現に向けて、ごみの排出抑制と資源リサイクルを基本とした地域社会づくりに取り組んでいます。</p> <p>○減量化の推進 ○資源化の推進 ○市民・事業者への啓発</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>41 廃棄物の適正処理</p> <p>廃棄物の適正・安定的な処理を行うため、処理施設の建設・整備を進めるとともに、廃棄物の排出についての指導・監督に取り組んでいます。</p> <p>○一般廃棄物（ごみ）の適正処理 ○一般廃棄物（し尿）の適正処理 ○産業廃棄物の適正処理 ○不法投棄対策の徹底</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【5章】人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち
～環境～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
42 自然環境の保全										
雑木林や身近にある緑を保全するとともに、都市に潤いを与える緑を創出し、水辺環境の保全・活用を図ることにより、自然と人が共生できるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○樹林地の保全と活用 ○緑の創出 ○水辺環境・農地の保全 ○身近な野生生物の保全										
43 生活環境の保全										
市民が健康で安心して生活できるよう、水・土壌環境、大気環境の保全等、良好な生活環境の確保に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○水・土壌環境の保全 ○大気環境の保全 ○騒音・振動・悪臭対策 ○化学物質対策 ○監視体制の充実										

【6章】人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち

～地域社会と市民生活～

施 策	施策の重要度				現在の満足度					
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>44 地域コミュニティ活動の推進</p> <p>地域の諸課題を解決するため、中心的役割を担っている自治会等の活動を支援するなど、地域コミュニティ活動の推進に取り組んでいます。</p> <p>○コミュニティ意識の形成 ○コミュニティ活動の促進 ○コミュニティ施設の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>45 平和で思いやりのある地域社会づくり</p> <p>すべての市民が人権問題について正しく理解し認識を深め、差別や偏見のない明るい社会の実現に取り組んでいます。</p> <p>○人権施策の推進 ○人権教育の充実 ○平和意識の高揚 ○市民相談の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>46 男女共同参画社会の実現</p> <p>男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力が発揮できる社会の実現に取り組んでいます。</p> <p>○人権の尊重と男女共同参画への意識づくり ○あらゆる分野への男女共同参画の促進 ○多様な生き方が選択できる環境づくり ○男女共同参画を推進するための施設の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>47 青少年健全育成の推進</p> <p>青少年が未来に向かって健やかに成長するよう、地域、学校、警察などの関係機関が連携し、最良となる環境づくりを地域ぐるみで取り組んでいます。</p> <p>○青少年の社会参加の推進 ○協力体制の拡充 ○青少年施設の整備・充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>48 防災体制の整備</p> <p>適切な役割分担のもと、市民(家庭)、地域、行政がそれぞれ担うべき災害対策の充実を図ることで、地域の防災力が向上できるよう取り組んでいます。</p> <p>○地域防災計画の推進 ○災害応急対策の充実 ○防災意識の普及・高揚 ○危機管理体制の強化・充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【6章】人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち

～地域社会と市民生活～

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>49 消防・救急体制の整備</p> <p>初動消防力、救急業務体制の強化、及び火災予防対策の推進により、市民の生命・財産を守り、安全で安心して暮らせるまちの実現に取り組んでいます。</p> <p>○初動消防力の強化 ○救急業務体制の整備 ○火災予防対策の推進 ○庁舎建設等施設の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>50 防犯対策の推進</p> <p>犯罪を誘発する機会を与えない、犯罪を起こさせない地域環境づくりを行う「防犯のまちづくり」に取り組んでいます。</p> <p>○防犯推進体制の整備 ○防犯意識の高揚 ○安全な地域コミュニティの推進 ○規範意識の高揚と防犯教育の推進 ○安全な都市環境の創出</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>51 交通安全対策の推進</p> <p>安全・快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の整備、放置自転車対策、交通安全意識の啓発に取り組んでいます。</p> <p>○交通安全施策の推進 ○交通安全施設の整備 ○交通安全意識の啓発・高揚 ○放置自転車等防止対策 ○通学路安全対策の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>52 消費者対策の推進</p> <p>消費者生活相談体制の充実を図るとともに、消費者教育、消費者の自立を支援し、消費生活の安全及び向上に取り組んでいます。</p> <p>○消費生活相談体制の充実 ○消費者の自立の支援 ○生活情報センターの整備・充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>53 葬祭事業の充実</p> <p>市民の利便性を確保する葬祭事業の充実のため、市民聖苑やすらぎのさとの施設の充実及び新斎場の検討に取り組んでいます。</p> <p>○新斎場の整備 ○現斎場の運営・管理の充実 ○市民聖苑やすらぎのさとの運営管理の充実</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【共通】協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進

施 策	施策の重要度					現在の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
<p>施策の内容</p> <p>主な取り組み</p>										
<p>54 市民参加と協働の推進</p> <p>地域の課題に対応するため、市民と行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに認め合い、ともに考え、協力し合う「協働」の実現に取り組んでいます。</p> <p>○市民参加のしくみづくり ○情報の共有化 ○行政の透明性の向上 ○協働のしくみづくり</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>55 新たな行財政運営システムの構築</p> <p>厳しい財政状況の中、多様化する市民ニーズに的確に対応していくため、簡素で効率的な行政運営と健全な財政運営の確立に取り組んでいます。</p> <p>○地方分権の推進 ○将来に向けた中期財政計画の策定 ○成果を重視したマネジメントサイクルの確立 ○民間の経営手法の活用 ○人材育成の推進 ○行政サービスの向上</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>56 効率的な社会資本整備の推進</p> <p>耐用年数を迎える多くの公共施設について、施設の統廃合も含め、計画的かつ効率的な施設の維持管理及び更新に取り組んでいます。</p> <p>○社会資本マネジメントの推進 ○庁舎等の整備</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>57 財源の確保</p> <p>市政運営の財源の安定確保を図るため、市税等の収入率の向上や受益者負担の適正化、新たな財源の確保に取り組んでいます。</p> <p>○積極的な財源の確保 ○収入率の向上対策 ○受益者負担の適正化</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>58 電子市役所の推進</p> <p>IT社会の進展に対応し、多角的な行政サービスの提供を図るため、情報化の推進に取り組んでいます。</p> <p>○行政サービスのオンライン化の推進 ○事務の電子化の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<p>59 広域行政の推進</p> <p>行政区域を超えた課題に対して、他市町と連携を図りながら、広域的に取り組んでいます。</p> <p>○関係市町の連携強化 ○レインボープランの推進 ○業務核都市としての機能の推進</p>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

◎問2と問3の質問は、次の分野における第三次川越市総合計画の達成度を把握するためにお尋ねするものです。

【スポーツについて】

問2 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。(○は1つ)

※ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動などの身体活動を含みます。

- 1 ほとんど毎日 2 週に3～5日 3 週に1～2日
4 月に1～3日 5 ほとんどしない

【情報提供について】

問3 あなたは、市の行政に関する情報提供について、どのように感じていますか。(○は1つ)

※「情報提供」とは、広報川越や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

- 1 満足 2 やや満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満

◎問4と問5の質問は、「住み続けたいまち川越」を実現するため、次期川越市総合計画策定の参考とするためにお尋ねするものです。

【定住意向について】

問4 あなたは、これからも川越市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 住み続けたい 2 どちらかというに住み続けたい
3 どちらかという和市外に転出したい 4 市外に転出したい

※問4の回答について、理由などがあれば、ご記入ください。

理由： _____

【将来都市像について】

問5 「住み続けたいまち川越」の実現に向けて、あなたが期待する将来の川越市の姿を、ひとことで表すとしたら、どんなまちですか。(下線部に記入)

住み続けたいまちとは、 _____ な (の) まち

◎自由記入欄

問6 市政に関して、ご意見ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for free text entry. The box is centered on the page and occupies most of the vertical space below the question.

◎最後に、回答を統計分析する際に必要なことをいくつかおたずねします。
あなたご自身のことについて、さしさわりのない範囲でお答えください。

F 1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- 1 男 2 女

F 2 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

- 1 20歳未満 2 20～29歳 3 30～39歳

- 4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～64歳

- 7 65～69歳 8 70～74歳 9 75歳以上

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 1 夫婦だけ 2 二世帯世帯(親と子) 3 三世帯世帯(親と子と孫)

- 4 単身世帯 5 その他()

F 4 あなたの同居の家族に次の方はいますか。(○はいくつでも)

※該当する項目がない場合はF 5へ →

- 1 就学前(0～5才) 2 小学生 3 中学生 4 65才以上

F 5 あなたのご職業は何ですか。

(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください。)

- 1 農業 2 自営業(商工業・建設業・サービス業など) 3 会社員、公務員

- 4 パート・アルバイト 5 家事専業 6 学生 7 無職

- 8 その他()

F 6 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

(参考：お送りした封筒のあて名右上に表示されています)

- 1 本庁 2 芳野 3 古谷 4 南古谷 5 高階 6 福原

- 7 大東 8 霞ヶ関 9 川鶴 10 霞ヶ関北 11 名細 12 山田

ご協力ありがとうございました。

◎ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**8月15日(金)**
までにご返送ください。(※切手は不要です)

◎無記名のアンケートですので、返信用封筒にご住所、お名前などをお書きいただく必要はございません。

川越市市民満足度調査 報告書

発行日 平成27年3月

発行 川越市

編集 政策財政部政策企画課

〒 350-8601 川越市元町1丁目3番地1

TEL 049(224)8811(代表)